

日医総研ワーキングペーパー

長期処方についてのアンケート調査報告 —6 道県におけるパイロットスタディー—

No. 225

2010 年 12 月 20 日

日本医師会総合政策研究機構

前田由美子

長期処方についてのアンケート調査報告

日本医師会総合政策研究機構（日医総研） 前田由美子

研究協力者 日本医師会 総合医療政策課

保険医療課

キーワード

- ◆ 処方日数
- ◆ 処方期間
- ◆ 投薬日数
- ◆ 長期処方
- ◆ 生活習慣病
- ◆ 慢性疾患
- ◆ 高脂血症
- ◆ 高血圧症

ポイント

- ◆ 現在、もっとも多い処方期間が「5週以上」であるという医師が3割近くあり、処方期間が長期化している。
- ◆ 慢性疾患等の患者に限ってみると、もっとも多い処方期間が「12週以上」であるという医師が3割近く（26.1%）ある。特に、高脂血症（HMG-CoA還元酵素阻害剤）や高血圧症（ジヒドロピリジン系Ca拮抗剤）等については、処方期間が「8週以上」の医師は約8割に達していた。
- ◆ 5週以上の比較的長期の処方を原因として「患者の容態の変化に気づくのが遅れたこと」がある医師が2割近くあった。「患者が次回再診予約時に、診察に来なかったこと」がある医師は約5割であった。容態の変化については、急性増悪し、重篤化したケースも報告された。
- ◆ 比較的長期の処方が行なわれている慢性疾患等の患者には高齢者が少なくないと推察されるが、高齢者は、長期処方中に容態が変化しても、遠慮して次回診療時まで我慢してしまうという報告もあった。

- ◆ 処方期間の短い医師のほうが、比較的長期の処方により「患者の容態の変化に気づくのが遅れたことがある」と回答した割合が高かった（本調査では、他院で長期処方を受けたと思われる患者が当院を診察した場合の事例を含んでおり、自己責任かどうかは問うていない）。逆にいえば、処方期間が短いからこそ、変化に気づくことができた可能性もある。
- ◆ 病院医師では、1日の外来診療患者数20人以上の医師の約4割が、比較的長期の処方を行なっている理由として、「外来患者を少なくしてじっくり診療するため」を選択していた。
- ◆ 診療所医師では、比較的長期の処方を行なう理由として、もっとも多かった回答は「患者さんからの要望」であり、6割近くであった。
- ◆ 医師の年齢階級別では、特に20歳代から40歳の若手医師で処方期間が長かった。

目 次

1.	処方日数にかかわる診療報酬改定の経緯	1
2.	アンケート調査の目的と方法	2
2.1.	目的	2
2.2.	方法	3
2.2.1.	調査対象	3
2.2.2.	調査内容	4
2.2.3.	調査期間	5
2.2.4.	調査の実施主体	5
3.	アンケート調査の集計・分析	6
3.1.	用語の定義	6
3.2.	回答状況	8
3.3.	処方の実態	10
3.3.1.	処方期間	10
3.3.2.	比較的長期（5週以上）の処方を行なっている患者の割合	21
3.3.3.	比較的長期の処方を行なっている理由	22
3.3.4.	比較的長期（5週以上）の処方の対象疾患	24
3.3.5.	比較的長期（5週以上）の処方を原因とする問題	28
3.3.6.	具体的な問題事例	32
3.3.7.	長期処方（120日以上、180日以上）	35
3.3.8.	まとめ	36
3.4.	医療施設のプロフィール（施設票関連）	38
3.4.1.	所在地	38
3.4.2.	開設者	39
3.4.3.	区分（病院種類、有床・無床）	40
3.4.4.	1施設当たり医師数	41
3.4.5.	許可病床数	43
3.4.6.	処方区分	44

3.4.7.	外来患者数等	44
3.5.	医師のプロフィール（医師個人票関連）	48
3.5.1.	業務の種類および性別	48
3.5.2.	年齢	50
3.5.3.	常勤・非常勤務区分	51
3.5.4.	所属元と勤務先の関係	52
3.5.5.	診療科	52
3.5.6.	外来診療の状況	54
4.	集計表	57
4.1.	性別および業務の種類	57
4.2.	業務の種類別勤務形態	58
4.3.	勤務形態（常勤・非常勤）	59
4.4.	外来診療を行なっている医師の比率	60
4.5.	外来診療日数および外来診療患者数	61
4.6.	医師1人1日当たり外来診療患者数の分布	62
4.7.	もっとも多い処方日数	63
4.8.	比較的長期処方の患者に占める慢性疾患等の患者の割合	77
4.9.	比較的長期の処方を行なっている疾患名と処方期間	78
4.10.	比較的長期の処方を行なっている理由	80
4.11.	問題事例	81
4.12.	長期処方（120日・180日）	84
5.	調査票	85

1. 処方日数にかかわる診療報酬改定の経緯

2002（平成 14）年、麻薬及び向精神薬、薬価基準収載後 1 年以内の医薬品を除き、薬剤投与期間に係る規制が原則として廃止された¹。

2004（平成 16）年には、「生活習慣病の増加や投薬期間の長期化に伴い、処方時における病態分析と処方管理の評価を充実する」として、処方期間が 28 日以上の方に対し、特定疾患処方管理加算（月 1 回 45 点）が創設された²。

さらに 2008（平成 20）年には、麻薬、向精神薬についても、経過を予測できる安定した患者に対し、一部の必要な薬剤について 30 日間の処方を行うことが可能になった³。

現在では、「予測することができる必要期間に従ったもの」であれば、医師の裁量権の下で、処方日数を決定できる⁴。ただし、厚生労働大臣が定める一部の内服薬及び外用薬については、薬剤によって 1 回 14 日分⁵、30 日分⁶または 90 日分⁷が限度である。

¹ 厚生労働省「平成 14 年度社会保険診療報酬等の改定概要」

<http://www.mhlw.go.jp/topics/2002/02/tp0222-1a.html>

それまでは、厚生労働大臣の定める内服薬及び疾患リストに記載されているものに限り 30 日処方が認められていた。

² 厚生労働省「平成 16 年度社会保険診療報酬等の改定概要」

<http://www.mhlw.go.jp/topics/2004/02/tp0219-1/dl/5.pdf>

³ 厚生労働省「平成 20 年度診療報酬改定における主要改定項目について（案）」2008 年 2 月 13 日、中医協総会資料

⁴ 保険医療機関及び保険医療養担当規則（昭和 32 年厚生省令第 15 号）第 20 条第 2 号

⁵ 麻薬及び向精神薬取締法（昭和 28 年法律第 14 号）第 2 条第 1 号に規定する麻薬（コカイン、ジアセチルモルヒネ（別名ヘロイン）等）、第 2 条第 6 号に規定する向精神薬、新医薬品で薬価収載日の翌月初日から起算して 1 年を経過していないもの。

⁶ 塩酸モルヒネ等

⁷ ジアゼパム（抗不安薬）、ニトラゼパム（抗てんかん薬）等

2. アンケート調査の目的と方法

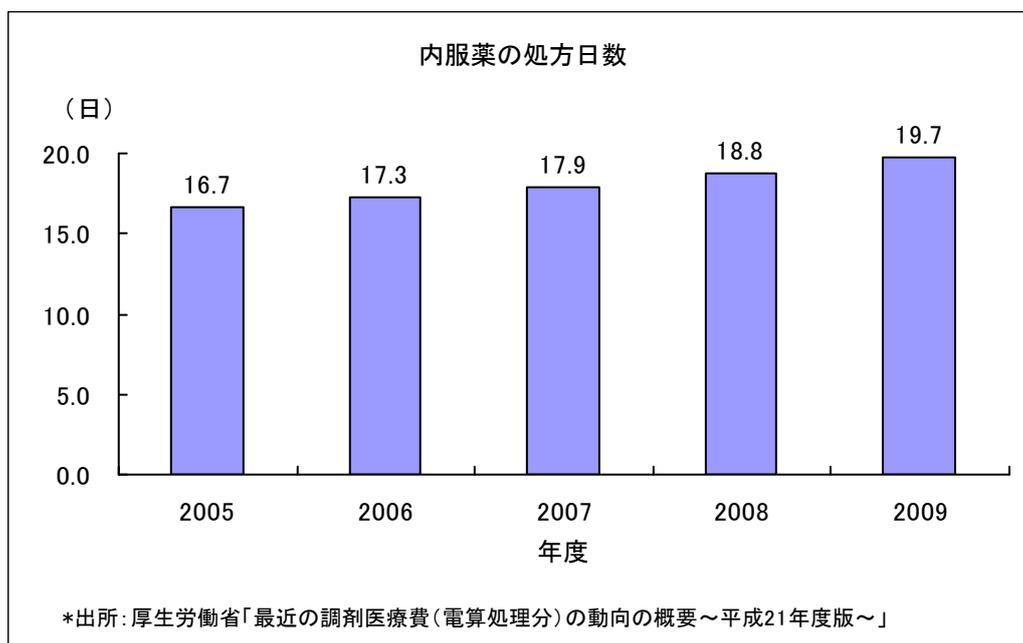
2.1. 目的

内服薬の処方日数は年々長期化しており、特にここ3年間は、平均処方日数が年1日近いペースで伸びている（図 2.1.1）。

長期処方とは、病状が安定している慢性疾患等の患者の通院回数を減少させ患者負担の軽減につながるとされる一方、患者の容態の変化に気づくことが遅れるのではないかと指摘がある。

しかし医師が医療現場で直面している長期処方の問題は、これまであまり把握されてこなかった。そこで、長期処方の実態と問題について、医療現場からの情報を収集するためアンケート調査を行った。

図 2.1.1 内服薬の処方日数



2.2. 方法

2.2.1. 調査対象

本調査はパイロット調査と位置づけ、北海道、茨城県、群馬県、千葉県、広島県、福岡県の6道県を調査対象地域とした。そしてこれらの地域から、以下の方法で、対象者を抽出した。

病院

6道県医師会の協力の下、できるだけ大学病院を含むよう、病院を任意に抽出していただき、各病院においては臨床研修医を除くすべての医師に回答を依頼した。

診療所

6道県において、日本医師会会員である診療所管理者または開設者、診療所勤務医をそれぞれ無作為に5分の1で抽出した。

2.2.2. 調査内容

調査票は、施設票と医師個人票から構成される。

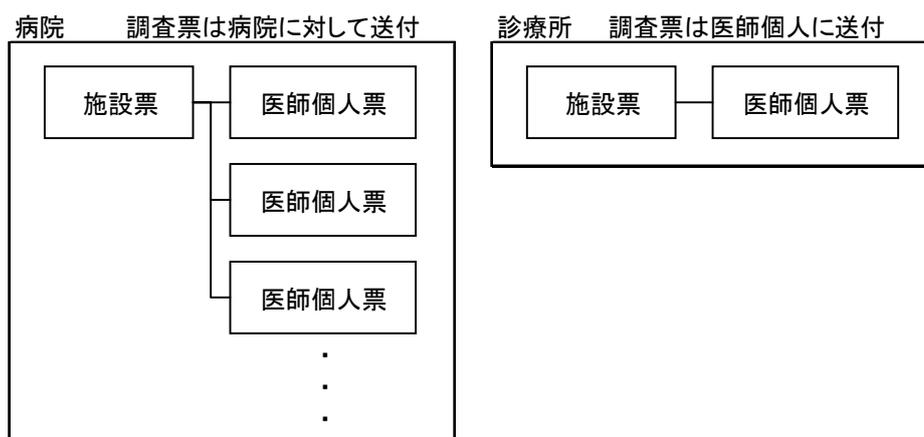
施設票では、医療施設のプロフィール、外来患者数等を、医師個人票では医師のプロフィール、処方の実態等を質問した（表 2.2.1）。

施設票は、病院では病院ごとに1部、診療所では、基本的に医師個人がそれぞれ1部記入している（表 2.2.2）⁸。

表 2.2.1 調査票の内容

施設票	<ul style="list-style-type: none"> ・ 所在地 ・ 開設者 ・ 病院種類、有床・無床 ・ 医師数 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 許可病床数 ・ 処方区分 ・ 外来患者数等
医師個人票	<ul style="list-style-type: none"> ・ 性別 ・ 年齢 ・ 業務の種類(所属元) ・ 診療科 ・ 勤務形態(常勤・非常勤) ・ 外来診療日数 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 外来診療患者数 ・ 処方日数 ・ 比較的長期の処方の対象疾患 ・ 比較的長期の処方の理由 ・ 比較的長期の処方の問題事例

表 2.2.2 調査票の構成



⁸ 偶然、同一診療所から複数の医師が抽出されたケースがあり、この場合は、施設票が複数返送されている。施設票の内容に齟齬があった場合には、回答元に問い合わせ、信頼性の高いほうを採用した。

2.2.3. 調査期間

2010年9月30日に調査票を郵送で発送し、11月5日まで郵送で回答を受け付けた。調査基準日は10月1日である。

2.2.4. 調査の実施主体

本調査は、日本医師会（総合医療政策課、保険医療課）が実施主体であり、日本医師会総合政策研究機構（日医総研）が分析を担当した。

3. アンケート調査の集計・分析

3.1. 用語の定義

所属元および勤務先

病院勤務医師の場合は、所属元は大学病院であるが、他の病院に非常勤で派遣されており、調査票は派遣先で受け取ったというケースがある。所属元、派遣先については次のように区分した。

所属元：当該医師のいわゆる本籍のある医療施設

医師個人票で、業務の種類（病院勤務医師、大学病院勤務医師、診療所の勤務医師等。兼業している場合には主なもの1つを選択）を質問しており、これによって判断した。

勤務先：当該医師が調査票を受け取った医療施設

医師個人票は、医療施設ごとに、当該施設に勤務する医師の回答をすべてとりまとめて返送してもらったので、これによって、それぞれの医師がどの医療施設に勤務しているかを分類した。

以下、特に断りのない限り「病院医師」「診療所医師」は勤務先で区別した。

大学病院

本稿では、医育機関附属の病院を大学病院と称した。厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師調査」では、医育機関附属の病院は、「学校教育法に基づく大学において、医学又は歯学の教育を行うことに付随して設けられた病院及び分院をいい、大学研究所附属病院も含む」と定義されている。

政令指定都市・中核市および特例市⁹・その他

政令指定都市：政令で指定する人口 50 万以上の市（地方自治法第 252 条の 19）。

中核市：政令指定都市が処理することができる事務のうち、都道府県がその区域にわたり一体的に処理することが中核市に比して効率的な事務を除き、中核市に対して移譲するもの。人口 30 万以上。2010 年 4 月 1 日現在 40 市。

特例市：中核市が処理することができる事務のうち、都道府県がその区域にわたり一体的に処理することが特例市に比して効率的な事務を除き、特例市に対して移譲するもの。人口 20 万以上。2010 年 4 月 1 日現在 41 市。

その他：以上のいずれにも属さない市町村。

処方期間

事前のヒアリングにより、慢性疾患等の患者に対して 4 週の処方が多くなってきているとの感触を得た。そこで、本調査では、5 週以上の処方を「比較的長期の処方」、さらに 120 日以上を「長期処方」と定義した。

⁹ 総務省「中核市・特例市」
<http://www.soumu.go.jp/cyukaku/index.html>

3.2. 回答状況

病院医師

6 道県医師会に抽出していただいた施設は 102 施設である。このほか、有床診療所と認識して調査票を送付したが、増床して病院に転換していた 3 施設を病院としてカウントした。病院の対象施設数は合計 105 施設（102 施設+3 施設）、回答施設数は 99 施設である。

対象医師数は、回答施設の施設票に記載されていた常勤、非常勤医師数（除臨床研修医）の合計数とした。対象医師数は 7,993 人である。これに対して個人票の返送をいただいた医師 2,820 人を有効回答とした。有効回答率は 35.3% である（表 3.2.1）。

また、本調査では、処方に係わる質問は、外来診療を行なっている医師を対象に行なった。有効回答医師数に占める外来診療を行なっている医師数の比率は、病院全体では 89.7%、大学病院では 86.9%であった。

表 3.2.1 病院回答状況

	対象医療施設数	回答医療施設数	対象医師数 ※1) ①	有効回答医師数 ②	外来診療 有の医師	有効 回答率 ②÷①	外来診療 有の医師 の比率 ③÷②
					※2) ③		
北海道	13	12	855	220	200	25.7%	90.9%
茨城県	21	21	1,482	434	408	29.3%	94.0%
群馬県	12	12	1,120	383	344	34.2%	89.8%
千葉県	20	16	2,359	813	720	34.5%	88.6%
広島県	18	18	1,104	545	503	49.4%	92.3%
福岡県	21	20	1,073	425	355	39.6%	83.5%
合計	105	99	7,993	2,820	2,530	35.3%	89.7%
うち大学病院	5	5	2,242	724	629	32.3%	86.9%

※1) 施設票の「常勤医師数(実数)+非常勤医師数(実数)」臨床研修医を除く

※2) 外来診療日数および外来診療患者数が>0の医師

診療所医師

医師個人 3,203 人を対象に調査票を送付したが、有床診療所から病院あるいは介護老人保健施設に転換していた施設が 4 施設(個人票 4 人分)あったため、対象医師数は 3,199 人である。医師個人票の回答医師数は 1,415 人(上記 4 人分を除く)であったが、施設票の回答のないもの、休診中と回答のあったものを対象外とした。その結果、有効回答医師数は 1,395 人、有効回答率は 43.6%であった(表 3.2.2)。

また診療所では医師の 98.5%が外来診療を行っていた。

表 3.2.2 診療所回答状況

	対象 医師数 ①	回答 医師数	有効 回答 医師数 ②	外来診療 有の医師 ※1) ③	有効 回答率 ②÷①	外来診療 有の医師 の比率 ③÷②
				③		
北海道	552	286	286	282	51.8%	98.6%
茨城県	308	124	124	123	40.3%	99.2%
群馬県	314	180	173	171	55.1%	98.8%
千葉県	620	305	303	297	48.9%	98.0%
広島県	532	187	186	183	35.0%	98.4%
福岡県	873	333	323	318	37.0%	98.5%
計	3,199	1,415	1,395	1,374	43.6%	98.5%

※1) 外来診療日数および外来診療患者数が>0の医師

全体

有効回答数は、病院医師・診療所医師合計で 4,215 人、うち外来診療を行なっている医師数は 3,904 人であった。

3.3. 処方の実態

3.3.1. 処方期間

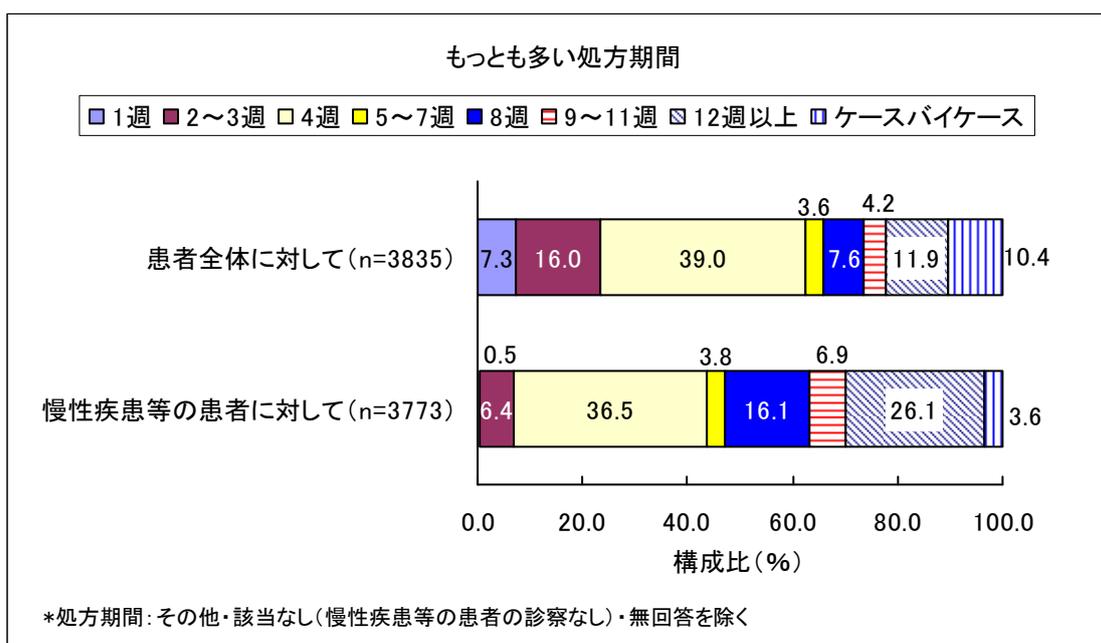
以下の患者それぞれについて、「もっとも多い処方日数は、何週（何日）ですか」という質問を行なった。たとえば処方日数 30 日の場合は、もっとも近い 4 週（28 日）を選択する方式である。

- ① 診療しているすべての患者（以下、患者全体）
- ② 病状が安定していて定期的に通院している患者（生活習慣病、甲状腺機能低下症、更年期障害など）（以下、慢性疾患等の患者）

患者全体について見たとき、もっとも多い処方期間が 5 週以上であると回答した医師が 27.3%であり、12 週以上が 11.9%あった（図 3.3.1）。

慢性疾患等の患者に対しては、もっとも多い処方期間が 5 週以上と回答した医師が 52.9%であり、12 週以上が 26.1%あった。また、慢性疾患等の患者に対しては「ケースバイケース」という回答が少なかった。

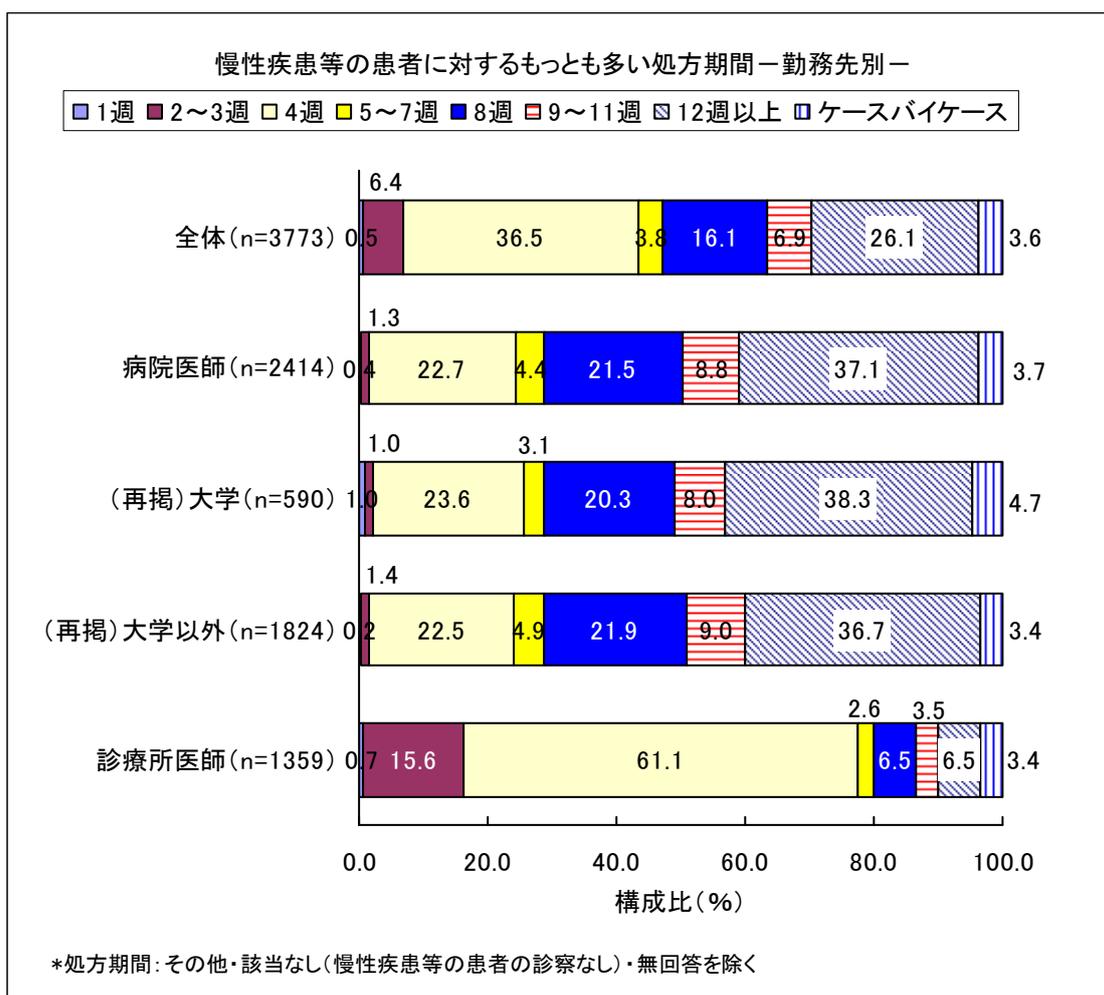
図 3.3.1 もっとも多い処方期間



慢性疾患等の患者への処方期間 勤務先別

慢性疾患等の患者への処方期間に注目すると、病院医師では、12 週以上が 37.1%であった（図 3.3.2）。診療所医師では 12 週以上は 6.5%であった。

図 3.3.2 慢性疾患等の患者に対するもっとも多い処方期間－勤務先別－



慢性疾患等の患者への処方期間 大学病院・大学以外の病院の分布

処方期間は4週、8週につづき、12週、13週も多かった(図 3.3.3, 図 3.3.4)。

図 3.3.3 慢性疾患等の患者に対するもっとも多い処方期間—大学病院—

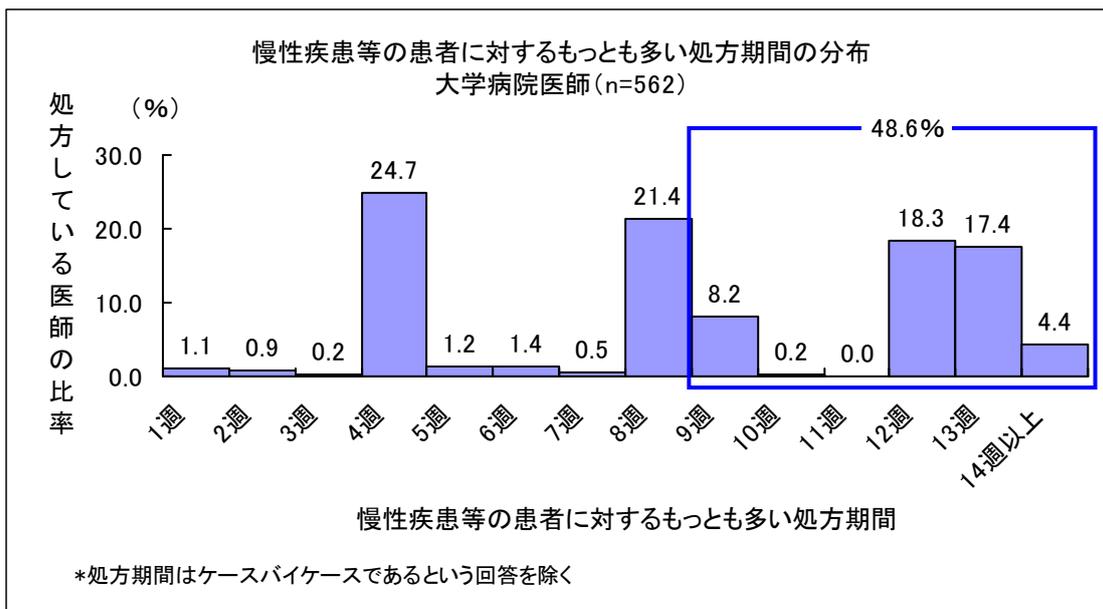
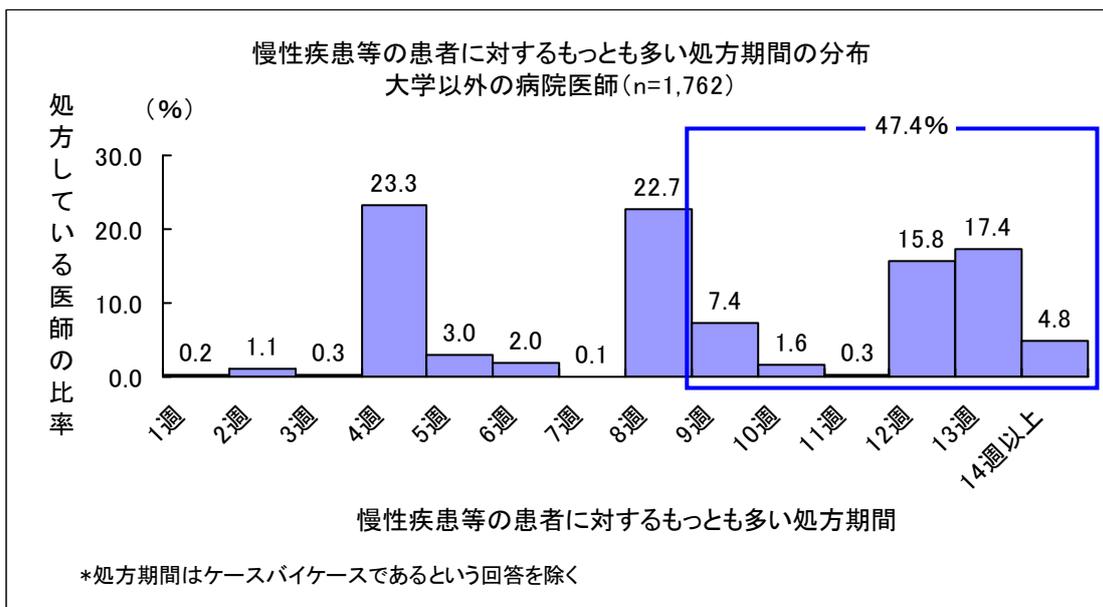


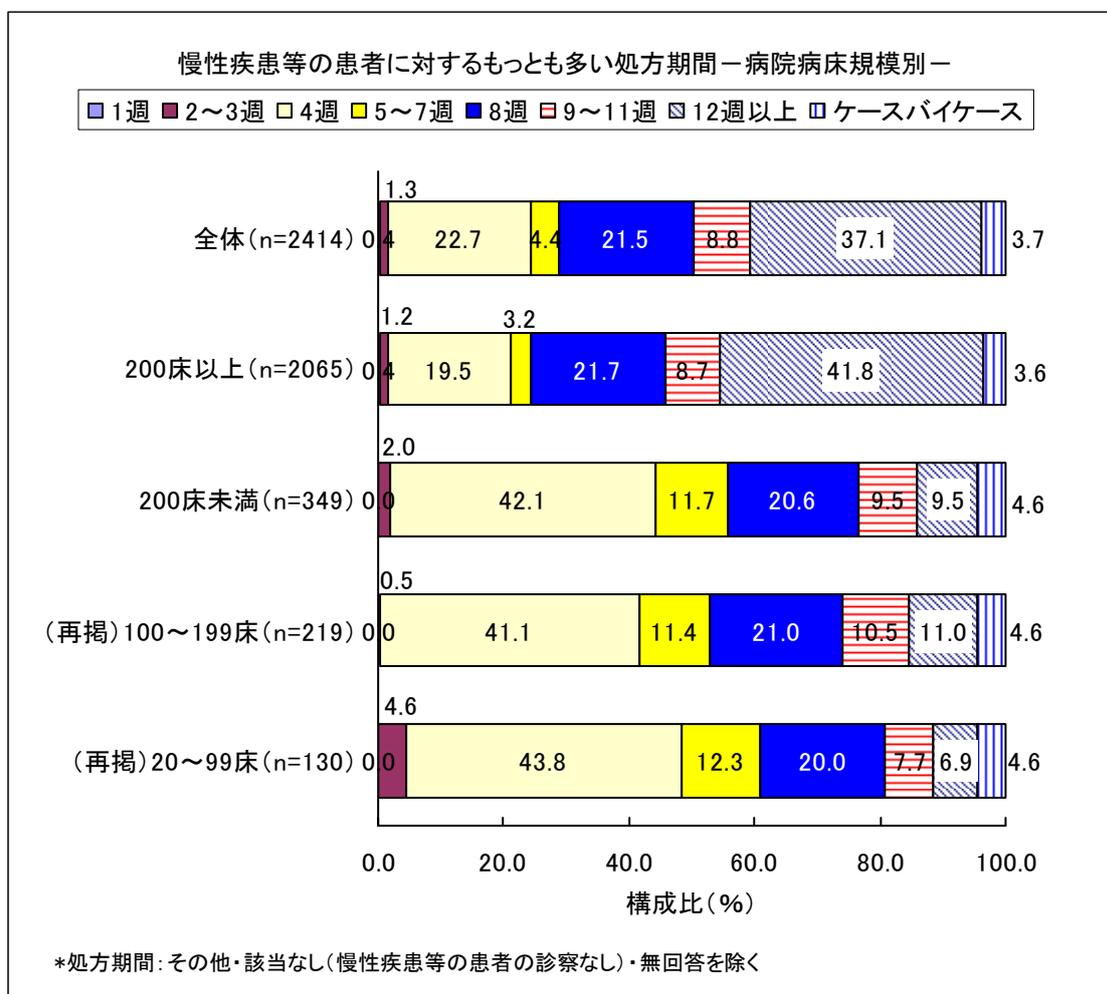
図 3.3.4 慢性疾患等の患者に対するもっとも多い処方期間—大学以外の病院—



慢性疾患等の患者への処方期間 病院病床規模別

病院医師について、勤務先の病床規模別に見ると、12週以上は200床以上で41.8%、200床未満9.5%であった（図3.3.5）。また4週以下は、200床以上で21.1%、200床未満で44.1%と病床規模の少ない病院のほうが、処方期間が短かった。さらに、100～199床、20～99床を比較すると、20～99床のほうがやや処方期間が短かった。

図 3.3.5 慢性疾患等の患者に対するもっとも多い処方期間－病院病床規模別－



慢性疾患等の患者への処方期間 病院病床規模別の分布

病床規模別では、200床未満は4週に44.1%が集中していた(図 3.3.6)。200床以上は9週以上が52.3%であった(図 3.3.7)。

図 3.3.6 慢性疾患等の患者に対するもっとも多い処方期間—200床未満—

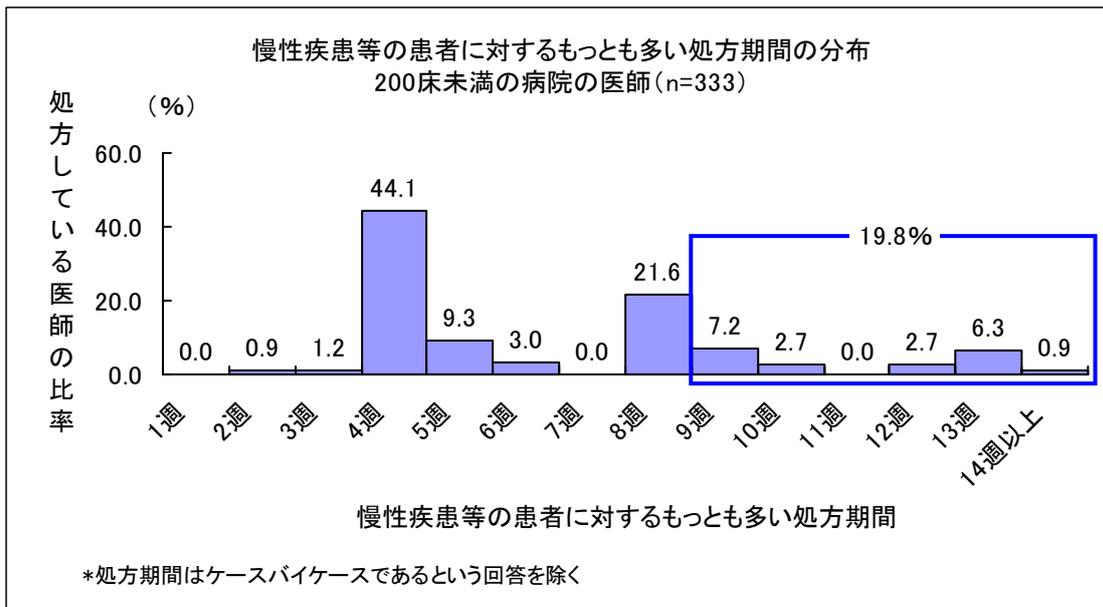
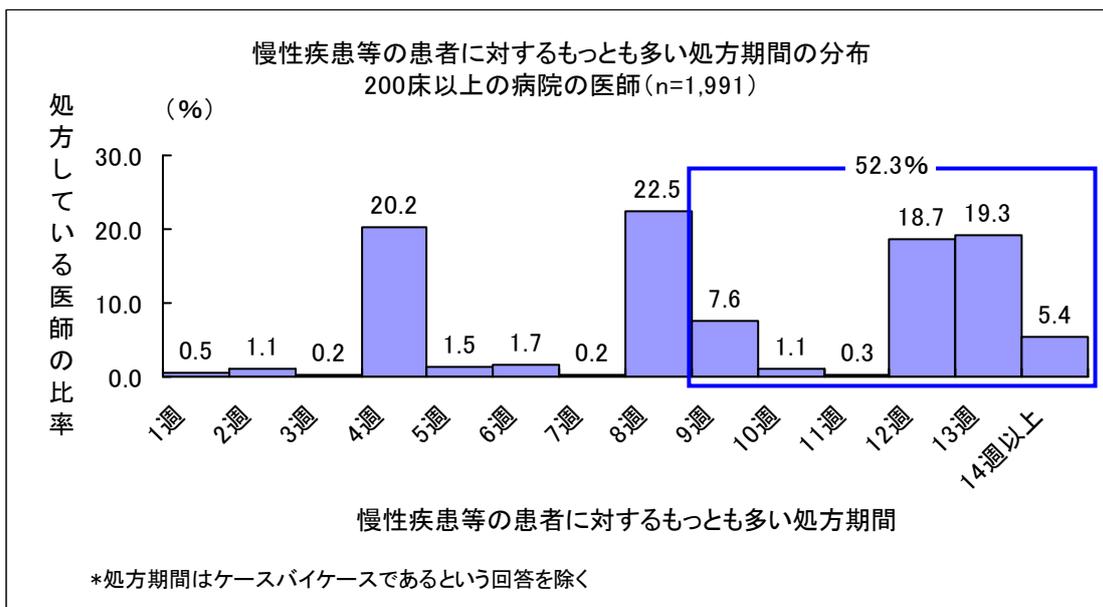


図 3.3.7 慢性疾患等の患者に対するもっとも多い処方期間—200床以上—

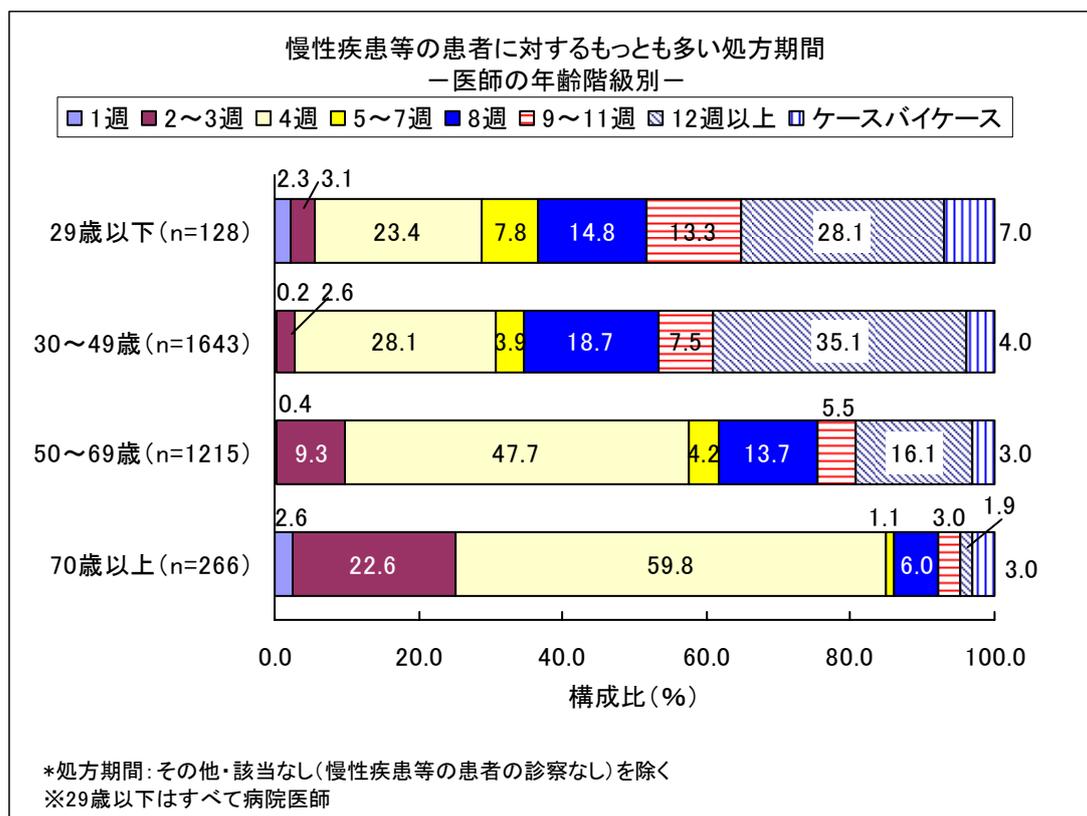


慢性疾患等の患者への処方期間 医師の年齢階級別

医師の年齢階級別では、20歳代から40歳代の医師で、処方期間が長いという傾向が見られた(図 3.3.8)。もっとも多い処方期間が12週以上であると回答した医師は、29歳以下で28.1%、30～49歳で35.1%あった。

4週以下(1週、2～3週、4週)は、29歳以下28.9%、30～49歳30.8%、50～69歳57.4%、70歳以上85.0%と、年齢が高くなるにつれ4週以下の処方を行なう医師の比率が高かった。

図 3.3.8 慢性疾患等の患者に対するもっとも多い処方期間—医師の年齢階級別—



慢性疾患等の患者への処方期間 主たる診療科別

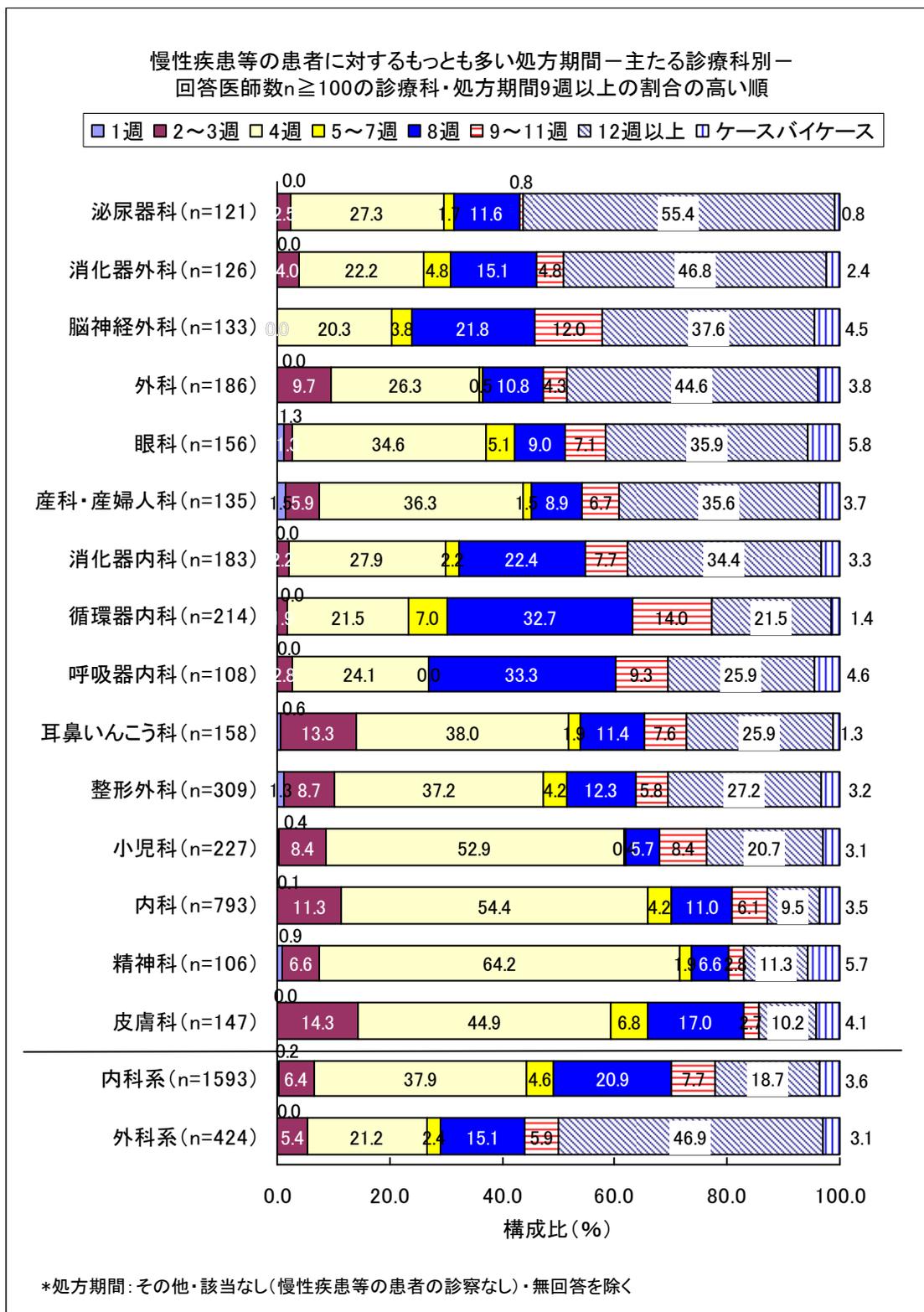
慢性疾患等の患者に対して、主として9週以上（9～11週、12週以上）の処方を行なうと回答した医師の比率は、高い順に、泌尿器科 56.2%、消化器外科 51.6%、脳神経外科 49.6%であった（図 3.3.9）。

4週以下と回答した医師は、高い順に、精神科 71.7%、内科 65.8%、小児科 61.7%であった。

なお、全体的に処方期間が短い診療所医師の回答が多い診療科は、診療所医師の影響を受ける。そこで、この後に、病院、診療所別の結果も示した。

- 内科系 : 内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科（胃腸内科）、腎臓内科、神経内科、糖尿病内科（代謝内科）、血液内科、アレルギー科、リウマチ科、感染症内科、心療内科
- 外科系 : 外科、呼吸器外科、心臓血管外科、乳腺外科、気管食道外科、消化器外科（胃腸外科）、肛門外科

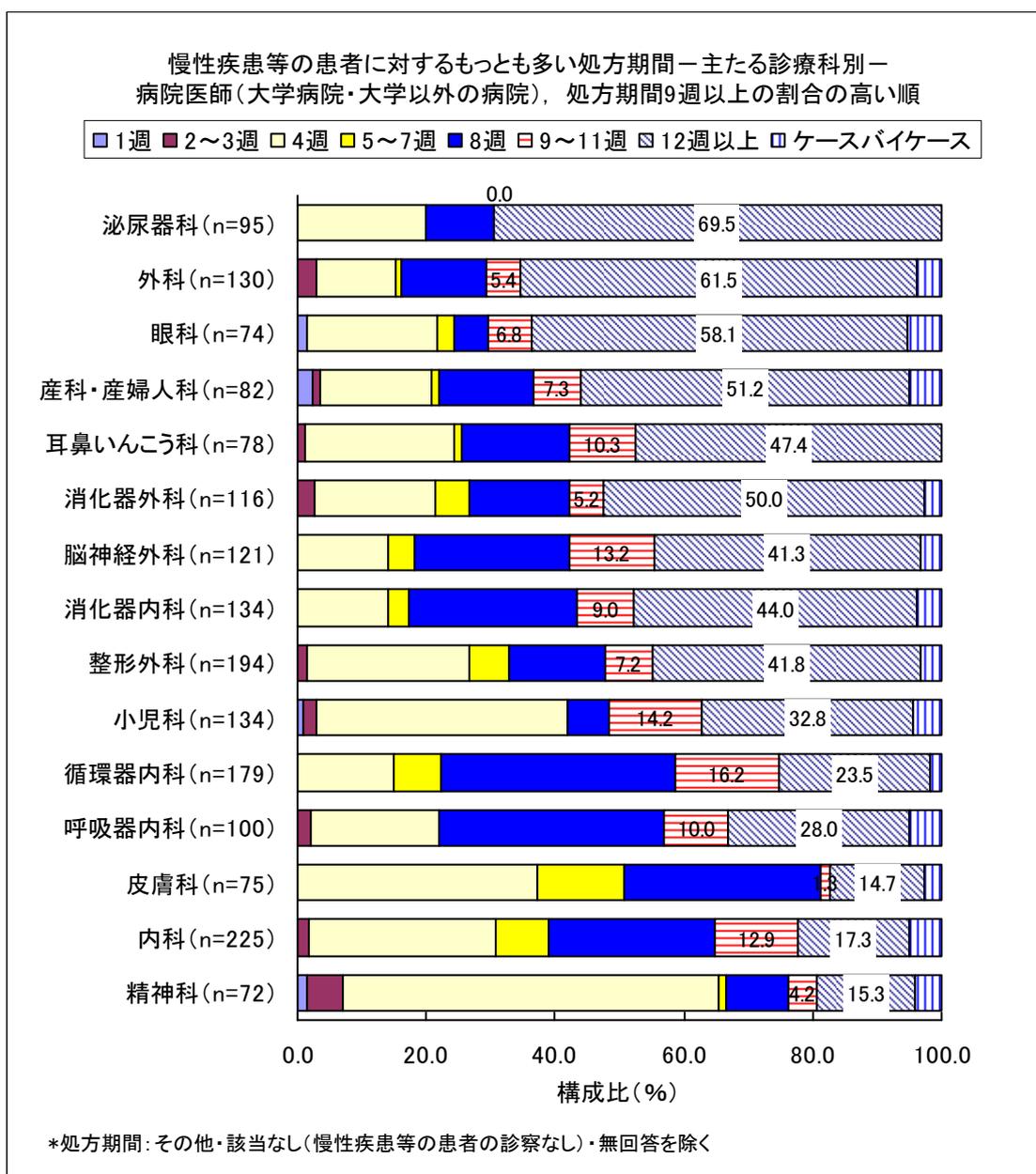
図 3.3.9 慢性疾患等の患者に対するもっとも多い処方期間—主たる診療科別—



慢性疾患等の患者への処方期間 病院 主たる診療科別

病院では、もっとも多い処方期間が9週以上であると回答した医師の比率が高い順に、泌尿器科 69.5%、外科 66.9%、眼科 64.9%であった（図 3.3.10）。

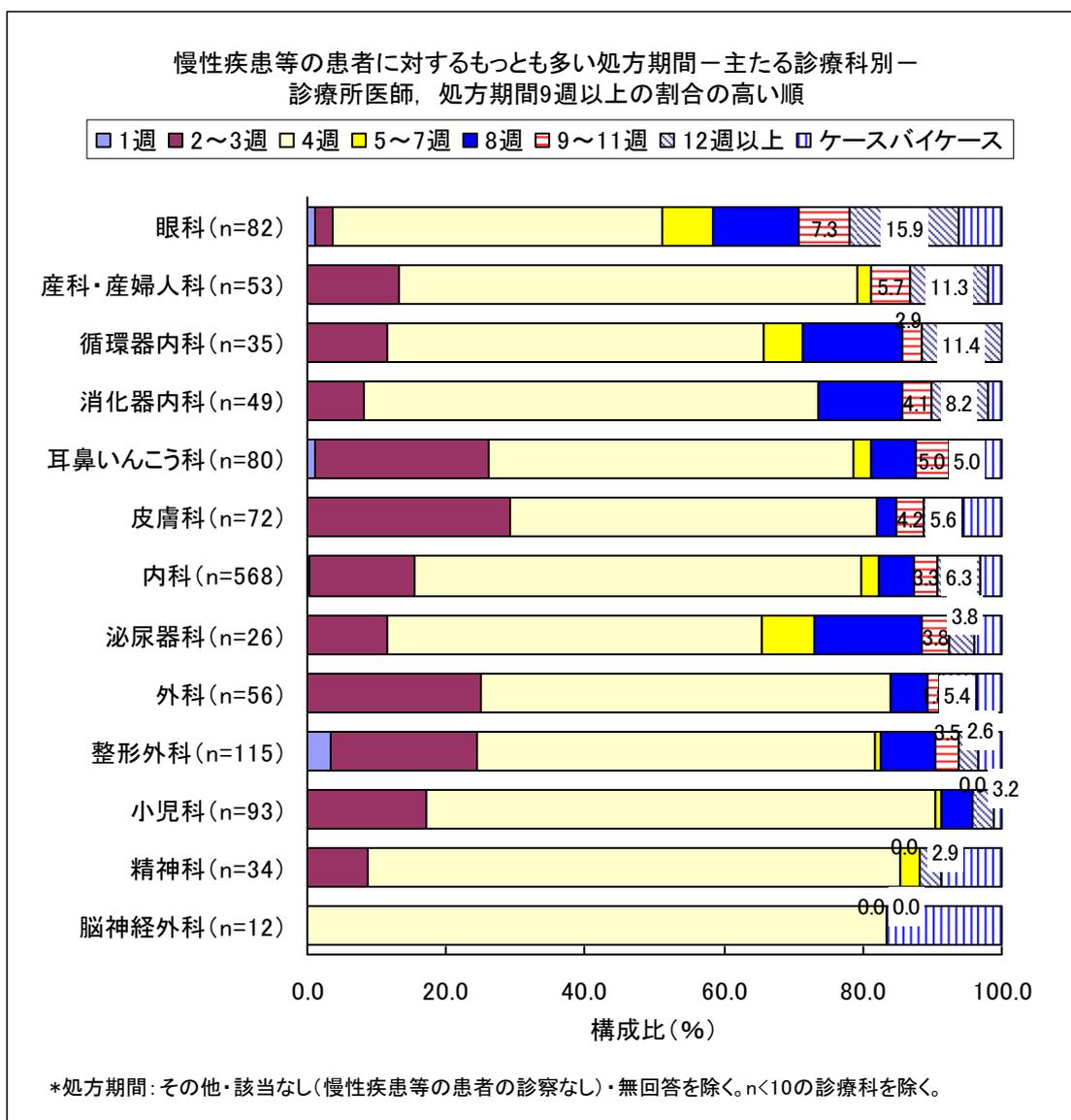
図 3.3.10 慢性疾患等の患者に対するもっとも多い処方期間
—病院医師の主たる診療科別—



慢性疾患等の患者への処方期間 診療所 主たる診療科別

診療所では、もっとも多い処方期間が9週以上であると回答した医師の比率が高かったのは、眼科の23.2%であった(図3.3.11)。また、多くの診療科において、おおむね8割前後かそれ以上の医師が、もっとも多い処方期間は4週以下であると回答していた。

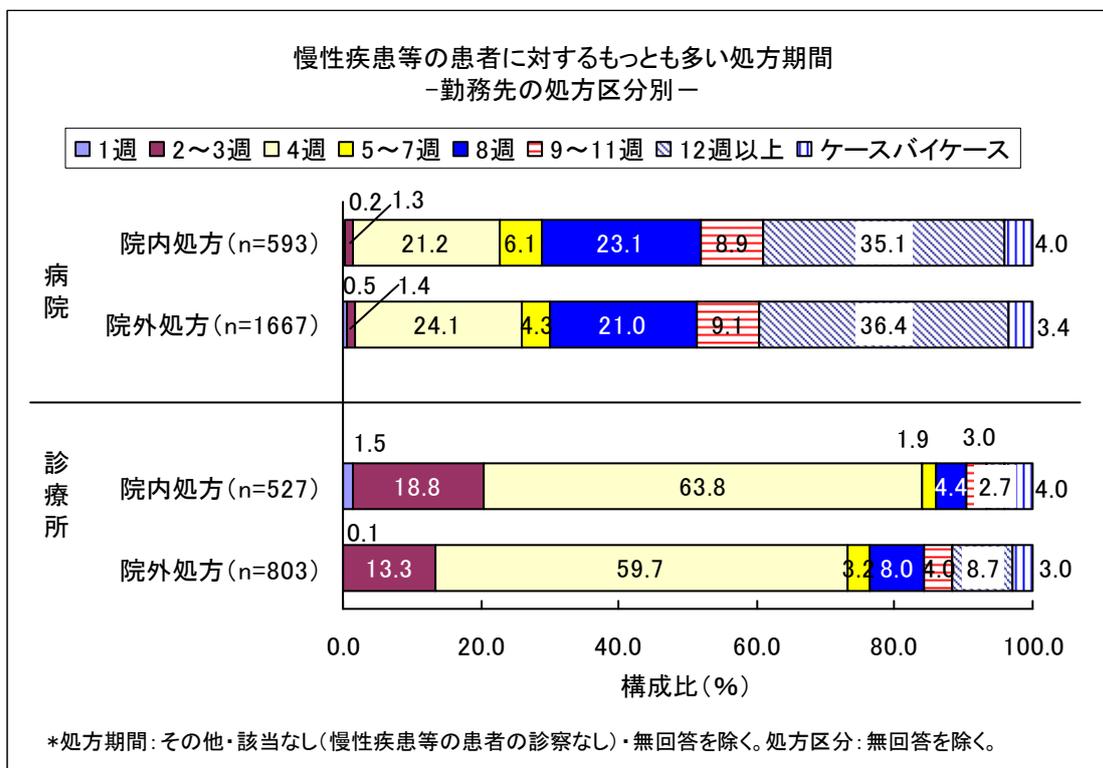
図 3.3.11 慢性疾患等の患者に対するもっとも多い処方期間
—診療所医師の主たる診療科別—



慢性疾患等の患者への処方期間 処方区分別

勤務先の処方区分別に見ると、病院では、院内・院外処方によって処方期間に差は見られなかった（図 3.3.12）。診療所では、院外処方のほうが、処方期間が長かった。

図 3.3.12 慢性疾患等の患者に対するもっとも多い処方期間－処方区分別－



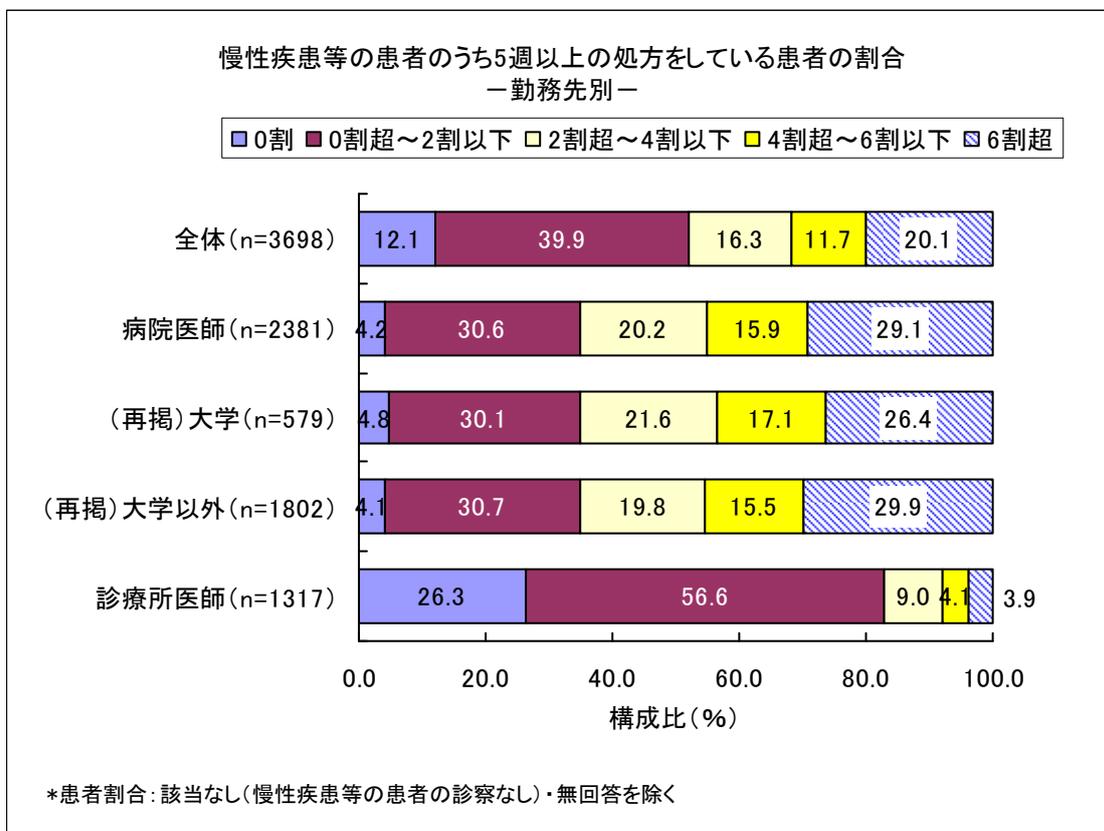
3.3.2. 比較的長期（5週以上）の処方を行なっている患者の割合

慢性疾患等の患者のうち比較的長期（5週以上）の処方を行なっている患者の割合、対象疾患および薬剤、その理由を質問した。

慢性疾患等の患者のうち5週以上の処方をしている患者の割合 勤務先別

慢性疾患等の患者のうち、5週（35日）以上の比較的長期の処方をしている患者の割合が6割超であると回答した医師は20.1%であった（図3.3.13）。一方で、慢性疾患等の患者であっても、5週以上の処方を行っていない（0割）という医師も約1割（12.1%）あり、診療所医師では26.3%あった。

図 3.3.13 慢性疾患等の患者のうち5週以上の処方をしている患者の割合
—勤務先別—

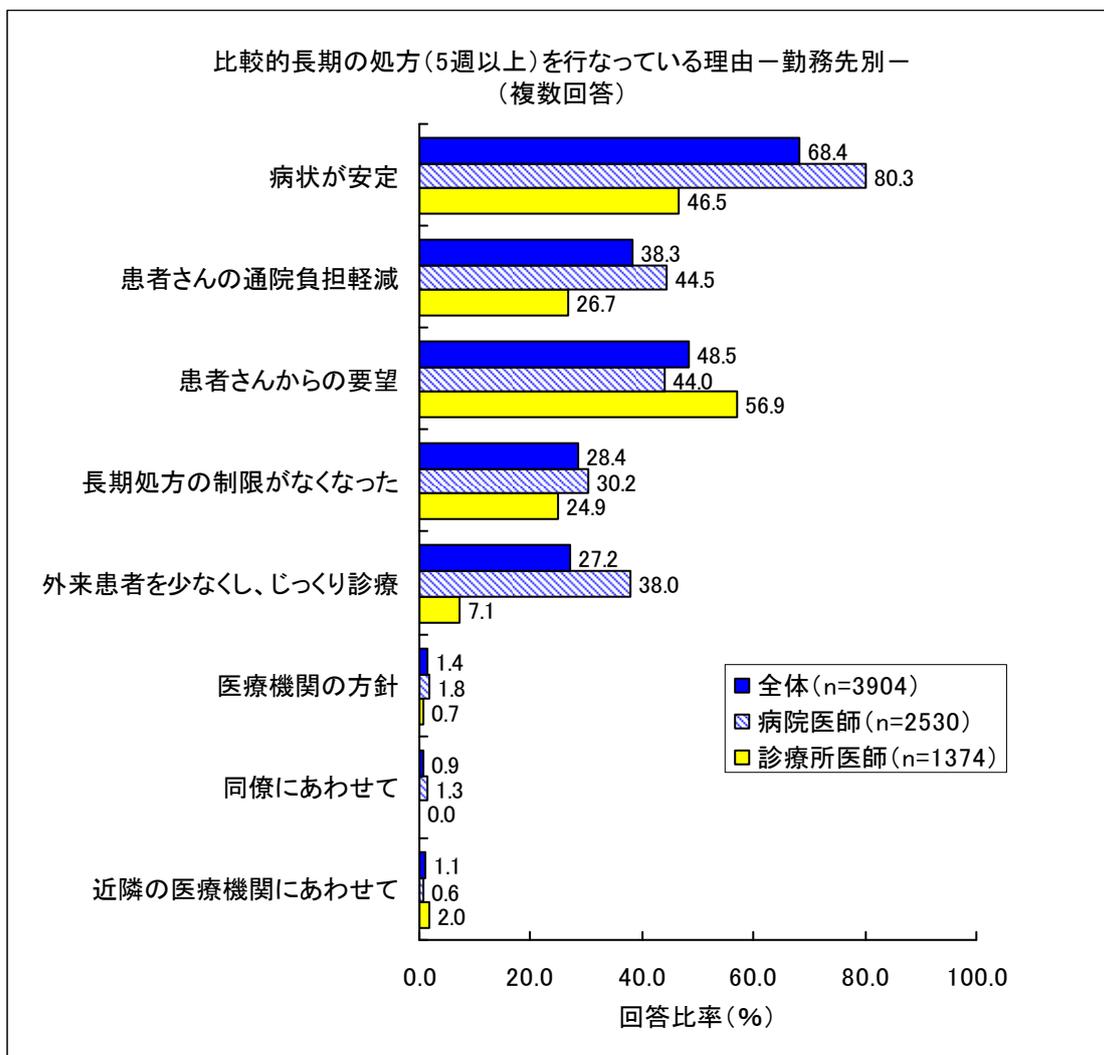


3.3.3. 比較的長期の処方を行なっている理由

慢性疾患等の患者に対し、比較的長期（5週以上）の処方をしている理由は、「病状が安定しているから」がもっとも多く68.4%、ついで「患者さんからの要望」が48.5%であった（図 3.3.14）。

病院医師では、「外来患者を少なくして、じっくり診療できるようにするため」も38.0%あった。診療所では「患者さんからの要望」が最も多く、56.9%であった。

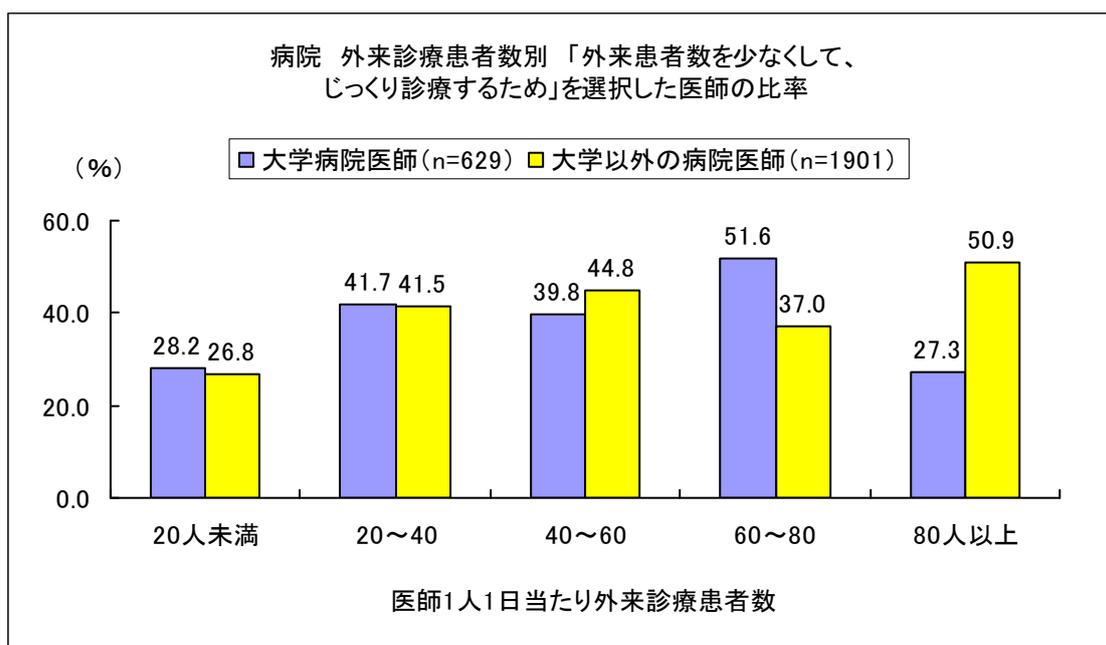
図 3.3.14 比較的長期（5週以上）の処方を行なっている理由—勤務先別—



「外来患者数を少なくして、じっくり診察できるようにするため」を選択した医師は病院では3分の1を超えている。そこで、外来診療患者数との関係を見た(図 3.3.15)。

1日に外来患者20人以上を診療している医師の約4割は、比較的長期の処方を行なう理由として、「外来患者数を少なくして、じっくり診察できるようにするため」を選択していた。ピークは、大学病院医師では外来診療患者60~80人であるのに対し、大学以外の病院医師では80人以上であった。

図 3.3.15 病院 外来診療患者数別 比較的長期の処方を行なう理由として「外来患者数を少なくして、じっくり診察するため」を選択した医師の比率



3.3.4. 比較的長期（5週以上）の処方の対象疾患

ここでは、慢性疾患等の患者のうち、比較的長期（5週以上）の処方をして
いる疾患および薬剤について、よくあるケースを5つまで記入してもらった。
薬剤については以下のように分類した（表 3.3.1）。

表 3.3.1 本稿における主な薬剤分類（例示）

分類	主な薬剤（一般名）
HMG-CoA還元酵素阻害剤	リピトール、クレストール、メバロチン、リパロ、リポバス、 プラバスタチン、プラバチン、マイバスタン
ジヒドロピリジン系Ca拮抗剤	ノルバスク、アムロジン、アムロジピン、アダラート、 コニール、カルブロック、アテレック
アンギオテンシンⅡ受容体拮抗剤	プロプレス、オルメテック、ニューロタン
甲状腺ホルモン	チラーヂン
ビスホスホネート系骨吸収抑制剤	ボナロン、フォサマック、ベネット、アクトネル
選択的AT1受容体遮断剤	ディオバン
抗てんかん、躁病・躁状態治療剤	デパケン、セレニカ
プロトンポンプインヒビター	タケプロン、オメプラール、パリエット
スルホニル尿素系血糖降下剤	アマリール、オイグルコン、グリミクロン

疾患名と薬剤名の組み合わせでもっとも多いものは、「高脂血症／HMG-CoA還元酵素阻害剤」であり、医師の38.5%が比較的長期の処方を行なう疾患・薬剤であるとして回答していた（表 3.3.2）。

ついで、「高血圧症／ジヒドロピリジン系 Ca 拮抗剤」34.2%、「高血圧症／アンギオテンシン II 受容体拮抗剤」11.3%であった。

表 3.3.2 比較的長期の処方を行なっている主な疾患および薬剤

疾患名	薬剤分類	回答比率 (%)
高脂血症	HMG-CoA還元酵素阻害剤	38.5
高血圧症	ジヒドロピリジン系Ca拮抗剤	34.2
高血圧症	アンギオテンシンII受容体拮抗剤	11.3
甲状腺機能低下症	甲状腺ホルモン	9.7
骨粗鬆症	ビスホスホネート系骨吸収抑制剤	7.8
高血圧症	選択的AT1受容体遮断剤	7.5
てんかん	抗てんかん、躁病・躁状態治療剤	5.7
逆流性食道炎	プロトンポンプインヒビター	5.2
糖尿病	スルホニル尿素系血糖降下剤	4.4
前立腺肥大症	α 1-遮断剤	3.6
じんま疹	アレルギー性疾患治療剤	3.5
便秘症	制酸・緩下剤	3.4
高尿酸血症	キサンチンオキシダーゼ阻害剤・高尿酸血症治療剤	3.2
気管支喘息	ロイコトリエン受容体拮抗剤	3.2
乳癌	アロマターゼ阻害・閉経後乳癌治療剤	3.1
甲状腺機能亢進症	抗甲状腺剤	2.9
骨粗鬆症	活性型ビタミンD3	2.9
脳梗塞	サリチル酸系解熱鎮痛・抗血小板剤	2.7
高脂血症	高脂血症治療剤	2.5
アレルギー性鼻炎	アレルギー性疾患治療剤	2.4
てんかん	向精神作用性てんかん・躁状態治療剤	2.3
高血圧症	持続性AT1受容体遮断剤	2.2

*回答比率の分母は、外来診療を行なっている医師のうち、比較的長期処方の対象疾患・薬剤名の回答があった医師数2,902人（複数回答）

比較的長期の処方を行なっているという回答が特に多かった「高脂血症／HMG-CoA 還元酵素阻害剤」「高血圧症／ジヒドロピリジン系 Ca 拮抗剤」については、もっとも多い処方期間が 9 週（約 2 か月）以上という医師が、それぞれ 3 分の 1 以上であった（図 3.3.16）。

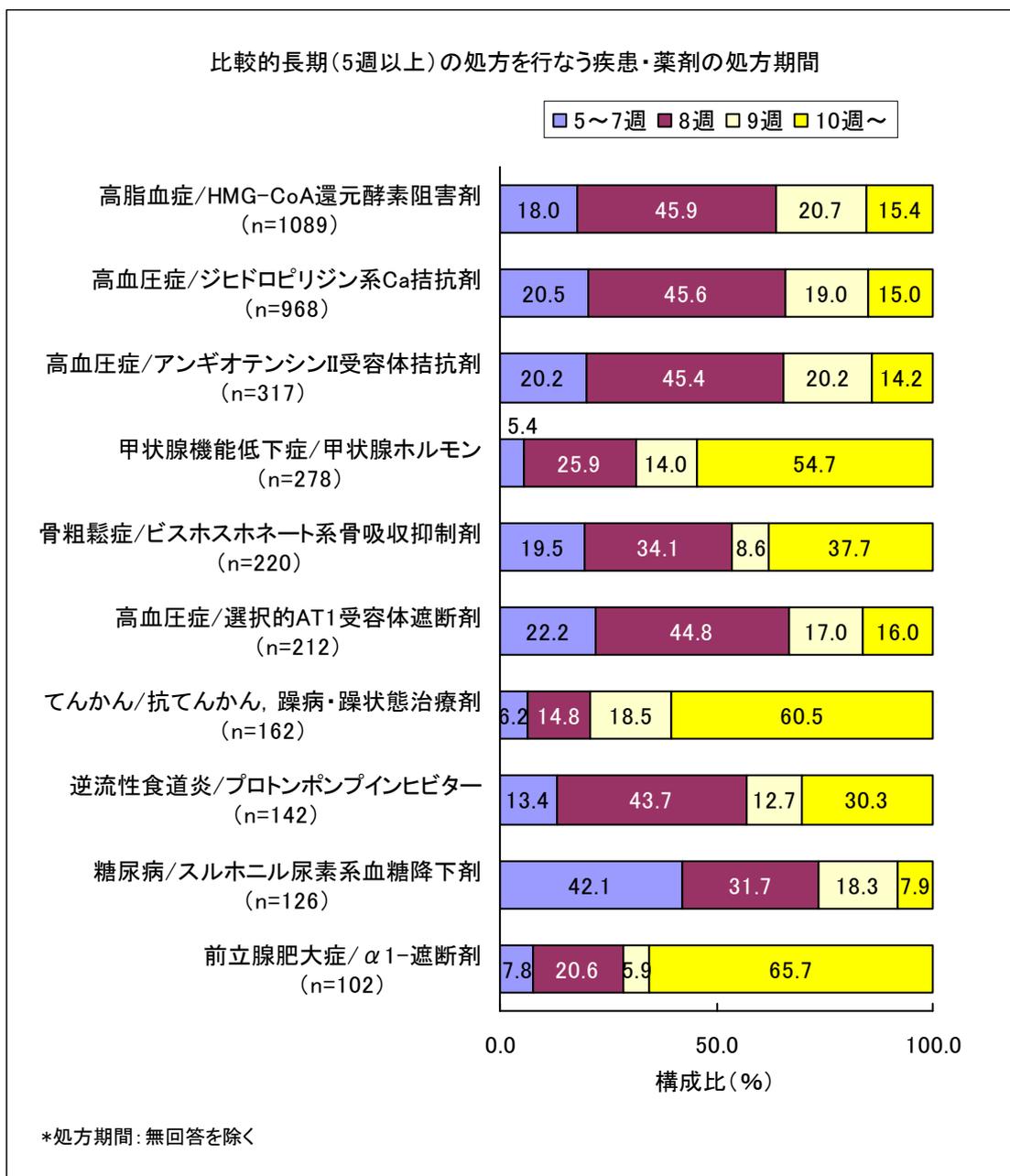
また、次の組み合わせについては、もっとも多い処方期間が 10 週以上という医師が半数以上であった。

甲状腺機能低下症／甲状腺ホルモン

てんかん／抗てんかん，躁病・躁状態治療剤

前立腺肥大症／ α 1-遮断剤

図 3.3.16 比較的長期の処方を行なう疾患・薬剤の処方期間

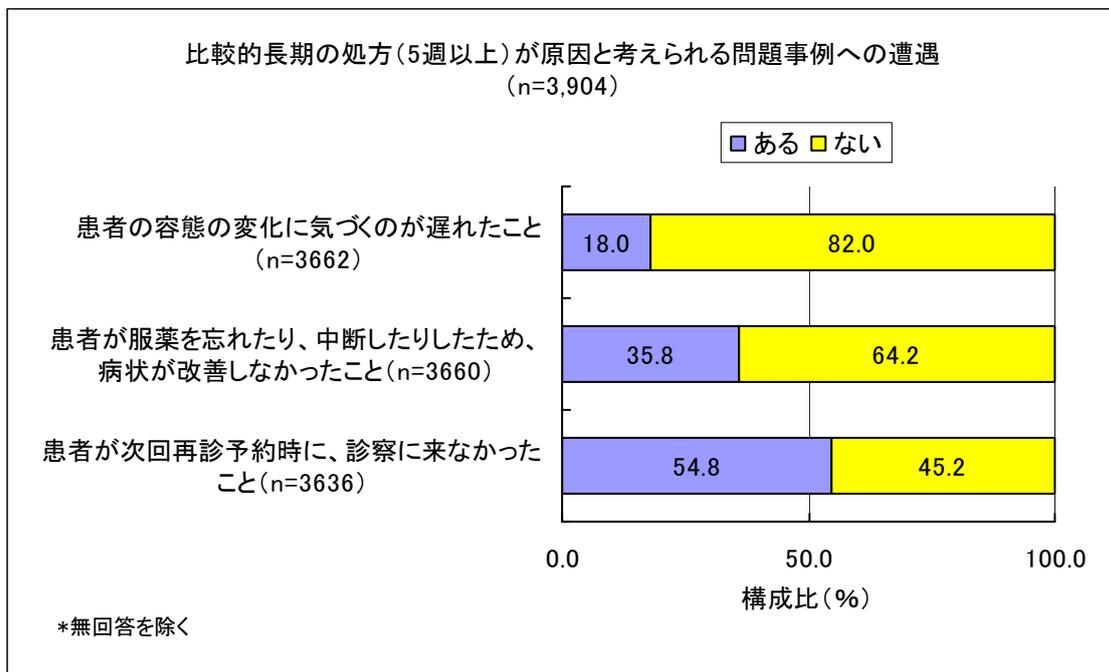


3.3.5. 比較的長期（5週以上）の処方を原因とする問題

「過去1年ぐらいの間に、比較的長期（5週以上）の処方が原因と考えられる以下の事例にあわれたことがありますか」という質問を行なった。「他院で長期処方を受けていたと思われる患者を含みます」との注釈をつけ、自己責任によるものかどうかは問うていない。

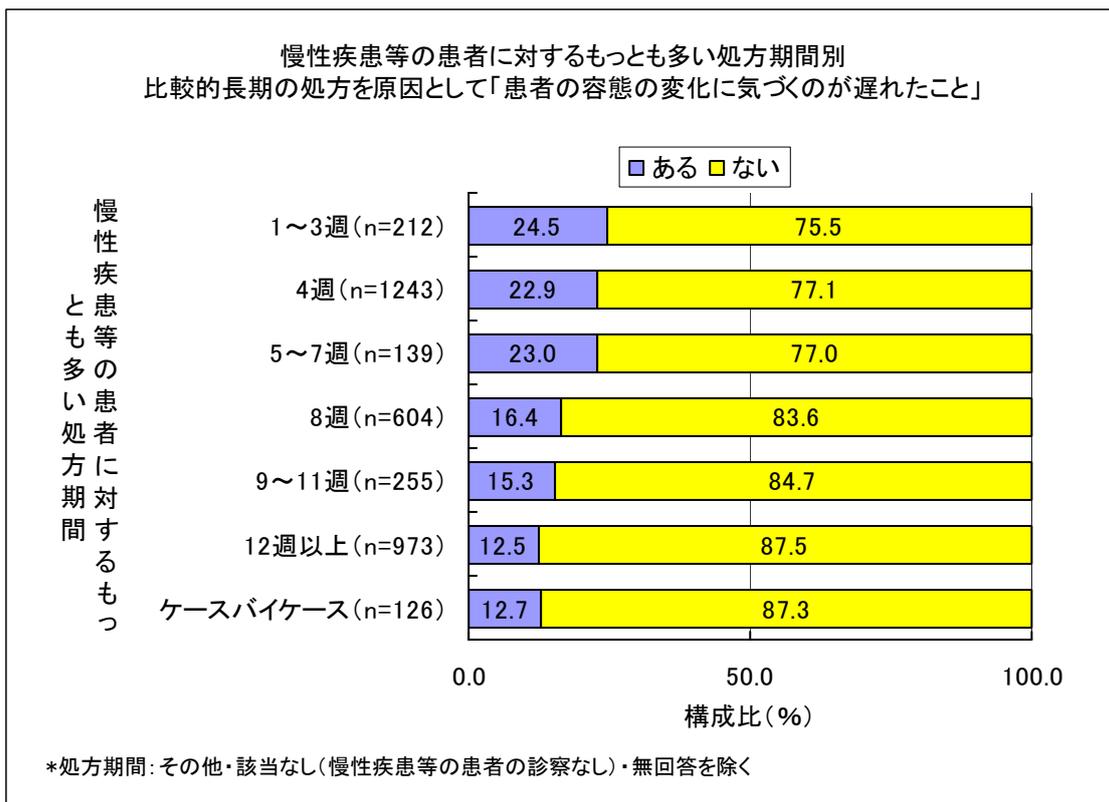
比較的長期の処方を原因として、「患者の容態の変化に気づくのが遅れたこと」がある医師は18.0%、「患者が服薬を忘れてたり、中断したりしたため、病状が改善しなかったこと」がある医師は35.8%、「患者が次回再診予約時に、診察に来なかったこと」がある医師は54.8%であった（図3.3.17）。

図 3.3.17 比較的長期の処方が原因と考えられる問題事例への遭遇



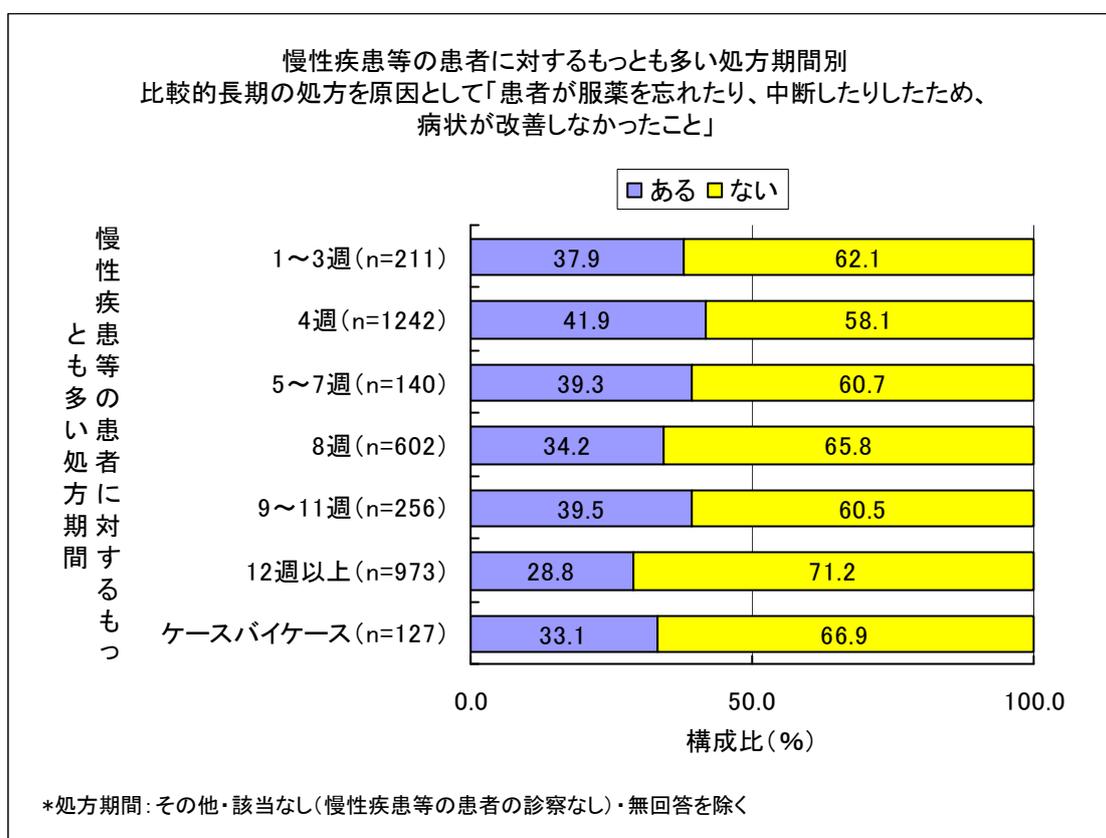
「患者の容態の変化に気づくのが遅れたこと」がある医師は処方期間が短いほど多かった（図 3.3.18）。逆にいえば、処方期間が短いがゆえに、患者の容態の変化に気づけた可能性もある。

図 3.3.18 比較的長期の処方により、患者の容態の変化に気づくのが遅れたこと



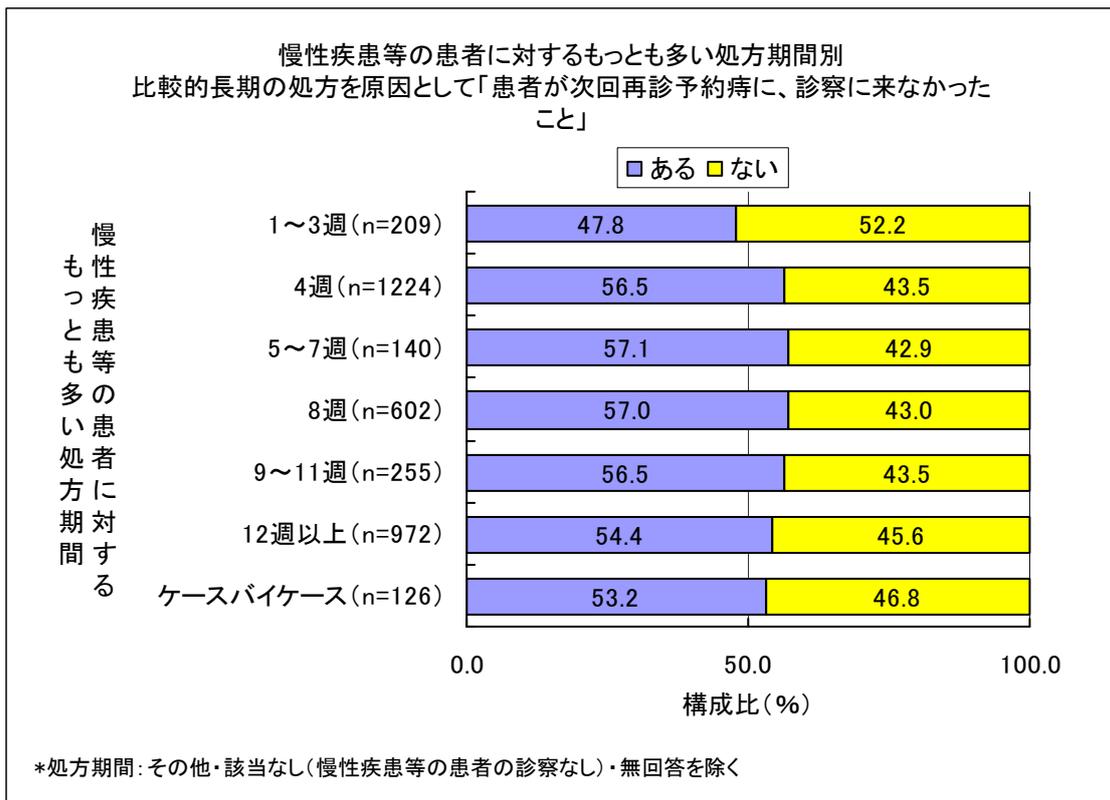
「患者が服薬を忘れてたり、中断したりしたため、病状が改善しなかったこと」があると回答した医師の比率には、処方期間による大きな差はなかった（図 3.3.19）。

図 3.3.19 比較的長期の処方により、患者が服薬を忘れてたり、中断したりしたため、病状が改善しなかったこと



「患者が次回再診予約時に、診察に来なかったこと」がある医師の比率も、処方期間別で大きな差はなかった（図 3.3.20）。

図 3.3.20 比較的長期の処方により、患者が次回再診予約時に、診察に来なかったこと



3.3.6. 具体的な問題事例

長期処方が原因と推察される具体的な問題事例を記載してもらった。回答の一部を要約、抜粋または引用して示す。

なお、長期処方かどうかにかかわらず、このような問題は起こりうるとの記述もあった。

容態悪化

- ・ 高血圧管理中に腎障害を発症した。
- ・ 高齢者で、症状が悪化しても次回再診時まで受診を控えてしまい、慢性心不全の急性増悪を起こしたケースがある。
- ・ 腎機能障害の患者が、数か月後、腎不全になったことが判明した。
- ・ 心不全により退院で3か月の処方を受けた後、浮腫などの症状が増悪した。
- ・ 他院で90日処方を受けており、糖尿病が悪化して、入院にいたった。
- ・ 他院にて高血圧症90日処方を受け、利尿剤が処方されており、当院で補液等の処置を行なった。
- ・ 他の病院で、降圧剤を3か月処方され、低血圧状態となった例を経験した。
- ・ 多量服薬により急性薬物中毒になった。
- ・ 内服薬（顆粒）が湿ってしまい、血中濃度が低下してけいれん発作を起こした。
- ・ 服用中断期間が長く、脳梗塞を発症したケースがある。
- ・ ワーファリン投与中の方で、自己判断で中止され、血栓弁となり心不全症状となり来院。そのまま、再手術となった。
- ・ 患者の降圧剤の内服が不規則になり、血圧が不安定となり、脳出血を生じた。
- ・ 甲状腺術後長期投与により、夏期に脱水を起こし高カルシウム血症から急性腎不全（一過性）になった。
- ・ 症候性てんかんで抗けいれん剤を服用中、自己判断で中止し、けいれん発作で搬送された。

- ・ 服薬を停止後、下血があり、本人は痔病と判断していたが、来院にて直腸癌と診断された。

受診抑制

- ・ 長期処方であっても症状に変化があれば受診するように指導しているが、患者が遠慮して次の診療時まで我慢するケースがある。
- ・ 別の病気を発症しても、処方された薬がある期間は、その薬を服用していた。
- ・ 高血圧症の患者、心不全があり、苦しくなったが、予約が先のためその間我慢してしまった。
- ・ 症状があっても次回予約日まで受診しなかったため閉塞性動脈硬化症が増悪した。

家族・知人間の服用

- ・ 家族 1 人が受診して、長期処方を希望し、家族間で服用している。
- ・ 薬が多くあるため、家族、知人と分けていたことがある。
- ・ 睡眠導入剤を知人に譲っていた。

重複投与

- ・ 薬をなくしたとして、別の医師に長期処方をしてもらうということを繰り返していた患者があった。

処方変更

- ・ 処方を変更した際に、それ以前に処方していた薬が無駄になる。
- ・ 長期処方を行なった薬で副作用が起きた場合、大量に破棄することになる。

自殺

- ・ 本人、家族の大量服薬による自殺に使用された。

診療上の弊害

- ・（長期間来院しないので）患者さんの背景を思い出すのに時間がかかる。

その他

- ・ 長期処方を行なった後、被保険者証が失効していたことがわかった。
- ・ 処方期間中に副作用が出て服用を中止し、残薬の代金の返納を求められた。
- ・ 副作用により服用を中止し、不要薬剤の返品を希望する患者がある。

3.3.7. 長期処方（120日以上、180日以上）

過去1年間において、120日以上処方を行なったことがある医師は7.5%、180日以上処方を行なったことがある医師は2.8%であった（図3.3.21、図3.3.22）。

図 3.3.21 過去1年間における120日以上処方の有無

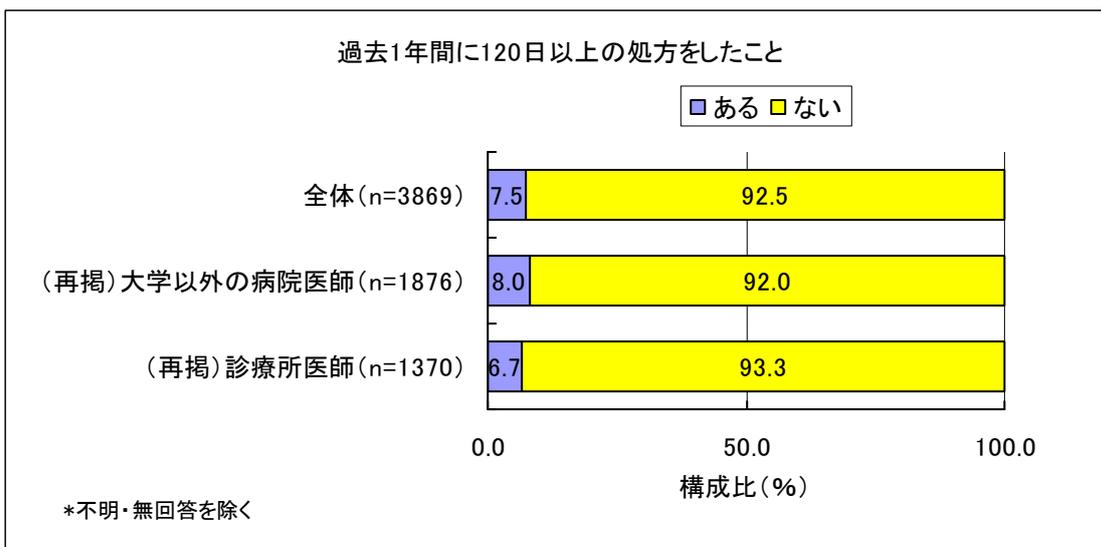
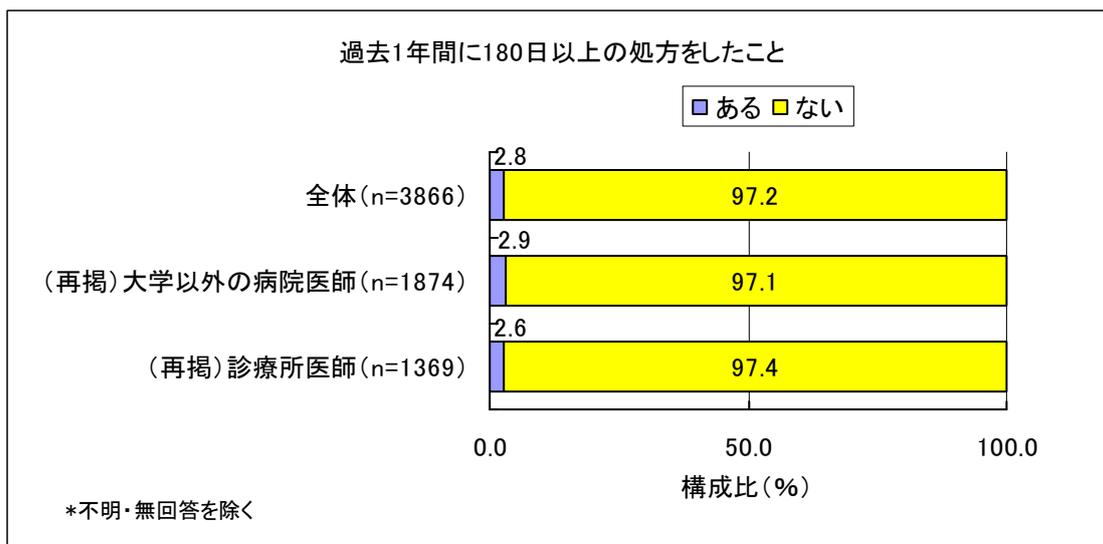


図 3.3.22 過去1年間における180日以上処方の有無



3.3.8. まとめ

- 現在、もっとも多い処方期間が「5週以上」であるという医師が3割近くあり、処方期間が長期化している。
- 慢性疾患等の患者に限ってみると、もっとも多い処方期間が「12週以上」であるという医師が3割近く（26.1%）ある。特に、高脂血症（HMG-CoA還元酵素阻害剤）や高血圧症（ジヒドロピリジン系 Ca拮抗剤）等については、医師の半数近くが「8週」の処方が多いと回答しており、「8週以上」では約8割に達していた。
- 5週以上の比較的長期の処方を原因として「患者の容態の変化に気づくのが遅れたこと」がある医師が18.0%あった。「患者が次回再診予約時に、診察に来なかったこと」がある医師は約5割であった。容態の変化については、急性増悪し、重篤化したケースも報告された。
- 処方期間の短い医師のほうが、比較的長期の処方を原因として、「患者の容態の変化に気づくのが遅れたことがある」と回答した医師の割合が高かった（本調査では、他院で長期処方を受けたと思われる患者が当院を診察した場合の事例を含んでおり、自己責任かどうかは問うていない）。逆にいえば、処方期間が短いからこそ、変化に気づくことができたのではないかと考えられる。
- 比較的長期の処方が行なわれている慢性疾患等の患者には高齢者が少なくないと推察されるが、高齢者は、長期処方中に容態が変化しても、遠慮して、次回診療時まで我慢してしまうという報告もあった。
- 慢性疾患等の患者に対する処方期間は、特に20歳代から40歳代の医師で長かった。

- 病院医師では、1日の外来診療患者数20人以上の医師の約4割が、比較的長期の処方を行なっている理由として、「外来患者を少なくして、じっくり診療するため」を選択していた。
- 診療所医師では、比較的長期の処方を行なう理由として、もっとも多かった回答は「患者さんからの要望」で6割近くであった。

今回の調査から、慢性疾患等の患者に対する処方期間が非常に長期化していること、そのために深刻な問題が生じていることが浮びあがった。本調査はパイロットスタディとして行なったものであるが、示唆される問題は少なくなかった。長期処方の実態と問題について、厚生労働省は全国レベルできちんと把握すべきである。

3.4. 医療施設のプロフィール（施設票関連）

3.4.1. 所在地

本調査はパイロットスタディと位置づけており、そもそも回答医療施設の地域的偏在は考慮していないが、参考までに6道県別の回答医療施設数を示す(表3.4.1)。

表 3.4.1 6道県別の回答状況

病院

	本調査		(参考)全国	
	回答医療施設数	構成比※1) (%)	医療施設数	構成比※1) (%)
北海道	12	12.1	588	30.6
茨城県	21	21.2	189	9.8
群馬県	12	12.1	138	7.2
千葉県	16	16.2	284	14.8
広島県	18	18.2	254	13.2
福岡県	20	20.2	468	24.4
計	99	100.0	1,921	100.0

診療所

	本調査		(参考)全国	
	回答医療施設数 ※2)	構成比※1) (%)	医療施設数	構成比※1) (%)
北海道	284	20.4	3,378	19.4
茨城県	124	8.9	1,694	9.7
群馬県	172	12.4	1,576	9.0
千葉県	303	21.8	3,652	21.0
広島県	185	13.3	2,642	15.2
福岡県	321	23.1	4,476	25.7
計	1,389	100.0	17,418	100.0

*全国のデータは、厚生労働省「平成21年 医療施設(動態)調査」

※1) 構成比は6道県の中での割合

※2) 診療所の有効回答医師数は1,395であるが、1診療所から複数回答があったところがあるので、施設数は1,389

3.4.2. 開設者

開設者別の回答医療施設数は以下のとおりであり、病院の約半数、診療所の4割強が医療法人立である（表 3.4.2）。厚生労働省の「医療施設動態調査（平成 22 年 8 月末概数）」によれば、医療法人立の施設の割合は病院で 65.9%、診療所で 36.0%である。本調査では、意図的に大学病院を抽出したため、全国に比べて病院の医療法人の比率が低い。

表 3.4.2 開設者別回答状況

開設者	大分類	中分類	病院		診療所	
			数	構成比 (%)	数	構成比 (%)
国	大学以外	公立公的	0	0.0	0	0.0
独立行政法人国立病院機構	大学以外		5	5.1	0	0.0
国立大学法人	大学病院	大学病院	3	3.0	0	0.0
独立行政法人労働者健康福祉機構	大学以外	公立公的	2	2.0	0	0.0
都道府県	大学以外		3	3.0	0	0.0
市町村	大学以外		10	10.1	5	0.4
地方独立行政法人	大学以外		0	0.0	0	0.0
公立大学法人	大学病院	大学病院	1	1.0	0	0.0
公的	大学以外	公立公的	9	9.1	0	0.0
社会保険関係団体	大学以外		2	2.0	0	0.0
公益法人	大学以外	民間	5	5.1	2	0.1
医療法人	大学以外		48	48.5	597	43.0
私立学校法人	大学病院	大学病院	1	1.0	1	0.1
社会福祉法人	大学以外	民間	2	2.0	4	0.3
個人	大学以外		2	2.0	772	55.6
その他	大学以外	その他	6	6.1	7	0.5
無回答	無回答	無回答	0	0.0	1	0.1
計			99	100.0	1,389	100.0

3.4.3. 区分（病院種類、有床・無床）

病院

一般病院 96 施設 (97.0%)、精神科病院 3 施設 (3.0%) であった (表 3.4.3)。

表 3.4.3 病院区分別回答状況

本調査

	回答医療施設数			構成比 (%)		
	大学病院	大学以外	計	大学病院	大学以外	計
一般病院	5	91	96	5.1	91.9	97.0
精神科病院	0	3	3	0.0	3.0	3.0
計	5	94	99	5.1	94.9	100.0

(参考) 病院全国

	医療施設数			構成比 (%)		
	医育施設	医育以外	計	医育施設	医育以外	計
一般病院	157	7,498	7,655	1.8	85.8	87.6
精神科病院	2	1,081	1,083	0.0	12.4	12.4
計	159	8,579	8,738	1.8	98.2	100.0

*全国のデータは、厚生労働省「平成21年医療施設(動態)調査」
同調査では「大学病院」ではなく、「医育施設」として分類されている。

診療所

有床診療所は 205 施設 (14.8%)、無床診療所は 1,184 施設 (85.2%) であった (表 3.4.4)。

表 3.4.4 診療所有床・無床別回答状況

	本調査		(参考) 全国	
	回答医療施設数	構成比 (%)	施設数	構成比 (%)
有床診療所	205	14.8	11,072	11.1
無床診療所	1,184	85.2	88,563	88.9
計	1,389	100.0	99,635	100.0

*全国のデータは、厚生労働省「平成21年医療施設(動態)調査」
直近のデータでは、有床診療所10,645(10.7%)、無床診療所89,076(89.3%)、計99,721。
厚生労働省「医療施設動態調査(平成22年8月末概数)」

3.4.4. 1 施設当たり医師数

1 施設当たり医師数（実人数、臨床研修医を含む）は、大学病院 511.2 人、大学以外の病院 67.1 人、診療所 1.8 人であった（表 3.4.5）。

1 施設当たり常勤換算医師数は、大学病院 421.1 人、大学以外の病院 49.3 人、診療所 1.4 人であった。

表 3.4.5 1 施設当たり医師数

1施設当たり医師数(実人数) (人)

	回答医療施設数	常勤	非常勤	臨床研修医	計
大学病院	5	270.0	178.4	62.8	511.2
大学以外	94	38.4	22.8	5.9	67.1
病院	99	50.1	30.7	8.7	89.5
診療所	1,389	1.3	0.5	0.0	1.8

1施設当たり常勤換算医師数(常勤換算医師数無回答の施設を除く) (人)

	回答医療施設数	常勤	非常勤	臨床研修医	計
大学病院	5	270.0	88.3	62.8	421.1
大学以外	94	38.4	5.1	5.9	49.3
病院	99	50.1	9.3	8.7	68.1
診療所	1,283	1.3	0.1	0.0	1.4

1 施設当たりの常勤換算医師数に占める常勤医師数の割合は、大学病院 64.1%、大学以外の病院 77.8%、診療所 93.5%であった（図 3.4.1）。

臨床研修医を除いた場合の常勤医師数の割合は、大学病院 75.4%、大学以外の病院 88.3%、診療所 93.9%であった（図 3.4.2）。

図 3.4.1 1施設当たり常勤換算医師数の構成比

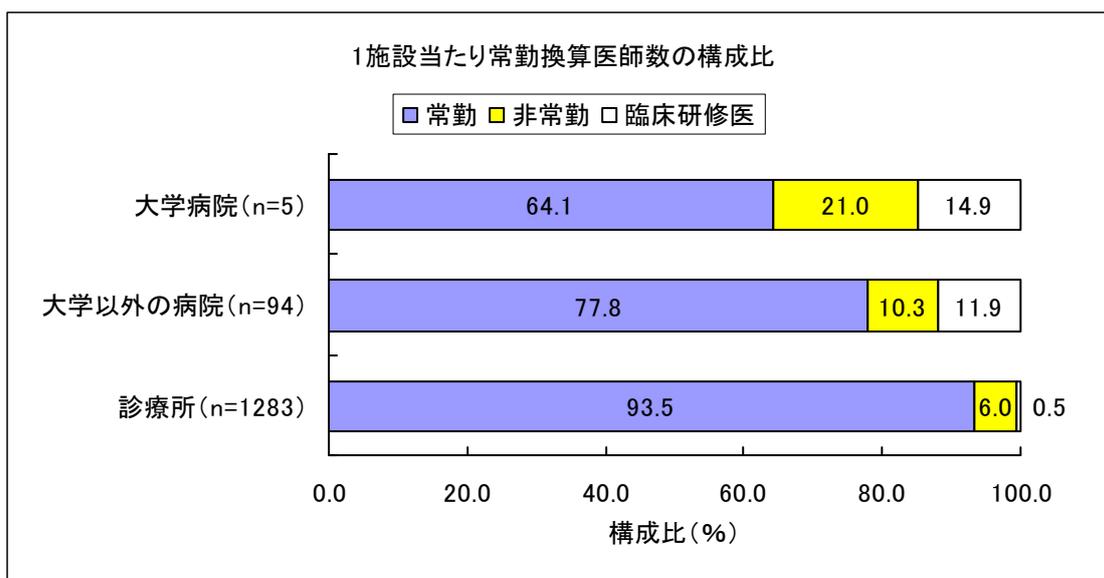
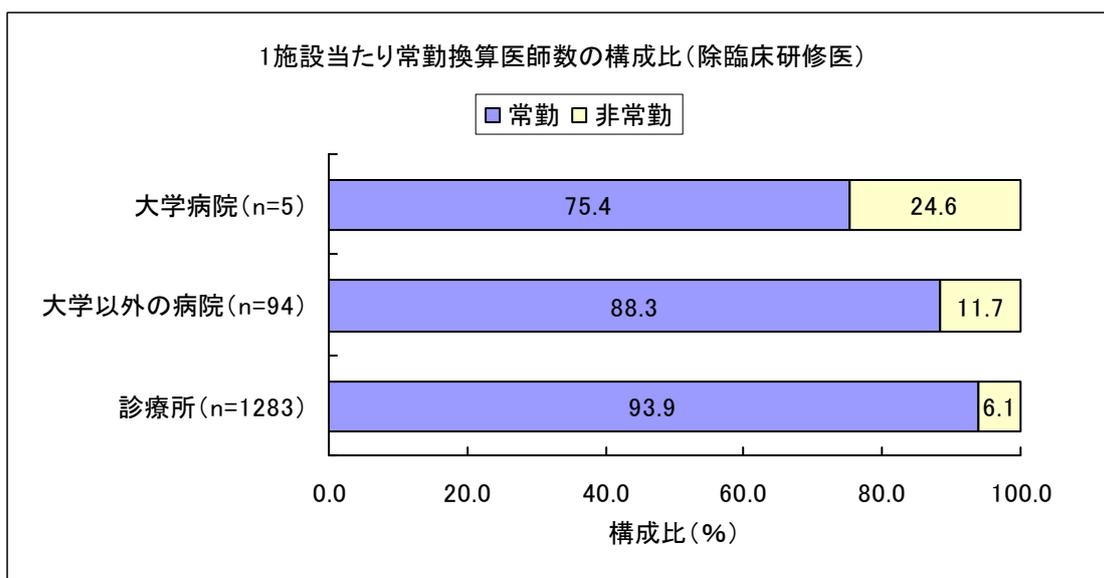


図 3.4.2 1施設当たり常勤換算医師数の構成比（除臨床研修医）



3.4.5. 許可病床数

1施設当たりの許可病床数は、一般病院 318.6 床、精神科病院 296.0 床、有床診療所 13.5 床であった（表 3.4.6）。また病院のうち、大学病院では 789.8 床、大学以外の病院では 292.8 床であった。

病床規模別の回答医療施設構成比は、200 床未満 45.5%、200 床以上 54.5% であった。本調査では、できるだけ大学病院を含んで抽出しており、全国に比べて、500 床以上の病院の構成比が高い。

表 3.4.6 1施設当たり許可病床数

1施設当たり許可病床数(2010年10月1日)

		回答医療施設数	1施設当たり許可病床数(床)						計
			精神	感染症	結核	医療療養	介護療養	一般	
病院	一般病院	96	9.5	0.5	3.1	21.7	4.9	278.8	318.6
	精神科病院	3	289.3	0.0	0.0	0.0	0.0	6.7	296.0
	全体	99	18.0	0.5	3.1	21.1	4.8	270.5	317.9
有床診療所		205	0.0	0.0	0.0	1.1	0.3	12.1	13.5

病院 1施設当たり許可病床数

		回答医療施設数	1施設当たり許可病床数(床)						計
			精神	感染症	結核	医療療養	介護療養	一般	
大学病院		5	33.6	1.0	3.0	0.0	0.0	752.2	789.8
大学以外の病院		94	17.1	0.5	3.1	22.2	5.1	244.9	292.8

病床規模別病院数

	合計	200床未満			200床以上				
		20~99	100~199	200	200~299	300~399	400~499	500~	
回答医療施設数	99	20	25	45	9	14	10	21	54
構成比(%)	100.0	20.2	25.3	45.5	9.1	14.1	10.1	21.2	54.5

(参考)全国 病床規模別

	合計	200床未満			200床以上				
		20~99	100~199	200	200~299	300~399	400~499	500~	
回答医療施設数	8,739	137	5,910	6,047	1,124	736	370	462	2,692
構成比(%)	100.0	1.6	67.6	69.2	12.9	8.4	4.2	5.3	30.8

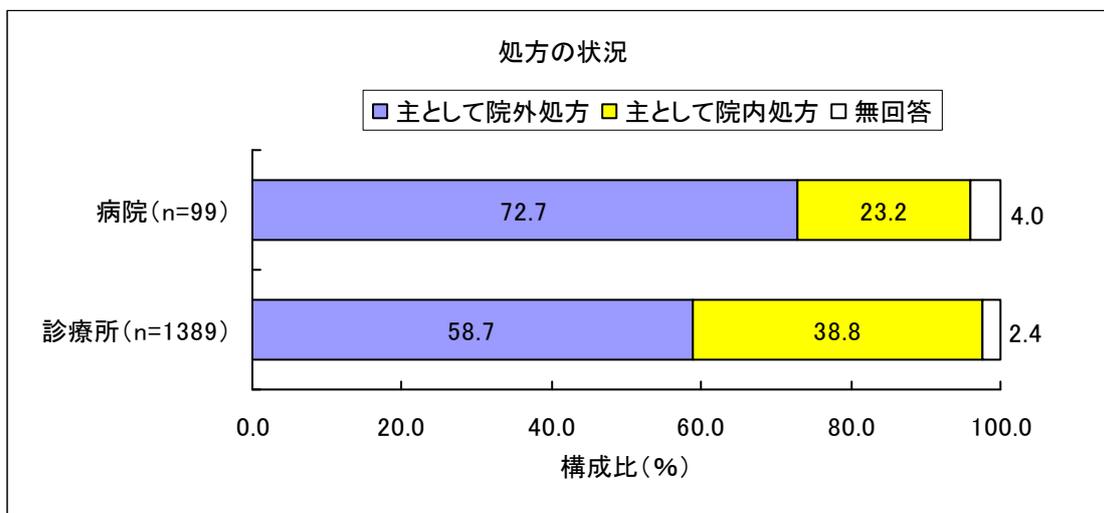
*出所:厚生労働省「平成21年医療施設(動態)調査」

3.4.6. 処方区分

回答医療施設の院外処方率は、病院 72.7%、診療所 58.7%であった(図 3.4.3)。

院外処方率は、厚生労働省「平成 21 年 社会医療診療行為別調査」によると病院 70.0%、診療所 59.0%、総数 62.0%¹⁰、日本薬剤師会「医薬分業進捗状況」によると 2009 年度分は全体で 60.7%¹¹であった。

図 3.4.3 処方の状況



3.4.7. 外来患者数等

1 施設 1 日当たり外来患者数

1 施設 1 日当たり外来患者数は、大学病院 1,755.9 人、大学以外の病院 456.3 人、有床診療所 65.5 人、無床診療所 48.9 人であった (表 3.4.7)。

¹⁰ 厚生労働省「平成 21 年 (2009) 社会医療診療行為別調査結果の概況」
<http://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/sinryo/tyosa09/index.html>

¹¹ 日本薬剤師会「医薬分業進捗状況 (保険調剤の動向)」処方せん受取率 (処方せん枚数÷投薬対象数) の推計 <http://www.nichiyaku.or.jp/contents/bungyo/default.html>

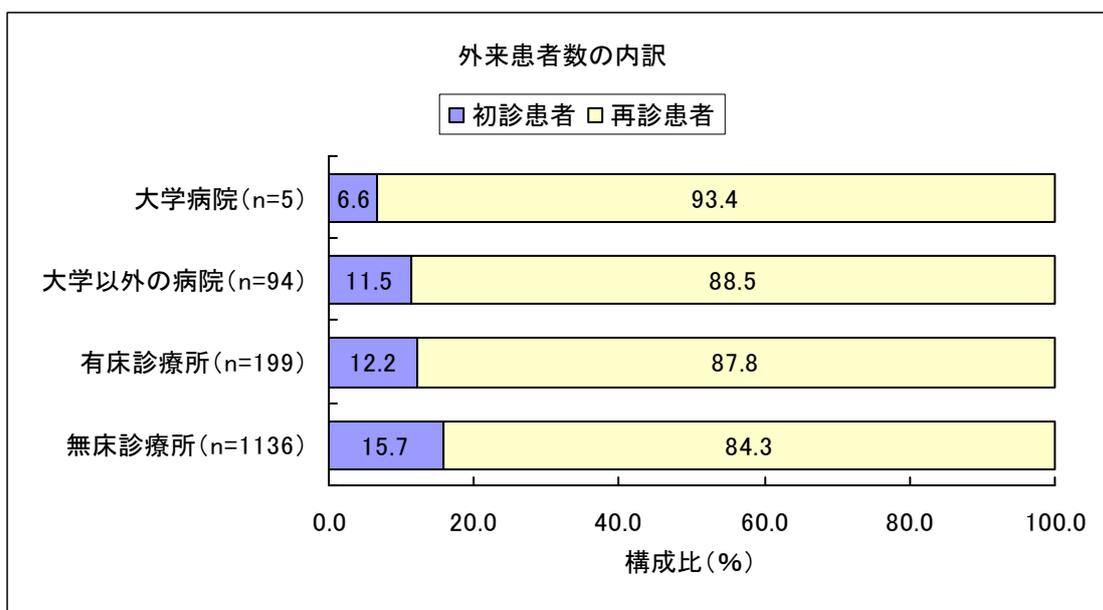
表 3.4.7 1施設1日当たり外来患者数

勤務先	回 答 医 療 施設数	1施設1日当たり				
		外来患者数 ① (人)	うち初診患者数		うち再診患者数	
			② (人)	②÷① (%)	③ (人)	③÷① (%)
大学病院	5	1,755.9	115.1	6.6	1,640.8	93.4
大学以外の病院	94	456.3	52.4	11.5	403.9	88.5
病院	99	521.9	55.5	10.6	466.4	89.4
有床診療所	199	65.5	8.0	12.2	57.5	87.8
無床診療所	1,136	48.9	7.7	15.7	41.2	84.3
診療所	1,335	51.4	7.7	15.1	43.7	84.9

外来患者数に占める初診患者数の割合

外来患者数に占める初診患者数の割合は、無床診療所で15.7%ともっとも多く、有床診療所、大学以外の病院、大学病院の順に少なくなり、大学病院では6.6%であった（図 3.4.4）。

図 3.4.4 外来患者数の内訳

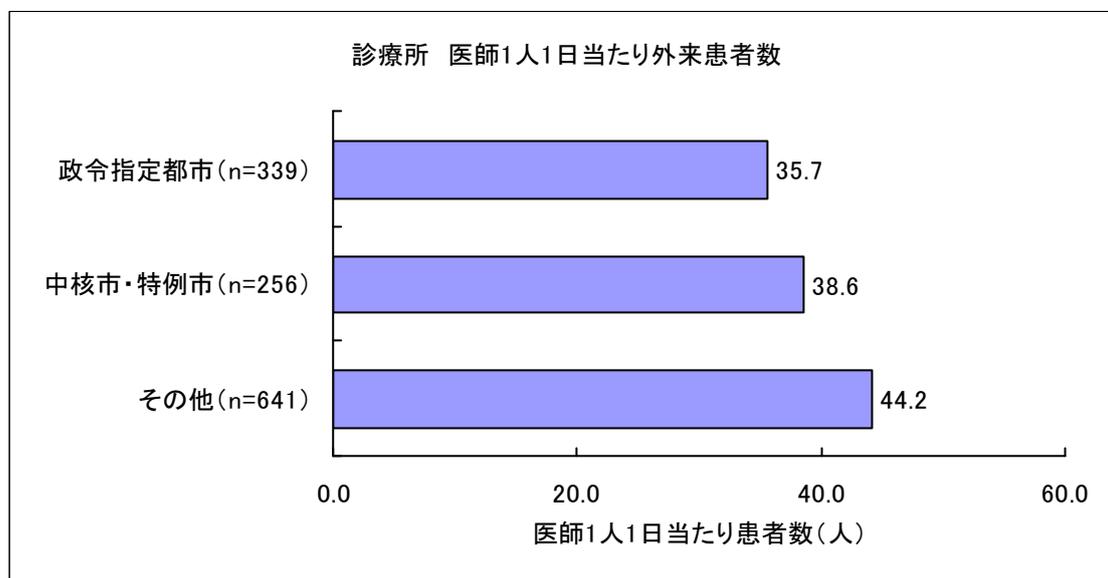


診療所 医師1人1日当たり外来患者数

施設票の1日当たり外来患者数および常勤換算医師数(除臨床研修医)から、医師1人1日当たり外来患者数を集計した(図 3.5.6の医師1人1日当たり外来診療患者数は医師個人票からの集計)。

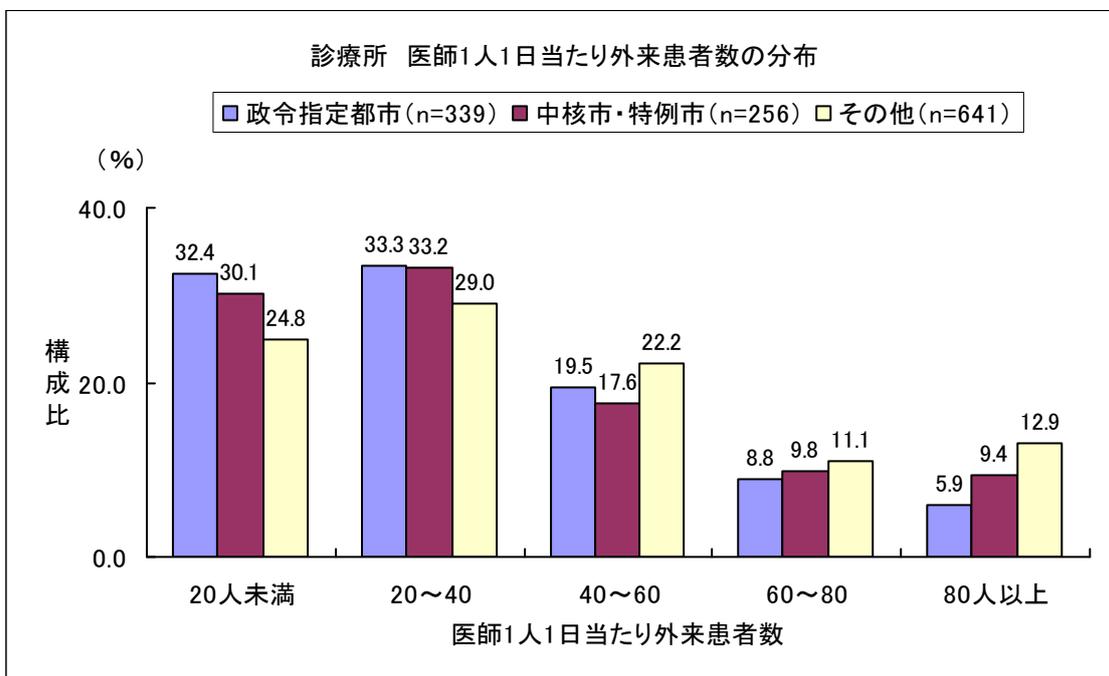
診療所における医師1人1日当たり外来患者数は、都市部に比べて地方で多かった(図 3.4.5)。

図 3.4.5 診療所 医師1人1日当たり外来患者数



医師1人1日当たり外来患者数が20人未満という医師は、政令指定都市では約3分の1(32.4%)、中核市・特例市では約3割(30.1%)あったのに対し、その他の地域では約4分の1(24.8%)であった(図3.4.6)。一方、その他の地域では、半数近く(46.2%)の診療所で、医師1人1日当たり外来患者数が40人以上であった。

図 3.4.6 診療所 医師1人1日当たり外来患者数の分布



3.5. 医師のプロフィール（医師個人票関連）

3.5.1. 業務の種類および性別

本調査はパイロットスタディとしての位置づけであり、そもそも業務種類別のバランスを考慮していないが、医師数および構成比を示しておく（表 3.5.1）。

本調査では、できるだけ大学病院を含んで病院を抽出しているため、大学病院の医師の構成比が高い。

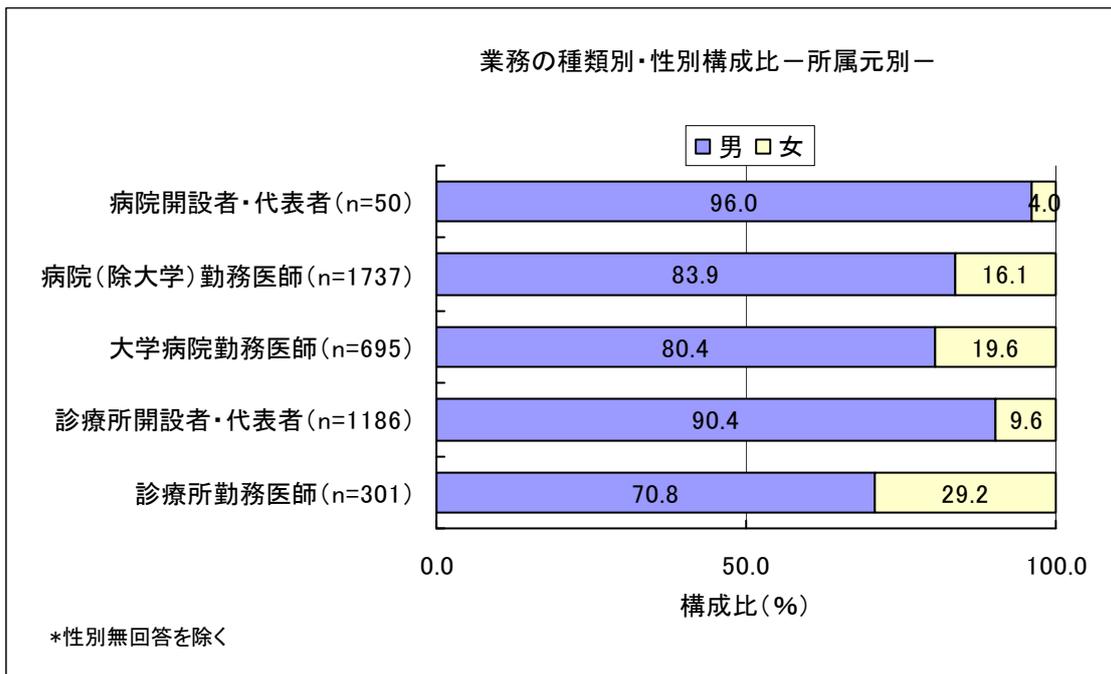
表 3.5.1 業務の種類

	本調査		(参考)全国	
	医師数	構成比 (%)	医師数	構成比 (%)
病院(除大学病院)の開設者・代表者	54	1.3	5,398	2.0
病院(除大学病院)の勤務医師	1,872	44.4	122,305	45.0
大学病院の臨床系の勤務医師または大学院生	724	17.2	24,252	8.9
大学病院の臨床系以外の勤務医師または大学院生	36	0.9	22,311	8.2
診療所の開設者または法人の代表者	1,187	28.2	71,913	26.4
診療所の勤務医師	314	7.4	25,718	9.5
その他・無回答	28	0.7	—	—
計	4,215	100.0	271,897	100.0

*全国のデータは、厚生労働省「平成20年 医師・歯科医師・薬剤師調査」の医療施設従事者数

女性医師の比率は、診療所勤務医師で 29.2%と 3 割近くに達しており、大学病院勤務医師で 19.6%、大学以外の病院の勤務医師で 16.1%であった（図 3.5.1）。診療所の代表者・開設者も 1 割近くが女性であった。

図 3.5.1 業務の種類別・性別構成比—所属元別—



3.5.2. 年齢

病院医師の8割強(84.2%)は30～59歳、診療所医師の8割近く(77.0%)は40～69歳であり、平均年齢は病院医師で43.0歳、診療所医師で58.2歳と約15歳の開きがあった(表3.5.2)。

表 3.5.2 年齢階級別医師数

回答医師数 (人)

	勤務先				
			病院 医師	診療所 医師	計
	大学病院	大学以外			
30歳未満	72	125	197	0	197
30～39歳	252	553	805	46	851
40～49歳	172	542	714	279	993
50～59歳	74	375	449	444	893
60～69歳	14	119	133	269	402
70～79歳	0	37	37	169	206
80歳以上	0	3	3	81	84
無回答	140	342	482	107	589
計	724	2,096	2,820	1,395	4,215

構成比(無回答を除く) (%)

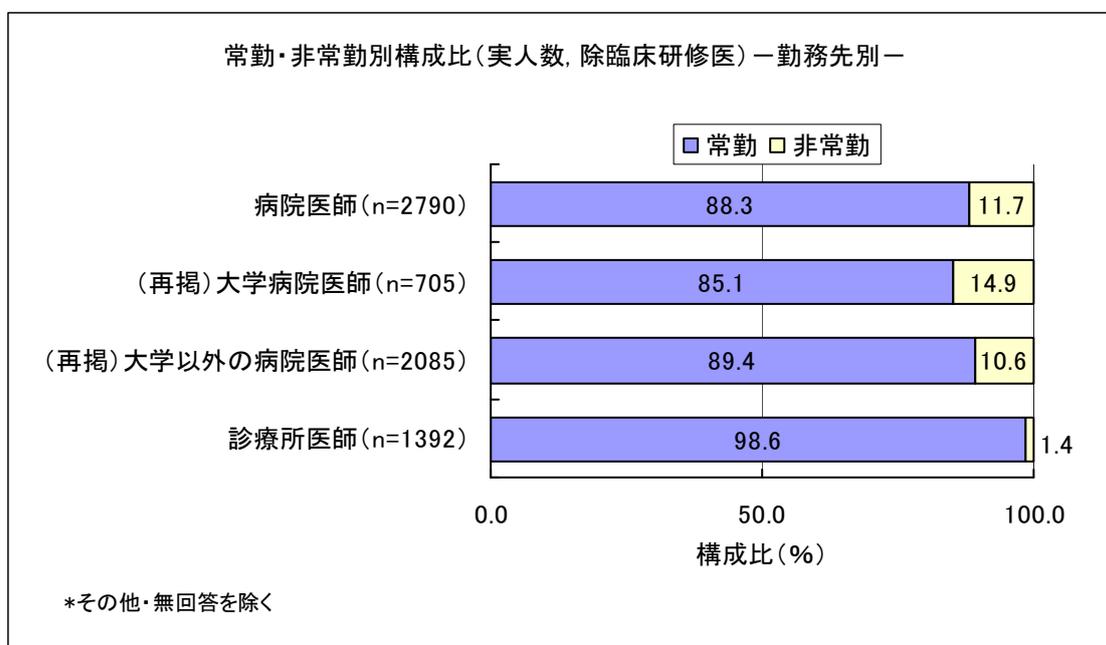
	勤務先				
			病院 医師	診療所 医師	計
	大学病院	大学以外			
30歳未満	12.3	7.1	8.4	0.0	5.4
30～39歳	43.2	31.5	34.4	3.6	23.5
40～49歳	29.5	30.9	30.5	21.7	27.4
50～59歳	12.7	21.4	19.2	34.5	24.6
60～69歳	2.4	6.8	5.7	20.9	11.1
70～79歳	0.0	2.1	1.6	13.1	5.7
80歳以上	0.0	0.2	0.1	6.3	2.3
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
平均年齢(歳)	39.6	44.1	43.0	58.2	48.4

3.5.3. 常勤・非常勤区分

本調査の医師個人票は、臨床研修医以外が対象である。回答医師数に占める常勤医師数の割合は、病院で 88.3%、診療所で 98.6%であった（図 3.5.2）。病院の中では、大学病院で 85.1%、大学以外の病院で 89.4%であった。

なお、図 3.4.2 で示したのは回答医療施設の医師全体の常勤・非常勤の割合（常勤換算）である。

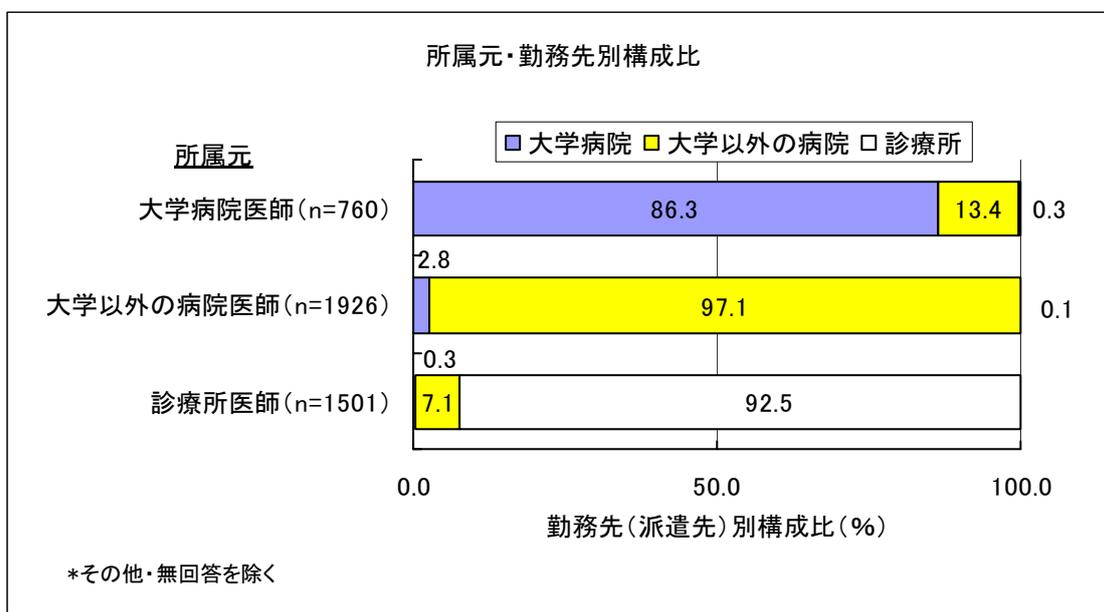
図 3.5.2 常勤・非常勤別構成比（実人数，除臨床研修医）－勤務先別－



3.5.4. 所属元と勤務先の関係

医師の所属元と勤務先との関係を示した（図 3.5.3）。たとえば、大学病院に所属する医師の勤務先を見ると、大学病院が 86.3%、大学病院以外の病院が 13.4%、診療所が 0.3%であり、大学病院所属医師の 13.7%が、大学以外の病院等に派遣されていた。診療所から大学病院やその他の病院に派遣されている医師も 7.5%あった。

図 3.5.3 所属元・勤務先別構成比



3.5.5. 診療科

主に従事している診療科を1つだけ選択してもらった。全体では、内科 19.5%、整形外科 7.8%、小児科 5.8%などの順に多かった（表 3.5.3）。

病院では、診療所に比べて、診療科が分散する傾向にあった。また今回の対象施設に限ってのことではあるが、血液内科、呼吸器外科、心臓血管外科、気管食道外科、小児外科、病理診断科、臨床検査科、救急科は病院に固有の診療科であった。

診療所では、構成比が高い順に、内科 41.6%、整形外科 8.6%、小児科 6.9%、眼科 6.2%、耳鼻いんこう科 6.1%であった。

表 3.5.3 主たる診療科別医師数

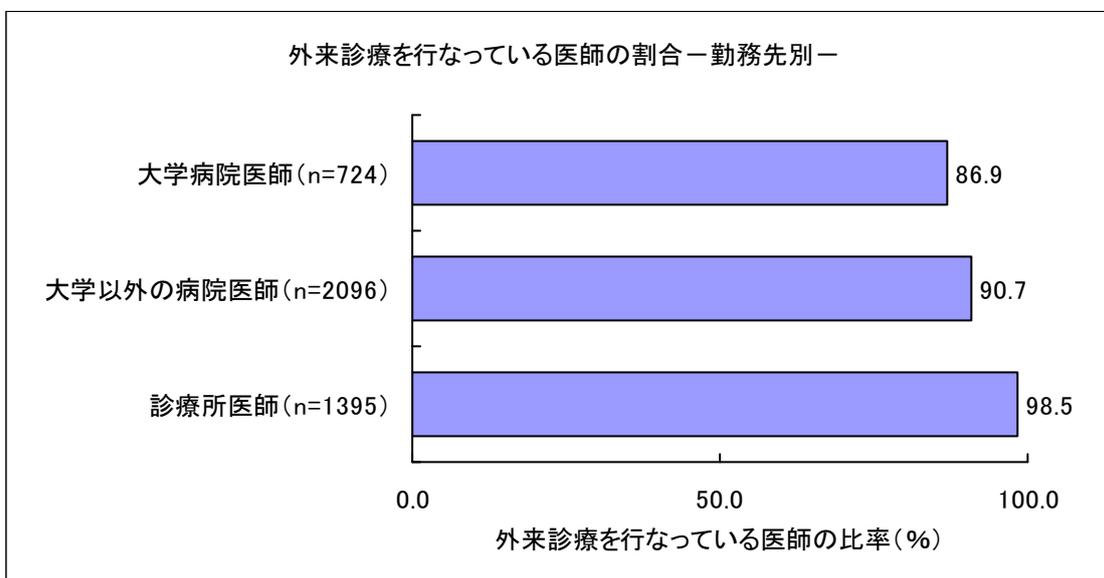
診療科	回答医師数(人)			構成比(%)		
	病院	診療所	計	病院	診療所	計
内科	243	581	824	8.6	41.6	19.5
呼吸器内科	103	8	111	3.7	0.6	2.6
循環器内科	187	35	222	6.6	2.5	5.3
消化器内科(胃腸内科)	145	49	194	5.1	3.5	4.6
腎臓内科	58	6	64	2.1	0.4	1.5
神経内科	79	4	83	2.8	0.3	2.0
糖尿病内科(代謝内科)	61	12	73	2.2	0.9	1.7
血液内科	55	0	55	2.0	0.0	1.3
皮膚科	78	73	151	2.8	5.2	3.6
アレルギー科	1	1	2	0.0	0.1	0.0
リウマチ科	25	1	26	0.9	0.1	0.6
感染症内科	0	0	0	0.0	0.0	0.0
小児科	149	96	245	5.3	6.9	5.8
精神科	76	34	110	2.7	2.4	2.6
心療内科	0	5	5	0.0	0.4	0.1
外科	143	56	199	5.1	4.0	4.7
呼吸器外科	38	0	38	1.3	0.0	0.9
心臓血管外科	44	0	44	1.6	0.0	1.0
乳腺外科	41	4	45	1.5	0.3	1.1
気管食道外科	1	0	1	0.0	0.0	0.0
消化器外科(胃腸外科)	124	10	134	4.4	0.7	3.2
泌尿器科	96	26	122	3.4	1.9	2.9
肛門外科	1	5	6	0.0	0.4	0.1
脳神経外科	128	12	140	4.5	0.9	3.3
整形外科	207	120	327	7.3	8.6	7.8
形成外科	23	2	25	0.8	0.1	0.6
美容外科	0	0	0	0.0	0.0	0.0
眼科	81	87	168	2.9	6.2	4.0
耳鼻いんこう科	79	85	164	2.8	6.1	3.9
小児外科	14	0	14	0.5	0.0	0.3
産科・産婦人科	100	53	153	3.5	3.8	3.6
婦人科	18	12	30	0.6	0.9	0.7
リハビリテーション科	24	1	25	0.9	0.1	0.6
放射線科	77	2	79	2.7	0.1	1.9
麻酔科	118	10	128	4.2	0.7	3.0
病理診断科	18	0	18	0.6	0.0	0.4
臨床検査科	3	0	3	0.1	0.0	0.1
救急科	57	0	57	2.0	0.0	1.4
その他	87	2	89	3.1	0.1	2.1
無回答	38	3	41	1.3	0.2	1.0
計	2,820	1,395	4,215	100.0	100.0	100.0

3.5.6. 外来診療の状況

外来診療の有無

回答医師数に占める外来診療を行なっている医師（外来診療日数および外来診療患者数ありの医師）の割合は、大学病院 86.9%、大学以外病院 90.7%、診療所 98.5%であった（図 3.5.4）。逆にいえば、大学病院医師の 1 割強、大学以外の病院医師の約 1 割は外来診療を行なっていない。

図 3.5.4 外来診療を行なっている医師の割合－勤務先別－

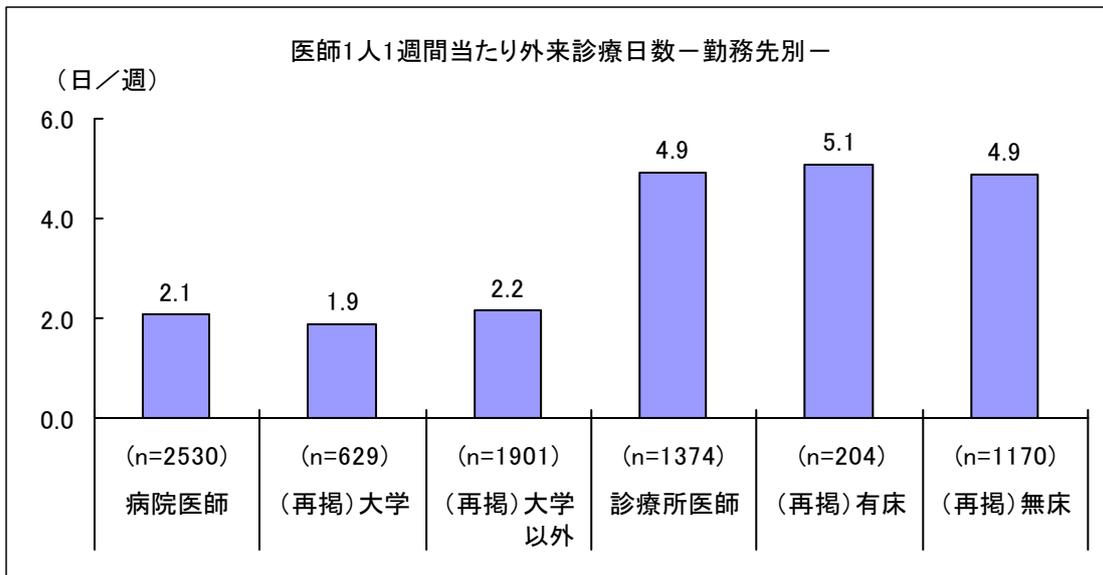


医師 1 人 1 週間当たり外来診療日数

外来診療日数は、午前のみといった場合には 0.5 日というように回答してもらっている。

医師 1 人 1 週間当たりの外来診療日数は、大学病院 1.9 日、大学以外の病院 2.2 日、有床診療所 5.1 日、無床診療所 4.9 日であり、病院医師は約 2 日、診療所医師は約 5 日であった（図 3.5.5）。

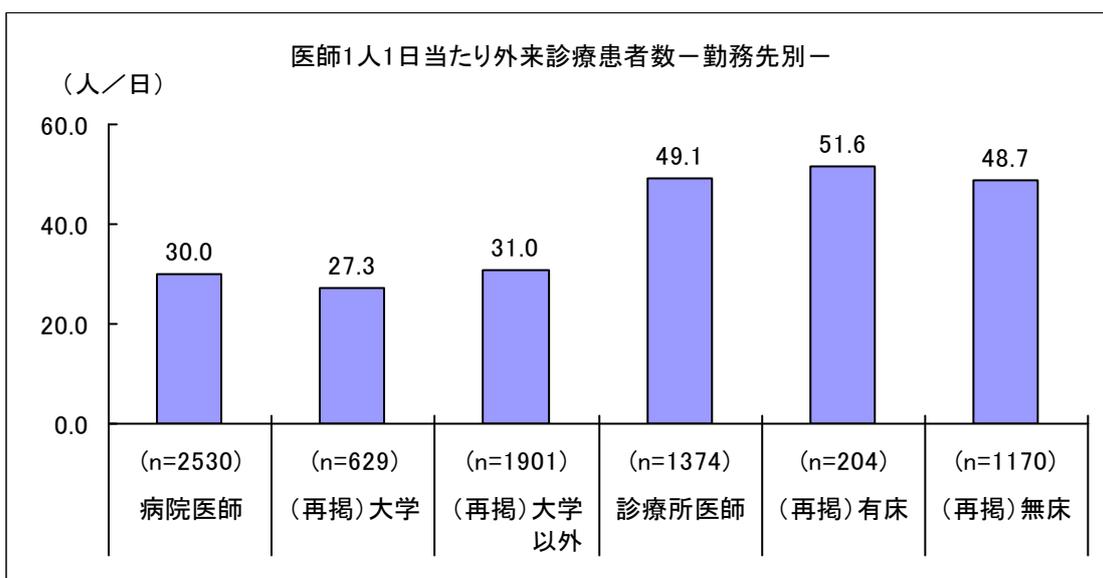
図 3.5.5 医師 1 人 1 週間当たり外来診療日数—勤務先別—



医師 1 人 1 日当たり外来診療患者数

医師 1 人 1 日当たりの外来診療患者数は、大学病院 27.3 人、大学以外の病院 31.0 人、有床診療所 51.6 人、無床診療所 48.7 人であり、病院では約 30 人、診療所では約 50 人であった (図 3.5.6)。

図 3.5.6 医師 1 人 1 日当たり外来診療患者数—勤務先別—

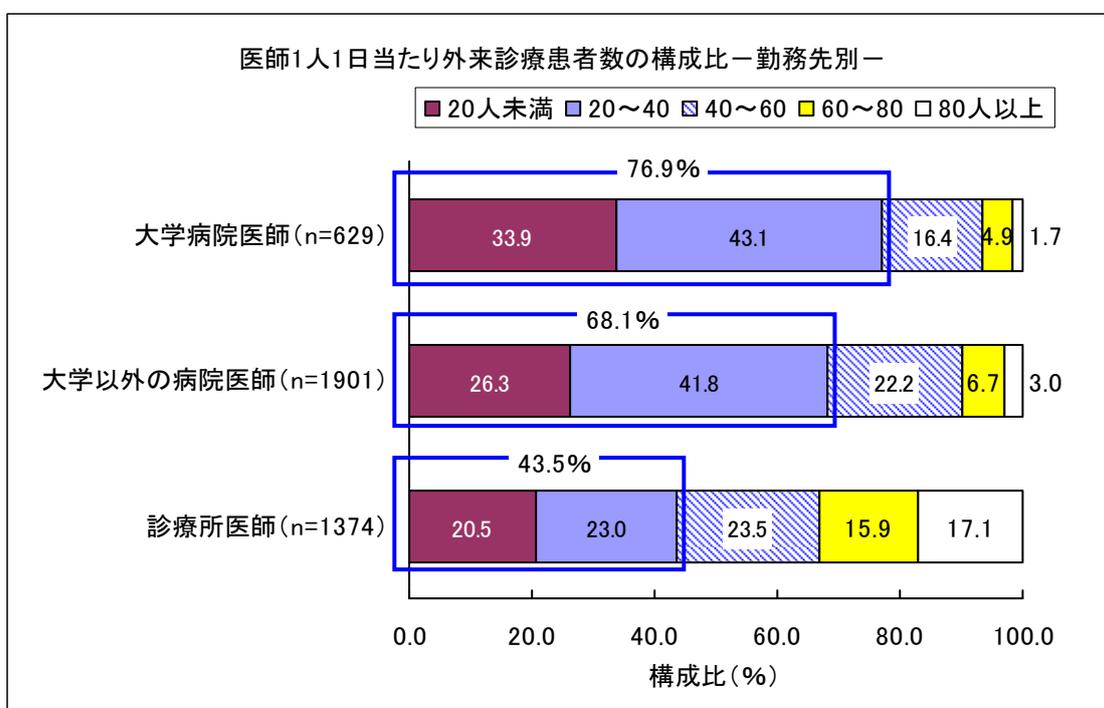


医師1人1日当たり外来診療患者数の分布

1日の実働時間も考慮する必要があるが、医師1人1日当たり外来患者数が40人未満の医師が、大学病院で8割近く（76.9%）、大学以外の病院で7割近く（68.1%）あった（図3.5.7）。

診療所では20人未満という医師が20.5%ある一方、80人以上の医師も17.1%あった。

図 3.5.7 医師1人1日当たり外来診療患者数の構成比—勤務先別—



4. 集計表

以下、本文中に集計表を示していない集計結果である。

4.1. 性別および業務の種類

回答医師数 (人)

所属元	男	女	無回答	計	構成比
					(%)
病院(除大学病院)の開設者または法人の代表者	48	2	4	54	1.3
病院(除大学病院)の勤務医師	1,457	280	135	1,872	44.4
大学病院の臨床系の勤務医師または大学院生	532	130	62	724	17.2
大学病院の臨床系以外の勤務医師または大学院生	27	6	3	36	0.9
有床診療所の開設者または法人の代表者	142	4	0	146	3.5
有床診療所の勤務医師	107	38	13	158	3.7
無床診療所の開設者または法人の代表者	930	110	1	1,041	24.7
無床診療所の勤務医師	106	50	0	156	3.7
その他	9	0	1	10	0.2
無回答	8	1	9	18	0.4
計	3,366	621	228	4,215	100.0

男女別 構成比 (%)

所属元	男	女	無回答	計
病院(除大学病院)の開設者または法人の代表者	88.9	3.7	7.4	100.0
病院(除大学病院)の勤務医師	77.8	15.0	7.2	100.0
大学病院の臨床系の勤務医師または大学院生	73.5	18.0	8.6	100.0
大学病院の臨床系以外の勤務医師または大学院生	75.0	16.7	8.3	100.0
有床診療所の開設者または法人の代表者	97.3	2.7	0.0	100.0
有床診療所の勤務医師	67.7	24.1	8.2	100.0
無床診療所の開設者または法人の代表者	89.3	10.6	0.1	100.0
無床診療所の勤務医師	67.9	32.1	0.0	100.0
その他	90.0	0.0	10.0	100.0
無回答	44.4	5.6	50.0	100.0
計	79.9	14.7	5.4	100.0

4.2. 業務の種類別勤務形態

回答医師数 所属元・勤務先の両方の回答のあった医師 (人)

所属元での業務の種類	回 答 医師数	勤務先					
		大学病院		大学以外の病院		診療所	
		常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤
病院(除大学病院)の開設者または法人の代表者	54	3	0	50	1	0	0
病院(除大学病院)の勤務医師	1,863	49	2	1,688	123	1	0
大学病院の臨床系の勤務医師または大学院生	709	529	98	16	65	0	1
大学病院の臨床系以外の勤務医師または大学院生	35	10	3	15	6	0	1
有床診療所の開設者または法人の代表者	146	0	0	0	0	146	0
有床診療所の勤務医師	158	2	1	85	15	53	2
無床診療所の開設者または法人の代表者	1,039	1	0	2	1	1,031	4
無床診療所の勤務医師	156	0	1	2	2	139	12
その他	8	0	0	1	7	0	0
無回答	14	6	0	5	1	2	0
計	4,182	600	105	1,864	221	1,372	20

構成比 (%)

所属元での業務の種類	回 答 医師数	勤務先					
		大学病院		大学以外の病院		診療所	
		常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤
病院(除大学病院)の開設者または法人の代表者	100.0	5.6	0.0	92.6	1.9	0.0	0.0
病院(除大学病院)の勤務医師	100.0	2.6	0.1	90.6	6.6	0.1	0.0
大学病院の臨床系の勤務医師または大学院生	100.0	74.6	13.8	2.3	9.2	0.0	0.1
大学病院の臨床系以外の勤務医師または大学院生	100.0	28.6	8.6	42.9	17.1	0.0	2.9
有床診療所の開設者または法人の代表者	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
有床診療所の勤務医師	100.0	1.3	0.6	53.8	9.5	33.5	1.3
無床診療所の開設者または法人の代表者	100.0	0.1	0.0	0.2	0.1	99.2	0.4
無床診療所の勤務医師	100.0	0.0	0.6	1.3	1.3	89.1	7.7
その他	100.0	0.0	0.0	12.5	87.5	0.0	0.0
無回答	100.0	42.9	0.0	35.7	7.1	14.3	0.0
計	100.0	14.3	2.5	44.6	5.3	32.8	0.5

4.3. 勤務形態（常勤・非常勤）

「この調査票を受け取られた医療機関における先生の勤務形態をお教え下さい。」

「もっとも近いものに1つだけ○を付けて下さい。」

回答医師数 (人)

			病院 医師	診療所 医 師	計
	大学病院	大学以外			
常勤	600	1,864	2,464	1,372	3,836
非常勤(大学病院からの派遣)	59	121	180	1	181
非常勤(大学病院以外からの派遣)	1	31	32	0	32
非常勤(その他)	45	69	114	19	133
その他	7	2	9	2	11
無回答	12	9	21	1	22
計	724	2,096	2,820	1,395	4,215

構成比 (%)

			病院 医師	診療所 医 師	計
	大学病院	大学以外			
常勤	82.9	88.9	87.4	98.4	91.0
非常勤(大学病院からの派遣)	8.1	5.8	6.4	0.1	4.3
非常勤(大学病院以外からの派遣)	0.1	1.5	1.1	0.0	0.8
非常勤(その他)	6.2	3.3	4.0	1.4	3.2
その他	1.0	0.1	0.3	0.1	0.3
無回答	1.7	0.4	0.7	0.1	0.5
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

4.4. 外来診療を行なっている医師の比率

外来診療日数>0 かつ 外来診療患者数>0 の医師

勤務先別

勤務先	回 答		
	医師数 ①	外来診療有 ②	②÷① (%)
大学病院	724	629	86.9
大学以外の病院	2,096	1,901	90.7
診療所	1,395	1,374	98.5
計	4,215	3,904	92.6

所属元別

所属元での業務の種類	回 答		
	医師数 ①	外来診療有 ②	②÷① (%)
病院(除大学病院)の開設者または法人の代表者	54	50	92.6
病院(除大学病院)の勤務医師	1,872	1,696	90.6
大学病院の臨床系の勤務医師または大学院生	724	634	87.6
大学病院の臨床系以外の勤務医師または大学院生	36	29	80.6
有床診療所の開設者または法人の代表者	146	145	99.3
有床診療所の勤務医師	158	151	95.6
無床診療所の開設者または法人の代表者	1,041	1,035	99.4
無床診療所の勤務医師	156	145	92.9
その他	10	6	60.0
無回答	18	13	72.2
計	4,215	3,904	92.6

4.5. 外来診療日数および外来診療患者数

1週間の平均的な外来診療日数

「1週間の平均的な外来診療日数をご記入下さい。(午前のみ、午後のみは0.5日とカウントして下さい。)」

1週間の平均的な外来診療患者数

「1週間の平均的な外来診療患者数をご記入下さい。」

「外来診療なしの先生は、「0人」とご記入下さい。」

	回 答 医 師 数	1週間の外来診療 日数(日)	1週間の外来診療 患者数(人)	医師1人1日当たり 外来診療患者数 (人) ※
大学病院	629	1.9	49.9	27.3
	1,901	2.2	64.2	31.0
大学以外				
病院	2,530	2.1	60.6	30.0
有床診療所	204	5.1	257.7	51.6
	1,170	4.9	240.6	48.7
無床診療所				
診療所	1,374	4.9	243.2	49.1

※「1週間の外来診療患者数÷1週間の外来診療日数」で計算

4.6. 医師1人1日当たり外来診療患者数の分布

回答医師数 ① (人)

	医師1人1日当たり外来診療患者数					計
	20人未満	20～40	40～60	60～80	80人以上	
大学病院	213	271	103	31	11	629
大学以外の病院	500	795	422	127	57	1,901
診療所	282	316	323	218	235	1,374
計	995	1,382	848	376	303	3,904

比率 (％)

	医師1人1日当たり外来診療患者数					計
	20人未満	20～40	40～60	60～80	80人以上	
大学病院	33.9	43.1	16.4	4.9	1.7	100.0
大学以外の病院	26.3	41.8	22.2	6.7	3.0	100.0
診療所	20.5	23.0	23.5	15.9	17.1	100.0
計	25.5	35.4	21.7	9.6	7.8	100.0

(再掲)問11 比較的長期の処方を行なっている理由として、「外来患者数を少なくして、じっくり診察できるようにするため」を選択した医師

回答医師数 ② (人)

	医師1人1日当たり外来診療患者数					計
	20人未満	20～40	40～60	60～80	80人以上	
大学病院	60	113	41	16	3	233
大学以外の病院	134	330	189	47	29	729
診療所	15	20	23	25	15	98
計	209	463	253	88	47	1,060

回答比率 ②÷① (％)

	医師1人1日当たり外来診療患者数					計
	20人未満	20～40	40～60	60～80	80人以上	
大学病院	28.2	41.7	39.8	51.6	27.3	37.0
大学以外の病院	26.8	41.5	44.8	37.0	50.9	38.3
診療所	5.3	6.3	7.1	11.5	6.4	7.1
計	21.0	33.5	29.8	23.4	15.5	27.2

4.7. もっとも多い処方日数

① 診療しているすべての患者に対してもっとも多い処方日数

「診察されているすべての患者さんについて、もっとも多い処方日数は何週(何日)ですか？
1つだけ○を付けて下さい。」

「処方日数はもっとも近いもの(30日の場合は4週、60日の場合は9週)を選択して下さい。」

回答医師数

(人)

	勤務先				計
	大学病院		病院 医師	診療所 医師	
	大学病院	大学以外			
1週(7日)	34	92	126	153	279
2週(14日)	67	165	232	336	568
3週(21日)	4	9	13	32	45
4週(28日)	239	676	915	581	1,496
5週(35日)	15	66	81	16	97
6週(42日)	8	30	38	1	39
7週(49日)	1	0	1	1	2
8週(56日)	60	212	272	20	292
9週(63日)	34	83	117	24	141
10週(70日)	1	16	17	0	17
11週(77日)	0	2	2	0	2
12週(84日)	38	119	157	16	173
13週(91日)	48	146	194	26	220
14週(98日)以上	11	49	60	5	65
ケースバイケース	64	199	263	136	399
その他	2	21	23	27	50
無回答	3	16	19	0	19
計	629	1,901	2,530	1,374	3,904

構成比

(%)

	大学病院		病院 医師	診療所 医師	計
	大学病院	大学以外			
1週(7日)	5.4	4.8	5.0	11.1	7.1
2週(14日)	10.7	8.7	9.2	24.5	14.5
3週(21日)	0.6	0.5	0.5	2.3	1.2
4週(28日)	38.0	35.6	36.2	42.3	38.3
5週(35日)	2.4	3.5	3.2	1.2	2.5
6週(42日)	1.3	1.6	1.5	0.1	1.0
7週(49日)	0.2	0.0	0.0	0.1	0.1
8週(56日)	9.5	11.2	10.8	1.5	7.5
9週(63日)	5.4	4.4	4.6	1.7	3.6
10週(70日)	0.2	0.8	0.7	0.0	0.4
11週(77日)	0.0	0.1	0.1	0.0	0.1
12週(84日)	6.0	6.3	6.2	1.2	4.4
13週(91日)	7.6	7.7	7.7	1.9	5.6
14週(98日)以上	1.7	2.6	2.4	0.4	1.7
ケースバイケース	10.2	10.5	10.4	9.9	10.2
その他	0.3	1.1	0.9	2.0	1.3
無回答	0.5	0.8	0.8	0.0	0.5
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

② 慢性疾患等の患者に対してもっとも多い処方日数

「『病状が安定して定期的に通院している患者さん(慢性疾患、甲状腺機能低下症、更年期障害など)』について、もっとも多い処方日数は何週(何日)ですか?1つだけ○を付けて下さい。」

「処方日数はもっとも近いもの(30日の場合は4週、60日の場合は9週)を選択して下さい。」

回答医師数 勤務先別 (人)

	勤務先				計
	大学病院		病院 医師	診療所 医師	
	大学病院	大学以外			
1週(7日)	6	3	9	10	19
2週(14日)	5	19	24	178	202
3週(21日)	1	6	7	34	41
4週(28日)	139	410	549	830	1,379
5週(35日)	7	53	60	24	84
6週(42日)	8	35	43	11	54
7週(49日)	3	1	4	1	5
8週(56日)	120	400	520	88	608
9週(63日)	46	130	176	48	224
10週(70日)	1	29	30	0	30
11週(77日)	0	6	6	0	6
12週(84日)	103	278	381	30	411
13週(91日)	98	307	405	55	460
14週(98日)以上	25	85	110	4	114
ケースバイケース	28	62	90	46	136
その他	2	7	9	5	14
該当なし	31	58	89	9	98
無回答	6	12	18	1	19
計	629	1,901	2,530	1,374	3,904

構成比 (%)

	大学病院		病院 医師	診療所 医師	計
	大学病院	大学以外			
1週(7日)	1.0	0.2	0.4	0.7	0.5
2週(14日)	0.8	1.0	0.9	13.0	5.2
3週(21日)	0.2	0.3	0.3	2.5	1.1
4週(28日)	22.1	21.6	21.7	60.4	35.3
5週(35日)	1.1	2.8	2.4	1.7	2.2
6週(42日)	1.3	1.8	1.7	0.8	1.4
7週(49日)	0.5	0.1	0.2	0.1	0.1
8週(56日)	19.1	21.0	20.6	6.4	15.6
9週(63日)	7.3	6.8	7.0	3.5	5.7
10週(70日)	0.2	1.5	1.2	0.0	0.8
11週(77日)	0.0	0.3	0.2	0.0	0.2
12週(84日)	16.4	14.6	15.1	2.2	10.5
13週(91日)	15.6	16.1	16.0	4.0	11.8
14週(98日)以上	4.0	4.5	4.3	0.3	2.9
ケースバイケース	4.5	3.3	3.6	3.3	3.5
その他	0.3	0.4	0.4	0.4	0.4
該当なし	4.9	3.1	3.5	0.7	2.5
無回答	1.0	0.6	0.7	0.1	0.5
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

② 慢性疾患等の患者に対してもっとも多い処方日数－病院病床規模別－

「『病状が安定して定期的に通院している患者さん(慢性疾患、甲状腺機能低下症、更年期障害など)』について、もっとも多い処方日数は何週(何日)ですか?1つだけ○を付けて下さい。」
 「処方日数のもっとも近いもの(30日の場合は4週、60日の場合は9週)を選択して下さい。」

回答医師数 病院病床規模別 (人)

	病院病床規模別		200床未満	200床以上	病院医師
	20~99	100~199			
1週(7日)	0	0	0	9	9
2週(14日)	2	1	3	21	24
3週(21日)	4	0	4	3	7
4週(28日)	57	90	147	402	549
5週(35日)	14	17	31	29	60
6週(42日)	2	8	10	33	43
7週(49日)	0	0	0	4	4
8週(56日)	26	46	72	448	520
9週(63日)	9	15	24	152	176
10週(70日)	1	8	9	21	30
11週(77日)	0	0	0	6	6
12週(84日)	1	8	9	372	381
13週(91日)	7	14	21	384	405
14週(98日)以上	1	2	3	107	110
ケースバイケース	6	10	16	74	90
その他	0	1	1	8	9
該当なし	2	3	5	84	89
無回答	0	1	1	17	18
計	132	224	356	2,174	2,530

構成比 (%)

	病院病床規模別		200床未満	200床以上	病院医師
	20~99	100~199			
1週(7日)	0.0	0.0	0.0	0.4	0.4
2週(14日)	1.5	0.4	0.8	1.0	0.9
3週(21日)	3.0	0.0	1.1	0.1	0.3
4週(28日)	43.2	40.2	41.3	18.5	21.7
5週(35日)	10.6	7.6	8.7	1.3	2.4
6週(42日)	1.5	3.6	2.8	1.5	1.7
7週(49日)	0.0	0.0	0.0	0.2	0.2
8週(56日)	19.7	20.5	20.2	20.6	20.6
9週(63日)	6.8	6.7	6.7	7.0	7.0
10週(70日)	0.8	3.6	2.5	1.0	1.2
11週(77日)	0.0	0.0	0.0	0.3	0.2
12週(84日)	0.8	3.6	2.5	17.1	15.1
13週(91日)	5.3	6.3	5.9	17.7	16.0
14週(98日)以上	0.8	0.9	0.8	4.9	4.3
ケースバイケース	4.5	4.5	4.5	3.4	3.6
その他	0.0	0.4	0.3	0.4	0.4
該当なし	1.5	1.3	1.4	3.9	3.5
無回答	0.0	0.4	0.3	0.8	0.7
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

② 慢性疾患等の患者に対してもっとも多い処方日数－医師の年齢階級別－

「『病状が安定して定期的に通院している患者さん(慢性疾患、甲状腺機能低下症、更年期障害など)』について、もっとも多い処方日数は何週(何日)ですか？1つだけ○を付けて下さい。」

「処方日数のもっとも近いもの(30日の場合は4週、60日の場合は9週)を選択して下さい。」

回答医師数 (人)

	～29歳	30～49歳	50～69歳	70歳～	無回答	計
1週(7日)	3	3	5	7	1	19
2週(14日)	3	41	88	51	19	202
3週(21日)	1	1	25	9	5	41
4週(28日)	30	461	580	159	149	1,379
5週(35日)	3	42	30	2	7	84
6週(42日)	6	18	21	1	8	54
7週(49日)	1	4	0	0	0	5
8週(56日)	19	308	166	16	99	608
9週(63日)	15	104	62	8	35	224
10週(70日)	2	16	5	0	7	30
11週(77日)	0	3	0	0	3	6
12週(84日)	18	252	74	1	66	411
13週(91日)	15	258	105	4	78	460
14週(98日)以上	3	67	17	0	27	114
ケースバイケース	9	65	37	8	17	136
その他	0	7	5	1	1	14
該当なし	10	51	19	5	13	98
無回答	0	7	4	2	6	19
計	138	1,708	1,243	274	541	3,904

構成比 (%)

	～29歳	30～49歳	50～69歳	70歳～	無回答	計
1週(7日)	2.2	0.2	0.4	2.6	0.2	0.5
2週(14日)	2.2	2.4	7.1	18.6	3.5	5.2
3週(21日)	0.7	0.1	2.0	3.3	0.9	1.1
4週(28日)	21.7	27.0	46.7	58.0	27.5	35.3
5週(35日)	2.2	2.5	2.4	0.7	1.3	2.2
6週(42日)	4.3	1.1	1.7	0.4	1.5	1.4
7週(49日)	0.7	0.2	0.0	0.0	0.0	0.1
8週(56日)	13.8	18.0	13.4	5.8	18.3	15.6
9週(63日)	10.9	6.1	5.0	2.9	6.5	5.7
10週(70日)	1.4	0.9	0.4	0.0	1.3	0.8
11週(77日)	0.0	0.2	0.0	0.0	0.6	0.2
12週(84日)	13.0	14.8	6.0	0.4	12.2	10.5
13週(91日)	10.9	15.1	8.4	1.5	14.4	11.8
14週(98日)以上	2.2	3.9	1.4	0.0	5.0	2.9
ケースバイケース	6.5	3.8	3.0	2.9	3.1	3.5
その他	0.0	0.4	0.4	0.4	0.2	0.4
該当なし	7.2	3.0	1.5	1.8	2.4	2.5
無回答	0.0	0.4	0.3	0.7	1.1	0.5
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

② 慢性疾患等の患者に対してもっとも多い処方日数－医師の年齢階級別(大学病院)－

『「病状が安定して定期的に通院している患者さん(慢性疾患、甲状腺機能低下症、更年期障害など)」について、もっとも多い処方日数は何週(何日)ですか?1つだけ○を付けて下さい。』
 「処方日数はもっとも近いもの(30日の場合は4週、60日の場合は9週)を選択して下さい。」

大学病院 回答医師数 (人)

	～29歳	30～49歳	50～69歳	70歳～	無回答	計
1週(7日)	3	2	0	0	1	6
2週(14日)	1	1	1	0	2	5
3週(21日)	0	0	0	0	1	1
4週(28日)	16	80	19	0	24	139
5週(35日)	0	4	0	0	3	7
6週(42日)	1	1	2	0	4	8
7週(49日)	1	2	0	0	0	3
8週(56日)	1	70	17	0	32	120
9週(63日)	3	29	5	0	9	46
10週(70日)	0	1	0	0	0	1
11週(77日)	0	0	0	0	0	0
12週(84日)	1	68	12	0	22	103
13週(91日)	2	62	17	0	17	98
14週(98日)以上	0	18	3	0	4	25
ケースバイケース	2	18	3	0	5	28
その他	0	2	0	0	0	2
該当なし	4	23	3	0	1	31
無回答	0	1	1	0	4	6
計	35	382	83	0	129	629

大学病院 構成比 (%)

	～29歳	30～49歳	50～69歳	70歳～	無回答	計
1週(7日)	8.6	0.5	0.0	—	0.8	1.0
2週(14日)	2.9	0.3	1.2	—	1.6	0.8
3週(21日)	0.0	0.0	0.0	—	0.8	0.2
4週(28日)	45.7	20.9	22.9	—	18.6	22.1
5週(35日)	0.0	1.0	0.0	—	2.3	1.1
6週(42日)	2.9	0.3	2.4	—	3.1	1.3
7週(49日)	2.9	0.5	0.0	—	0.0	0.5
8週(56日)	2.9	18.3	20.5	—	24.8	19.1
9週(63日)	8.6	7.6	6.0	—	7.0	7.3
10週(70日)	0.0	0.3	0.0	—	0.0	0.2
11週(77日)	0.0	0.0	0.0	—	0.0	0.0
12週(84日)	2.9	17.8	14.5	—	17.1	16.4
13週(91日)	5.7	16.2	20.5	—	13.2	15.6
14週(98日)以上	0.0	4.7	3.6	—	3.1	4.0
ケースバイケース	5.7	4.7	3.6	—	3.9	4.5
その他	0.0	0.5	0.0	—	0.0	0.3
該当なし	11.4	6.0	3.6	—	0.8	4.9
無回答	0.0	0.3	1.2	—	3.1	1.0
計	100.0	100.0	100.0	—	100.0	100.0

② 慢性疾患等の患者に対してもっとも多い処方日数－医師の年齢階級別(大学以外の病院)－

『病状が安定して定期的に通院している患者さん(慢性疾患、甲状腺機能低下症、更年期障害など)』
 について、もっとも多い処方日数は何週(何日)ですか?1つだけ○を付けて下さい。」

「処方日数はもっとも近いもの(30日の場合は4週、60日の場合は9週)を選択して下さい。」

大学以外の病院 回答医師数 (人)

	～29歳	30～49歳	50～69歳	70歳～	無回答	計
1週(7日)	0	1	1	1	0	3
2週(14日)	2	8	3	0	6	19
3週(21日)	1	0	4	0	1	6
4週(28日)	14	187	133	18	58	410
5週(35日)	3	33	13	1	3	53
6週(42日)	5	13	13	0	4	35
7週(49日)	0	1	0	0	0	1
8週(56日)	18	214	103	5	60	400
9週(63日)	12	63	32	2	21	130
10週(70日)	2	15	5	0	7	29
11週(77日)	0	3	0	0	3	6
12週(84日)	17	171	50	0	40	278
13週(91日)	13	176	60	1	57	307
14週(98日)以上	3	46	13	0	23	85
ケースバイケース	7	37	8	0	10	62
その他	0	3	2	1	1	7
該当なし	6	28	11	1	12	58
無回答	0	6	2	2	2	12
計	103	1,005	453	32	308	1,901

大学以外の病院 構成比 (%)

	～29歳	30～49歳	50～69歳	70歳～	無回答	計
1週(7日)	0.0	0.1	0.2	3.1	0.0	0.2
2週(14日)	1.9	0.8	0.7	0.0	1.9	1.0
3週(21日)	1.0	0.0	0.9	0.0	0.3	0.3
4週(28日)	13.6	18.6	29.4	56.3	18.8	21.6
5週(35日)	2.9	3.3	2.9	3.1	1.0	2.8
6週(42日)	4.9	1.3	2.9	0.0	1.3	1.8
7週(49日)	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.1
8週(56日)	17.5	21.3	22.7	15.6	19.5	21.0
9週(63日)	11.7	6.3	7.1	6.3	6.8	6.8
10週(70日)	1.9	1.5	1.1	0.0	2.3	1.5
11週(77日)	0.0	0.3	0.0	0.0	1.0	0.3
12週(84日)	16.5	17.0	11.0	0.0	13.0	14.6
13週(91日)	12.6	17.5	13.2	3.1	18.5	16.1
14週(98日)以上	2.9	4.6	2.9	0.0	7.5	4.5
ケースバイケース	6.8	3.7	1.8	0.0	3.2	3.3
その他	0.0	0.3	0.4	3.1	0.3	0.4
該当なし	5.8	2.8	2.4	3.1	3.9	3.1
無回答	0.0	0.6	0.4	6.3	0.6	0.6
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

② 慢性疾患等の患者に対してもっとも多い処方日数－医師の年齢階級別（診療所）－

『病状が安定して定期的に通院している患者さん（慢性疾患、甲状腺機能低下症、更年期障害など）』
 について、もっとも多い処方日数は何週（何日）ですか？1つだけ○を付けて下さい。」

「処方日数はもっとも近いもの（30日の場合は4週、60日の場合は9週）を選択して下さい。」

診療所 回答医師数 (人)

	～29歳	30～49歳	50～69歳	70歳～	無回答	計
1週(7日)	0	0	4	6	0	10
2週(14日)	0	32	84	51	11	178
3週(21日)	0	1	21	9	3	34
4週(28日)	0	194	428	141	67	830
5週(35日)	0	5	17	1	1	24
6週(42日)	0	4	6	1	0	11
7週(49日)	0	1	0	0	0	1
8週(56日)	0	24	46	11	7	88
9週(63日)	0	12	25	6	5	48
10週(70日)	0	0	0	0	0	0
11週(77日)	0	0	0	0	0	0
12週(84日)	0	13	12	1	4	30
13週(91日)	0	20	28	3	4	55
14週(98日)以上	0	3	1	0	0	4
ケースバイケース	0	10	26	8	2	46
その他	0	2	3	0	0	5
該当なし	0	0	5	4	0	9
無回答	0	0	1	0	0	1
計	0	321	707	242	104	1,374

診療所 構成比 (%)

	～29歳	30～49歳	50～69歳	70歳～	無回答	計
1週(7日)	—	0.0	0.6	2.5	0.0	0.7
2週(14日)	—	10.0	11.9	21.1	10.6	13.0
3週(21日)	—	0.3	3.0	3.7	2.9	2.5
4週(28日)	—	60.4	60.5	58.3	64.4	60.4
5週(35日)	—	1.6	2.4	0.4	1.0	1.7
6週(42日)	—	1.2	0.8	0.4	0.0	0.8
7週(49日)	—	0.3	0.0	0.0	0.0	0.1
8週(56日)	—	7.5	6.5	4.5	6.7	6.4
9週(63日)	—	3.7	3.5	2.5	4.8	3.5
10週(70日)	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
11週(77日)	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
12週(84日)	—	4.0	1.7	0.4	3.8	2.2
13週(91日)	—	6.2	4.0	1.2	3.8	4.0
14週(98日)以上	—	0.9	0.1	0.0	0.0	0.3
ケースバイケース	—	3.1	3.7	3.3	1.9	3.3
その他	—	0.6	0.4	0.0	0.0	0.4
該当なし	—	0.0	0.7	1.7	0.0	0.7
無回答	—	0.0	0.1	0.0	0.0	0.1
計	—	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

② 慢性疾患等の患者に対してもっとも多い処方日数－主たる診療科別－

「『病状が安定して定期的に通院している患者さん(慢性疾患、甲状腺機能低下症、更年期障害など)』について、もっとも多い処方日数は何週(何日)ですか?1つだけ○を付けて下さい。」

「処方日数をもっとも近いもの(30日の場合は4週、60日の場合は9週)を選択して下さい。」

回答医師数(n≥100の診療科)

(人)

	内科	呼吸器 内科	循環器 内科	消化器 内科	皮膚科	小児科	精神科	外科
1週(7日)	1	0	0	0	0	1	1	0
2週(14日)	70	2	3	3	17	18	4	16
3週(21日)	20	1	1	1	4	1	3	2
4週(28日)	431	26	46	51	66	120	68	49
5週(35日)	25	0	7	0	6	1	1	1
6週(42日)	8	0	7	4	3	0	1	0
7週(49日)	0	0	1	0	1	0	0	0
8週(56日)	87	36	70	41	25	13	7	20
9週(63日)	43	9	21	13	4	19	3	7
10週(70日)	5	1	8	0	0	0	0	1
11週(77日)	0	0	1	1	0	0	0	0
12週(84日)	35	16	24	34	4	13	3	32
13週(91日)	34	10	17	24	9	33	7	37
14週(98日)以上	6	2	5	5	2	1	2	14
ケースバイケース	28	5	3	6	6	7	6	7
その他	2	0	0	0	0	1	0	0
該当なし	1	1	1	4	2	4	0	4
無回答	0	0	0	1	0	0	1	1
計	796	109	215	188	149	232	107	191

構成比

(%)

	内科	呼吸器 内科	循環器 内科	消化器 内科	皮膚科	小児科	精神科	外科
1週(7日)	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	0.9	0.0
2週(14日)	8.8	1.8	1.4	1.6	11.4	7.8	3.7	8.4
3週(21日)	2.5	0.9	0.5	0.5	2.7	0.4	2.8	1.0
4週(28日)	54.1	23.9	21.4	27.1	44.3	51.7	63.6	25.7
5週(35日)	3.1	0.0	3.3	0.0	4.0	0.4	0.9	0.5
6週(42日)	1.0	0.0	3.3	2.1	2.0	0.0	0.9	0.0
7週(49日)	0.0	0.0	0.5	0.0	0.7	0.0	0.0	0.0
8週(56日)	10.9	33.0	32.6	21.8	16.8	5.6	6.5	10.5
9週(63日)	5.4	8.3	9.8	6.9	2.7	8.2	2.8	3.7
10週(70日)	0.6	0.9	3.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5
11週(77日)	0.0	0.0	0.5	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0
12週(84日)	4.4	14.7	11.2	18.1	2.7	5.6	2.8	16.8
13週(91日)	4.3	9.2	7.9	12.8	6.0	14.2	6.5	19.4
14週(98日)以上	0.8	1.8	2.3	2.7	1.3	0.4	1.9	7.3
ケースバイケース	3.5	4.6	1.4	3.2	4.0	3.0	5.6	3.7
その他	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	0.0	0.0
該当なし	0.1	0.9	0.5	2.1	1.3	1.7	0.0	2.1
無回答	0.0	0.0	0.0	0.5	0.0	0.0	0.9	0.5
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

② 慢性疾患等の患者に対してもっとも多い処方日数－主たる診療科別－

「『病状が安定して定期的に通院している患者さん(慢性疾患、甲状腺機能低下症、更年期障害など)』について、もっとも多い処方日数は何週(何日)ですか?1つだけ○を付けて下さい。」

「処方日数をもっとも近いもの(30日の場合は4週、60日の場合は9週)を選択して下さい。」

回答医師数(n≥100の診療科)

(人)

	消化器 外科	泌尿器 科	脳神経 外科	整形外 科	眼科	耳鼻い んこう科	産科・産 婦人科
1週(7日)	0	0	0	4	2	1	2
2週(14日)	5	3	0	26	2	17	7
3週(21日)	0	0	0	1	0	4	1
4週(28日)	28	33	27	115	54	60	49
5週(35日)	2	1	4	8	4	0	2
6週(42日)	4	1	1	4	4	2	0
7週(49日)	0	0	0	1	0	1	0
8週(56日)	19	14	29	38	14	18	12
9週(63日)	6	1	14	12	11	12	9
10週(70日)	0	0	2	3	0	0	0
11週(77日)	0	0	0	3	0	0	0
12週(84日)	27	25	22	32	22	11	18
13週(91日)	24	33	23	40	32	26	24
14週(98日)以上	8	9	5	12	2	4	6
ケースバイケース	3	1	6	10	9	2	5
その他	0	0	0	1	4	0	0
該当なし	2	0	1	7	3	4	8
無回答	0	0	1	3	2	0	2
計	128	121	135	320	165	162	145

構成比

(%)

	消化器 外科	泌尿器 科	脳神経 外科	整形外 科	眼科	耳鼻い んこう科	産科・産 婦人科
1週(7日)	0.0	0.0	0.0	1.3	1.2	0.6	1.4
2週(14日)	3.9	2.5	0.0	8.1	1.2	10.5	4.8
3週(21日)	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	2.5	0.7
4週(28日)	21.9	27.3	20.0	35.9	32.7	37.0	33.8
5週(35日)	1.6	0.8	3.0	2.5	2.4	0.0	1.4
6週(42日)	3.1	0.8	0.7	1.3	2.4	1.2	0.0
7週(49日)	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	0.6	0.0
8週(56日)	14.8	11.6	21.5	11.9	8.5	11.1	8.3
9週(63日)	4.7	0.8	10.4	3.8	6.7	7.4	6.2
10週(70日)	0.0	0.0	1.5	0.9	0.0	0.0	0.0
11週(77日)	0.0	0.0	0.0	0.9	0.0	0.0	0.0
12週(84日)	21.1	20.7	16.3	10.0	13.3	6.8	12.4
13週(91日)	18.8	27.3	17.0	12.5	19.4	16.0	16.6
14週(98日)以上	6.3	7.4	3.7	3.8	1.2	2.5	4.1
ケースバイケース	2.3	0.8	4.4	3.1	5.5	1.2	3.4
その他	0.0	0.0	0.0	0.3	2.4	0.0	0.0
該当なし	1.6	0.0	0.7	2.2	1.8	2.5	5.5
無回答	0.0	0.0	0.7	0.9	1.2	0.0	1.4
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

② 慢性疾患等の患者に対してもっとも多い処方日数－主たる診療科別（病院）－

「『病状が安定して定期的に通院している患者さん(慢性疾患、甲状腺機能低下症、更年期障害など)』について、もっとも多い処方日数は何週(何日)ですか？1つだけ○を付けて下さい。」

「処方日数のもっとも近いもの(30日の場合は4週、60日の場合は9週)を選択して下さい。」

回答医師数

(人)

	内科	呼吸器 内科	循環器 内科	消化器 内科	皮膚科	小児科	精神科	外科
1週(7日)	0	0	0	0	0	1	1	0
2週(14日)	2	1	0	0	0	3	2	3
3週(21日)	2	1	0	0	0	0	2	1
4週(28日)	65	20	27	19	28	52	42	16
5週(35日)	14	0	7	0	6	0	0	1
6週(42日)	5	0	5	4	3	0	1	0
7週(49日)	0	0	1	0	1	0	0	0
8週(56日)	58	35	65	35	23	9	7	17
9週(63日)	24	9	20	11	1	19	3	6
10週(70日)	5	1	8	0	0	0	0	1
11週(77日)	0	0	1	1	0	0	0	0
12週(84日)	24	16	22	33	3	13	3	31
13週(91日)	10	10	16	21	6	30	6	35
14週(98日)以上	5	2	4	5	2	1	2	14
ケースバイケース	11	5	3	5	2	6	3	5
その他	1	0	0	0	0	0	0	0
該当なし	1	1	1	4	1	4	0	4
無回答	0	0	0	1	0	0	1	1
計	227	101	180	139	76	138	73	135

構成比

(%)

	内科	呼吸器 内科	循環器 内科	消化器 内科	皮膚科	小児科	精神科	外科
1週(7日)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	1.4	0.0
2週(14日)	0.9	1.0	0.0	0.0	0.0	2.2	2.7	2.2
3週(21日)	0.9	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.7	0.7
4週(28日)	28.6	19.8	15.0	13.7	36.8	37.7	57.5	11.9
5週(35日)	6.2	0.0	3.9	0.0	7.9	0.0	0.0	0.7
6週(42日)	2.2	0.0	2.8	2.9	3.9	0.0	1.4	0.0
7週(49日)	0.0	0.0	0.6	0.0	1.3	0.0	0.0	0.0
8週(56日)	25.6	34.7	36.1	25.2	30.3	6.5	9.6	12.6
9週(63日)	10.6	8.9	11.1	7.9	1.3	13.8	4.1	4.4
10週(70日)	2.2	1.0	4.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7
11週(77日)	0.0	0.0	0.6	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0
12週(84日)	10.6	15.8	12.2	23.7	3.9	9.4	4.1	23.0
13週(91日)	4.4	9.9	8.9	15.1	7.9	21.7	8.2	25.9
14週(98日)以上	2.2	2.0	2.2	3.6	2.6	0.7	2.7	10.4
ケースバイケース	4.8	5.0	1.7	3.6	2.6	4.3	4.1	3.7
その他	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
該当なし	0.4	1.0	0.6	2.9	1.3	2.9	0.0	3.0
無回答	0.0	0.0	0.0	0.7	0.0	0.0	1.4	0.7
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

② 慢性疾患等の患者に対してもっとも多い処方日数－主たる診療科別（病院）－

「『病状が安定して定期的に通院している患者さん（慢性疾患、甲状腺機能低下症、更年期障害など）』について、もっとも多い処方日数は何週（何日）ですか？1つだけ○を付けて下さい。」
 「処方日数はもっとも近いもの（30日の場合は4週、60日の場合は9週）を選択して下さい。」

回答医師数 (人)

	消化器 外科	泌尿器 科	脳神経 外科	整形外 科	眼科	耳鼻い んこう科	産科・産 婦人科
1週(7日)	0	0	0	0	1	0	2
2週(14日)	3	0	0	3	0	1	1
3週(21日)	0	0	0	0	0	0	0
4週(28日)	22	19	17	49	15	18	14
5週(35日)	2	0	4	7	1	0	1
6週(42日)	4	0	1	4	1	1	0
7週(49日)	0	0	0	1	0	0	0
8週(56日)	18	10	29	29	4	13	12
9週(63日)	6	0	14	8	5	8	6
10週(70日)	0	0	2	3	0	0	0
11週(77日)	0	0	0	3	0	0	0
12週(84日)	26	25	22	31	18	10	15
13週(91日)	24	32	23	38	24	23	22
14週(98日)以上	8	9	5	12	1	4	5
ケースバイケース	3	0	4	6	4	0	4
その他	0	0	0	1	2	0	0
該当なし	2	0	1	5	1	0	8
無回答	0	0	1	3	1	0	2
計	118	95	123	203	78	78	92

構成比 (%)

	消化器 外科	泌尿器 科	脳神経 外科	整形外 科	眼科	耳鼻い んこう科	産科・産 婦人科
1週(7日)	0.0	0.0	0.0	0.0	1.3	0.0	2.2
2週(14日)	2.5	0.0	0.0	1.5	0.0	1.3	1.1
3週(21日)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
4週(28日)	18.6	20.0	13.8	24.1	19.2	23.1	15.2
5週(35日)	1.7	0.0	3.3	3.4	1.3	0.0	1.1
6週(42日)	3.4	0.0	0.8	2.0	1.3	1.3	0.0
7週(49日)	0.0	0.0	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0
8週(56日)	15.3	10.5	23.6	14.3	5.1	16.7	13.0
9週(63日)	5.1	0.0	11.4	3.9	6.4	10.3	6.5
10週(70日)	0.0	0.0	1.6	1.5	0.0	0.0	0.0
11週(77日)	0.0	0.0	0.0	1.5	0.0	0.0	0.0
12週(84日)	22.0	26.3	17.9	15.3	23.1	12.8	16.3
13週(91日)	20.3	33.7	18.7	18.7	30.8	29.5	23.9
14週(98日)以上	6.8	9.5	4.1	5.9	1.3	5.1	5.4
ケースバイケース	2.5	0.0	3.3	3.0	5.1	0.0	4.3
その他	0.0	0.0	0.0	0.5	2.6	0.0	0.0
該当なし	1.7	0.0	0.8	2.5	1.3	0.0	8.7
無回答	0.0	0.0	0.8	1.5	1.3	0.0	2.2
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

② 慢性疾患等の患者に対してもっとも多い処方日数－主たる診療科別（診療所）－

「『病状が安定して定期的に通院している患者さん（慢性疾患、甲状腺機能低下症、更年期障害など）』について、もっとも多い処方日数は何週（何日）ですか？1つだけ○を付けて下さい。」

「処方日数をもっとも近いもの（30日の場合は4週、60日の場合は9週）を選択して下さい。」

回答医師数

(人)

	内科	呼吸器 内科	循環器 内科	消化器 内科	皮膚科	小児科	精神科	外科
1週(7日)	1	0	0	0	0	0	0	0
2週(14日)	68	1	3	3	17	15	2	13
3週(21日)	18	0	1	1	4	1	1	1
4週(28日)	366	6	19	32	38	68	26	33
5週(35日)	11	0	0	0	0	1	1	0
6週(42日)	3	0	2	0	0	0	0	0
7週(49日)	0	0	0	0	0	0	0	0
8週(56日)	29	1	5	6	2	4	0	3
9週(63日)	19	0	1	2	3	0	0	1
10週(70日)	0	0	0	0	0	0	0	0
11週(77日)	0	0	0	0	0	0	0	0
12週(84日)	11	0	2	1	1	0	0	1
13週(91日)	24	0	1	3	3	3	1	2
14週(98日)以上	1	0	1	0	0	0	0	0
ケースバイケース	17	0	0	1	4	1	3	2
その他	1	0	0	0	0	1	0	0
該当なし	0	0	0	0	1	0	0	0
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0
計	569	8	35	49	73	94	34	56

構成比

(%)

	内科	呼吸器 内科	循環器 内科	消化器 内科	皮膚科	小児科	精神科	外科
1週(7日)	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
2週(14日)	12.0	12.5	8.6	6.1	23.3	16.0	5.9	23.2
3週(21日)	3.2	0.0	2.9	2.0	5.5	1.1	2.9	1.8
4週(28日)	64.3	75.0	54.3	65.3	52.1	72.3	76.5	58.9
5週(35日)	1.9	0.0	0.0	0.0	0.0	1.1	2.9	0.0
6週(42日)	0.5	0.0	5.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
7週(49日)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
8週(56日)	5.1	12.5	14.3	12.2	2.7	4.3	0.0	5.4
9週(63日)	3.3	0.0	2.9	4.1	4.1	0.0	0.0	1.8
10週(70日)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
11週(77日)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
12週(84日)	1.9	0.0	5.7	2.0	1.4	0.0	0.0	1.8
13週(91日)	4.2	0.0	2.9	6.1	4.1	3.2	2.9	3.6
14週(98日)以上	0.2	0.0	2.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ケースバイケース	3.0	0.0	0.0	2.0	5.5	1.1	8.8	3.6
その他	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	1.1	0.0	0.0
該当なし	0.0	0.0	0.0	0.0	1.4	0.0	0.0	0.0
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

② 慢性疾患等の患者に対してもっとも多い処方日数－主たる診療科別（診療所）－

「『病状が安定して定期的に通院している患者さん（慢性疾患、甲状腺機能低下症、更年期障害など）』について、もっとも多い処方日数は何週（何日）ですか？1つだけ○を付けて下さい。」
 「処方日数はもっとも近いもの（30日の場合は4週、60日の場合は9週）を選択して下さい。」

回答医師数 (人)

	消化器 外科	泌尿器 科	脳神経 外科	整形外 科	眼科	耳鼻い んこう科	産科・産 婦人科
1週(7日)	0	0	0	4	1	1	0
2週(14日)	2	3	0	23	2	16	6
3週(21日)	0	0	0	1	0	4	1
4週(28日)	6	14	10	66	39	42	35
5週(35日)	0	1	0	1	3	0	1
6週(42日)	0	1	0	0	3	1	0
7週(49日)	0	0	0	0	0	1	0
8週(56日)	1	4	0	9	10	5	0
9週(63日)	0	1	0	4	6	4	3
10週(70日)	0	0	0	0	0	0	0
11週(77日)	0	0	0	0	0	0	0
12週(84日)	1	0	0	1	4	1	3
13週(91日)	0	1	0	2	8	3	2
14週(98日)以上	0	0	0	0	1	0	1
ケースバイケース	0	1	2	4	5	2	1
その他	0	0	0	0	2	0	0
該当なし	0	0	0	2	2	4	0
無回答	0	0	0	0	1	0	0
計	10	26	12	117	87	84	53

構成比 (%)

	消化器 外科	泌尿器 科	脳神経 外科	整形外 科	眼科	耳鼻い んこう科	産科・産 婦人科
1週(7日)	0.0	0.0	0.0	3.4	1.1	1.2	0.0
2週(14日)	20.0	11.5	0.0	19.7	2.3	19.0	11.3
3週(21日)	0.0	0.0	0.0	0.9	0.0	4.8	1.9
4週(28日)	60.0	53.8	83.3	56.4	44.8	50.0	66.0
5週(35日)	0.0	3.8	0.0	0.9	3.4	0.0	1.9
6週(42日)	0.0	3.8	0.0	0.0	3.4	1.2	0.0
7週(49日)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.2	0.0
8週(56日)	10.0	15.4	0.0	7.7	11.5	6.0	0.0
9週(63日)	0.0	3.8	0.0	3.4	6.9	4.8	5.7
10週(70日)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
11週(77日)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
12週(84日)	10.0	0.0	0.0	0.9	4.6	1.2	5.7
13週(91日)	0.0	3.8	0.0	1.7	9.2	3.6	3.8
14週(98日)以上	0.0	0.0	0.0	0.0	1.1	0.0	1.9
ケースバイケース	0.0	3.8	16.7	3.4	5.7	2.4	1.9
その他	0.0	0.0	0.0	0.0	2.3	0.0	0.0
該当なし	0.0	0.0	0.0	1.7	2.3	4.8	0.0
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	1.1	0.0	0.0
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

② 慢性疾患等の患者に対してもっとも多い処方日数－勤務先の処方区分別－

「『病状が安定して定期的に通院している患者さん(慢性疾患、甲状腺機能低下症、更年期障害など)』について、もっとも多い処方日数は何週(何日)ですか?1つだけ○を付けて下さい。」

「処方日数のもっとも近いもの(30日の場合は4週、60日の場合は9週)を選択して下さい。」

回答医師数

(人)

	病院			診療所		
	院内処方	院外処方	無回答	院内処方	院外処方	無回答
1週(7日)	1	8	0	8	1	1
2週(14日)	7	17	0	85	88	5
3週(21日)	1	6	0	14	19	1
4週(28日)	126	401	22	336	479	15
5週(35日)	22	38	0	8	16	0
6週(42日)	13	30	0	1	10	0
7週(49日)	1	3	0	1	0	0
8週(56日)	137	350	33	23	64	1
9週(63日)	40	128	8	16	32	0
10週(70日)	8	22	0	0	0	0
11週(77日)	5	1	0	0	0	0
12週(84日)	100	258	23	8	21	1
13週(91日)	86	282	37	6	45	4
14週(98日)以上	22	66	22	0	4	0
ケースバイケース	24	57	9	21	24	1
その他	4	5	0	3	2	0
該当なし	24	59	6	4	5	0
無回答	3	15	0	1	0	0
計	624	1,746	160	535	810	29

構成比

(%)

	病院			診療所		
	院内処方	院外処方	無回答	院内処方	院外処方	無回答
1週(7日)	0.2	0.5	0.0	1.5	0.1	3.4
2週(14日)	1.1	1.0	0.0	15.9	10.9	17.2
3週(21日)	0.2	0.3	0.0	2.6	2.3	3.4
4週(28日)	20.2	23.0	13.8	62.8	59.1	51.7
5週(35日)	3.5	2.2	0.0	1.5	2.0	0.0
6週(42日)	2.1	1.7	0.0	0.2	1.2	0.0
7週(49日)	0.2	0.2	0.0	0.2	0.0	0.0
8週(56日)	22.0	20.0	20.6	4.3	7.9	3.4
9週(63日)	6.4	7.3	5.0	3.0	4.0	0.0
10週(70日)	1.3	1.3	0.0	0.0	0.0	0.0
11週(77日)	0.8	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0
12週(84日)	16.0	14.8	14.4	1.5	2.6	3.4
13週(91日)	13.8	16.2	23.1	1.1	5.6	13.8
14週(98日)以上	3.5	3.8	13.8	0.0	0.5	0.0
ケースバイケース	3.8	3.3	5.6	3.9	3.0	3.4
その他	0.6	0.3	0.0	0.6	0.2	0.0
該当なし	3.8	3.4	3.8	0.7	0.6	0.0
無回答	0.5	0.9	0.0	0.2	0.0	0.0
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

4.8. 比較的長期処方の患者に占める慢性疾患等の患者の割合

「『病状が安定して定期的に通院している患者さん』についてお答え下さい。」

「5週(35日)以上の処方をされている患者さんの割合(分母は「慢性疾患などで、病状が安定して定期的に通院している患者さん」は、どのくらいですか。1つだけ○を付けて下さい。)」

回答医師数 (人)

	勤務先				計
			病院 医師	診療所 医師	
	大学病院	大学以外			
8割超	80	303	383	21	404
6割超～8割以下	73	236	309	31	340
4割超～6割以下	99	279	378	54	432
2割超～4割以下	125	357	482	119	601
0割超～2割以下	174	554	728	746	1,474
0割	28	73	101	346	447
該当なし	41	74	115	55	170
無回答	9	25	34	2	36
計	629	1,901	2,530	1,374	3,904

0割 病状が安定している患者の診察はあるが5週以上の処方なし

該当なし 病状が安定している患者の診察なし

構成比 (%)

			病院 医師	診療所 医師	計
	大学病院	大学以外			
8割超	12.7	15.9	15.1	1.5	10.3
6割超～8割以下	11.6	12.4	12.2	2.3	8.7
4割超～6割以下	15.7	14.7	14.9	3.9	11.1
2割超～4割以下	19.9	18.8	19.1	8.7	15.4
0割超～2割以下	27.7	29.1	28.8	54.3	37.8
0割	4.5	3.8	4.0	25.2	11.4
該当なし	6.5	3.9	4.5	4.0	4.4
無回答	1.4	1.3	1.3	0.1	0.9
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

4.9. 比較的長期の処方を行なっている疾患名と処方期間

「比較的長期の処方(5週(35日)以上)をされている疾患および薬剤について、よくあるケースを5つまでご記入下さい。またそれぞれ、もっとも多く処方されている処方日数の番号をご記入下さい。処方日数は、もっとも近いもの(たとえば60日処方の場合は9週)を選択して下さい。」

疾患名と薬剤名の組み合わせで最大5つまで回答

回答医師数

疾患名	薬剤名	回答医師数(人)							計
		5週	6週	7週	8週	9週	10週～		
高脂血症	HMG-CoA還元酵素阻害剤	140	48	8	500	225	168	1,089	
高血圧症	ジヒドロピリジン系Ca拮抗剤	140	55	3	441	184	145	968	
高血圧症	アンギオテンシンII受容体拮抗剤	36	25	3	144	64	45	317	
甲状腺機能低下症	甲状腺ホルモン	7	7	1	72	39	152	278	
骨粗鬆症	ビスホスホネート系骨吸収抑制剤	29	12	2	75	19	83	220	
高血圧症	選択的AT1受容体遮断剤	33	13	1	95	36	34	212	
てんかん	抗てんかん、躁病・躁状態治療剤	7	3	0	24	30	98	162	
逆流性食道炎	プロトンポンプインヒビター	9	9	1	62	18	43	142	
糖尿病	スルホニル尿素系血糖降下剤	37	13	3	40	23	10	126	
前立腺肥大症	α1-遮断剤	7	1	0	21	6	67	102	
じんま疹	アレルギー性疾患治療剤	26	5	3	41	14	8	97	
便秘症	制酸・緩下剤	1	4	2	31	14	44	96	
高尿酸血症	キサンチンオキシダーゼ阻害剤・高尿酸血症治療剤	7	6	2	40	20	15	90	
気管支喘息	ロイコトリエン受容体拮抗剤	20	11	1	36	16	4	88	
乳癌	アロマターゼ阻害・閉経後乳癌治療剤	1	2	0	22	10	52	87	
甲状腺機能亢進症	抗甲状腺剤	4	4	0	22	26	28	84	
骨粗鬆症	活性型ビタミンD3	9	6	0	37	6	24	82	
脳梗塞	サリチル酸系解熱鎮痛・抗血小板剤	6	4	0	33	14	15	72	
高脂血症	高脂血症治療剤	12	5	0	30	18	7	72	
アレルギー性鼻炎	アレルギー性疾患治療剤	17	1	1	15	25	10	69	
てんかん	向精神作用性てんかん・躁状態治療剤	4	0	0	8	14	40	66	
高血圧症	持続性AT1受容体遮断剤	10	5	0	29	11	8	63	

「比較的長期の処方(5週(35日)以上)をされている疾患および薬剤について、よくあるケースを5つまでご記入下さい。またそれぞれ、もっとも多く処方されている処方日数の番号をご記入下さい。処方日数は、もっとも近いもの(たとえば60日処方の場合は9週)を選択して下さい。」

疾患名と薬剤名の組み合わせで最大5つまで回答

構成比

疾患名	薬剤名	構成比(%)						
		5週	6週	7週	8週	9週	10週～	計
高脂血症	HMG-CoA還元酵素阻害剤	12.9	4.4	0.7	45.9	20.7	15.4	100.0
高血圧症	ジヒドロピリジン系Ca拮抗剤	14.5	5.7	0.3	45.6	19.0	15.0	100.0
高血圧症	アンギオテンシンII受容体拮抗剤	11.4	7.9	0.9	45.4	20.2	14.2	100.0
甲状腺機能低下症	甲状腺ホルモン	2.5	2.5	0.4	25.9	14.0	54.7	100.0
骨粗鬆症	ビスホスホネート系骨吸収抑制剤	13.2	5.5	0.9	34.1	8.6	37.7	100.0
高血圧症	選択的AT1受容体遮断剤	15.6	6.1	0.5	44.8	17.0	16.0	100.0
てんかん	抗てんかん、躁病・躁状態治療剤	4.3	1.9	0.0	14.8	18.5	60.5	100.0
逆流性食道炎	プロトンポンプインヒビター	6.3	6.3	0.7	43.7	12.7	30.3	100.0
糖尿病	スルホニル尿素系血糖降下剤	29.4	10.3	2.4	31.7	18.3	7.9	100.0
前立腺肥大症	α1-遮断剤	6.9	1.0	0.0	20.6	5.9	65.7	100.0
じんま疹	アレルギー性疾患治療剤	26.8	5.2	3.1	42.3	14.4	8.2	100.0
便秘症	制酸・緩下剤	1.0	4.2	2.1	32.3	14.6	45.8	100.0
高尿酸血症	キサンチンオキシダーゼ阻害剤・高尿酸血症治療剤	7.8	6.7	2.2	44.4	22.2	16.7	100.0
気管支喘息	ロイコトリエン受容体拮抗剤	22.7	12.5	1.1	40.9	18.2	4.5	100.0
乳癌	アロマターゼ阻害・閉経後乳癌治療剤	1.1	2.3	0.0	25.3	11.5	59.8	100.0
甲状腺機能亢進症	抗甲状腺剤	4.8	4.8	0.0	26.2	31.0	33.3	100.0
骨粗鬆症	活性型ビタミンD3	11.0	7.3	0.0	45.1	7.3	29.3	100.0
脳梗塞	サリチル酸系解熱鎮痛・抗血小板剤	8.3	5.6	0.0	45.8	19.4	20.8	100.0
高脂血症	高脂血症治療剤	16.7	6.9	0.0	41.7	25.0	9.7	100.0
アレルギー性鼻炎	アレルギー性疾患治療剤	24.6	1.4	1.4	21.7	36.2	14.5	100.0
てんかん	向精神作用性てんかん・躁状態治療剤	6.1	0.0	0.0	12.1	21.2	60.6	100.0
高血圧症	持続性AT1受容体遮断剤	15.9	7.9	0.0	46.0	17.5	12.7	100.0

4.10. 比較的長期の処方を行なっている理由

「先生が診察されている患者さんのうち、『病状が安定して定期的に通院している患者さん』についてお答え下さい。」

「比較的長期の処方(5週(35日)以上)をされている背景について、いくつでも○を付けて下さい(複数回答)。」

選択数(複数回答)

	勤務先				計
	大学病院	大学病院以外	病院医師	診療所医師	
長期処方の制限がなくなったため	172	593	765	342	1,107
病状が安定しているから	485	1,546	2,031	639	2,670
外来患者数を少なくして、じっくり診療できるようにするため	233	729	962	98	1,060
医療機関の方針	11	34	45	9	54
同僚にあわせて	9	25	34	0	34
近隣の医療機関にあわせて	5	11	16	27	43
患者さんからの要望	258	854	1,112	782	1,894
患者さんの通院の負担を軽減できると考えるから	261	866	1,127	367	1,494
その他	7	66	73	39	112
回答医師数	629	1,901	2,530	1,374	3,904

回答比率

(%)

	大学病院	大学病院以外	病院医師	診療所医師	計
	長期処方の制限がなくなったため	27.3	31.2	30.2	24.9
病状が安定しているから	77.1	81.3	80.3	46.5	68.4
外来患者数を少なくして、じっくり診療できるようにするため	37.0	38.3	38.0	7.1	27.2
医療機関の方針	1.7	1.8	1.8	0.7	1.4
同僚にあわせて	1.4	1.3	1.3	0.0	0.9
近隣の医療機関にあわせて	0.8	0.6	0.6	2.0	1.1
患者さんからの要望	41.0	44.9	44.0	56.9	48.5
患者さんの通院の負担を軽減できると考えるから	41.5	45.6	44.5	26.7	38.3
その他	1.1	3.5	2.9	2.8	2.9

4.11. 問題事例

「過去1年ぐらいの間に、比較的長期の処方(5週(35日)以上)が原因と考えられる以下の事例にあわれたことがありますか。」

「他院で長期処方を受けていたと思われる患者さんを含みます。」

(1) 患者の容態の変化に気づくのが遅れたこと
慢性疾患等の患者に対するもっとも多い処方期間別

	回答医師数				構成比(%)			
	ある	ない	無回答	合計	ある	ない	無回答	合計
1週(7日)	1	14	4	19	5.3	73.7	21.1	100.0
2週(14日)	36	125	41	202	17.8	61.9	20.3	100.0
3週(21日)	15	21	5	41	36.6	51.2	12.2	100.0
4週(28日)	285	958	136	1,379	20.7	69.5	9.9	100.0
5週(35日)	18	62	4	84	21.4	73.8	4.8	100.0
6週(42日)	14	40	0	54	25.9	74.1	0.0	100.0
7週(49日)	0	5	0	5	0.0	100.0	0.0	100.0
8週(56日)	99	505	4	608	16.3	83.1	0.7	100.0
9週(63日)	31	189	4	224	13.8	84.4	1.8	100.0
10週(70日)	8	21	1	30	26.7	70.0	3.3	100.0
11週(77日)	0	6	0	6	0.0	100.0	0.0	100.0
12週(84日)	59	347	5	411	14.4	84.4	1.2	100.0
13週(91日)	56	398	6	460	12.2	86.5	1.3	100.0
14週(98日)以上	7	106	1	114	6.1	93.0	0.9	100.0
ケースバイケース	16	110	10	136	11.8	80.9	7.4	100.0
その他	1	11	2	14	7.1	78.6	14.3	100.0
該当なし	14	73	11	98	14.3	74.5	11.2	100.0
無回答	0	11	8	19	0.0	57.9	42.1	100.0
全体	660	3,002	242	3,904	16.9	76.9	6.2	100.0

「過去1年ぐらいの間に、比較的長期の処方(5週(35日)以上)が原因と考えられる以下の事例にあわれたことがありますか。」

「他院で長期処方を受けていたと思われる患者さんを含みます。」

(2) 患者が服薬を忘れてたり、中断したりしたため、病状が改善しなかったこと
慢性疾患等の患者に対するもっとも多い処方期間別

	回答医師数				構成比(%)			
	ある	ない	無回答	合計	ある	ない	無回答	合計
1週(7日)	3	11	5	19	15.8	57.9	26.3	100.0
2週(14日)	60	101	41	202	29.7	50.0	20.3	100.0
3週(21日)	17	19	5	41	41.5	46.3	12.2	100.0
4週(28日)	520	722	137	1,379	37.7	52.4	9.9	100.0
5週(35日)	33	48	3	84	39.3	57.1	3.6	100.0
6週(42日)	21	33	0	54	38.9	61.1	0.0	100.0
7週(49日)	1	4	0	5	20.0	80.0	0.0	100.0
8週(56日)	206	396	6	608	33.9	65.1	1.0	100.0
9週(63日)	84	137	3	224	37.5	61.2	1.3	100.0
10週(70日)	13	16	1	30	43.3	53.3	3.3	100.0
11週(77日)	4	2	0	6	66.7	33.3	0.0	100.0
12週(84日)	125	281	5	411	30.4	68.4	1.2	100.0
13週(91日)	133	321	6	460	28.9	69.8	1.3	100.0
14週(98日)以上	22	91	1	114	19.3	79.8	0.9	100.0
ケースバイケース	42	85	9	136	30.9	62.5	6.6	100.0
その他	5	7	2	14	35.7	50.0	14.3	100.0
該当なし	20	66	12	98	20.4	67.3	12.2	100.0
無回答	3	8	8	19	15.8	42.1	42.1	100.0
全体	1,312	2,348	244	3,904	33.6	60.1	6.3	100.0

「過去1年ぐらいの間に、比較的長期の処方(5週(35日)以上)が原因と考えられる以下の事例にあわれたことがありますか。」

「他院で長期処方を受けていたと思われる患者さんを含みます。」

(3) 患者が次回再診予約時に、診察に来なかったこと
慢性疾患等の患者に対するもっとも多い処方期間別

	回答医師数				構成比(%)			
	ある	ない	無回答	合計	ある	ない	無回答	合計
1週(7日)	3	11	5	19	15.8	57.9	26.3	100.0
2週(14日)	77	83	42	202	38.1	41.1	20.8	100.0
3週(21日)	20	15	6	41	48.8	36.6	14.6	100.0
4週(28日)	692	532	155	1,379	50.2	38.6	11.2	100.0
5週(35日)	43	38	3	84	51.2	45.2	3.6	100.0
6週(42日)	35	19	0	54	64.8	35.2	0.0	100.0
7週(49日)	2	3	0	5	40.0	60.0	0.0	100.0
8週(56日)	343	259	6	608	56.4	42.6	1.0	100.0
9週(63日)	123	97	4	224	54.9	43.3	1.8	100.0
10週(70日)	17	12	1	30	56.7	40.0	3.3	100.0
11週(77日)	4	2	0	6	66.7	33.3	0.0	100.0
12週(84日)	214	191	6	411	52.1	46.5	1.5	100.0
13週(91日)	257	197	6	460	55.9	42.8	1.3	100.0
14週(98日)以上	58	55	1	114	50.9	48.2	0.9	100.0
ケースバイケース	67	59	10	136	49.3	43.4	7.4	100.0
その他	7	5	2	14	50.0	35.7	14.3	100.0
該当なし	24	61	13	98	24.5	62.2	13.3	100.0
無回答	7	4	8	19	36.8	21.1	42.1	100.0
全体	1,993	1,643	268	3,904	51.1	42.1	6.9	100.0

4.12. 長期処方（120日・180日）

過去1年間における120日以上処方経験

「先生が診察されているすべての患者さんについてお答え下さい。」

「過去1年間に、120日以上処方されたことがありますか。」

回答医師数 (人)

	勤務先				計
	大学 病院	大学病院 以外	病院 医師	診療所 医師	
ない	573	1,726	2,299	1,278	3,577
不明	3	8	11	3	14
無回答	3	17	20	1	21
計	629	1,901	2,530	1,374	3,904

構成比 (%)

	勤務先				計
	大学 病院	大学病院 以外	病院 医師	診療所 医師	
ある	7.9	7.9	7.9	6.7	7.5
ない	91.1	90.8	90.9	93.0	91.6
不明	0.5	0.4	0.4	0.2	0.4
無回答	0.5	0.9	0.8	0.1	0.5
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

過去1年間における180日以上処方経験

「過去1年間に、180日以上処方されたことがありますか。」

回答医師数 (人)

	勤務先				計
	大学 病院	大学病院 以外	病院 医師	診療所 医師	
ない	603	1,819	2,422	1,334	3,756
不明	1	8	9	2	11
無回答	5	19	24	3	27
計	629	1,901	2,530	1,374	3,904

構成比 (%)

	勤務先				計
	大学 病院	大学病院 以外	病院 医師	診療所 医師	
ある	3.2	2.9	3.0	2.5	2.8
ない	95.9	95.7	95.7	97.1	96.2
不明	0.2	0.4	0.4	0.1	0.3
無回答	0.8	1.0	0.9	0.2	0.7
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

長期処方についてのアンケート調査（施設票2/2）

社団法人 日本医師会

(4) 医師数	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">1</td> <td style="width: 85%;">常勤医師数の実数（臨床研修医は除く）</td> <td style="width: 10%; text-align: right;">_____</td> <td style="width: 10%; text-align: right;">人</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>非常勤医師数の実数</td> <td style="text-align: right;">_____</td> <td style="text-align: right;">人</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>非常勤医師数の常勤換算数</td> <td style="text-align: right;">_____</td> <td style="text-align: right;">人</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>臨床研修医の実数</td> <td style="text-align: right;">_____</td> <td style="text-align: right;">人</td> </tr> </table>	1	常勤医師数の実数（臨床研修医は除く）	_____	人	2	非常勤医師数の実数	_____	人	3	非常勤医師数の常勤換算数	_____	人	4	臨床研修医の実数	_____	人					
1	常勤医師数の実数（臨床研修医は除く）	_____	人																			
2	非常勤医師数の実数	_____	人																			
3	非常勤医師数の常勤換算数	_____	人																			
4	臨床研修医の実数	_____	人																			
(5) 許可病床数	<p>2010年10月1日の状況について、ご記入下さい。 病院・有床診療所のみ</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-left: 20px;"> <tbody> <tr><td style="padding: 2px;">精神病床</td><td style="text-align: right; padding: 2px;">_____</td><td style="text-align: right; padding: 2px;">床</td></tr> <tr><td style="padding: 2px;">感染症病床</td><td style="text-align: right; padding: 2px;">_____</td><td style="text-align: right; padding: 2px;">床</td></tr> <tr><td style="padding: 2px;">結核病床</td><td style="text-align: right; padding: 2px;">_____</td><td style="text-align: right; padding: 2px;">床</td></tr> <tr><td style="padding: 2px;">医療療養病床</td><td style="text-align: right; padding: 2px;">_____</td><td style="text-align: right; padding: 2px;">床</td></tr> <tr><td style="padding: 2px;">介護療養病床</td><td style="text-align: right; padding: 2px;">_____</td><td style="text-align: right; padding: 2px;">床</td></tr> <tr><td style="padding: 2px;">一般病床</td><td style="text-align: right; padding: 2px;">_____</td><td style="text-align: right; padding: 2px;">床</td></tr> <tr><td style="padding: 2px;">合計</td><td style="text-align: right; padding: 2px;">_____</td><td style="text-align: right; padding: 2px;">床</td></tr> </tbody> </table>	精神病床	_____	床	感染症病床	_____	床	結核病床	_____	床	医療療養病床	_____	床	介護療養病床	_____	床	一般病床	_____	床	合計	_____	床
精神病床	_____	床																				
感染症病床	_____	床																				
結核病床	_____	床																				
医療療養病床	_____	床																				
介護療養病床	_____	床																				
一般病床	_____	床																				
合計	_____	床																				
(6) 処方区分	<p>2010年10月1日の状況について、該当のものに○を付けて下さい。</p> <p>1 主として院内処方 2 主として院外処方</p>																					
(7) 外来患者数等	<p>2010（平成22）年9月1か月分の外来診療の状況をご記入下さい。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">外来診療実日数</td> <td style="width: 85%;">_____</td> <td style="width: 10%; text-align: right;">日</td> </tr> <tr> <td>外来患者数</td> <td style="text-align: right;">_____</td> <td style="text-align: right;">人</td> </tr> <tr> <td>うち初診患者数</td> <td style="text-align: right;">_____</td> <td style="text-align: right;">人</td> </tr> <tr> <td>うち再診患者数</td> <td style="text-align: right;">_____</td> <td style="text-align: right;">人</td> </tr> </table>	外来診療実日数	_____	日	外来患者数	_____	人	うち初診患者数	_____	人	うち再診患者数	_____	人									
外来診療実日数	_____	日																				
外来患者数	_____	人																				
うち初診患者数	_____	人																				
うち再診患者数	_____	人																				

長期処方についてのアンケート調査（医師個人票2/6）

この調査票を受け取られた医療機関における先生ご自身の状況についておうかがいします。

5 勤務形態	<p>この調査票を受け取られた医療機関における先生の勤務形態をお教え下さい。</p> <p>もっとも近いものに1つだけ○を付けて下さい。</p> <p>1 常勤</p> <p>2 非常勤(大学病院からの派遣)</p> <p>3 非常勤(大学病院以外の病院からの派遣)</p> <p>4 非常勤(その他:具体的に)</p> <p>5 その他(具体的に)</p>
6 外来診療日数	<p>1週間の平均的な外来診療日数をご記入下さい。</p> <p>(午前のみ、午後のみは0.5日とカウントして下さい。)</p> <p style="text-align: center;">日/週</p> <p style="text-align: center;">_____</p> <p>※外来診療なしの先生は、「0日」とご記入下さい</p>
7 外来患者数	<p>1週間の平均的な外来診療患者数をご記入下さい。</p> <p style="text-align: center;">人/週</p> <p style="text-align: center;">_____</p> <p>※外来診療なしの先生は、「0人」とご記入下さい</p>

外来診療なしの先生は、これで終わりです。ご協力ありがとうございました。

外来診療をされている先生は、次ページの質問にお進みください。

長期処方についてのアンケート調査（医師個人票3/6）

**この調査票を受け取られた医療機関での先生ご自身の外来処方の状況について
おうかがいします。**

8 処方日数	<p>① 先生が診療されているすべての患者さんについて、もっとも多い処方日数は、何週（何日）ですか？<u>1つだけ</u>○を付けて下さい。 処方日数はもっとも近いもの（30日の場合は4週、60日の場合は9週）を選択して下さい。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">1 1週（7日）</td> <td style="width: 50%;">8 8週（56日）</td> </tr> <tr> <td>2 2週（14日）</td> <td>9 9週（63日）</td> </tr> <tr> <td>3 3週（21日）</td> <td>10 10週（70日）</td> </tr> <tr> <td>4 4週（28日）</td> <td>11 11週（77日）</td> </tr> <tr> <td>5 5週（35日）</td> <td>12 12週（84日）</td> </tr> <tr> <td>6 6週（42日）</td> <td>13 13週（91日）</td> </tr> <tr> <td>7 7週（49日）</td> <td>14 14週（98日）以上</td> </tr> </table> <p>15 疾病や病状によりケースバイケース 16 その他（具体的に _____ ）</p>	1 1週（7日）	8 8週（56日）	2 2週（14日）	9 9週（63日）	3 3週（21日）	10 10週（70日）	4 4週（28日）	11 11週（77日）	5 5週（35日）	12 12週（84日）	6 6週（42日）	13 13週（91日）	7 7週（49日）	14 14週（98日）以上
1 1週（7日）	8 8週（56日）														
2 2週（14日）	9 9週（63日）														
3 3週（21日）	10 10週（70日）														
4 4週（28日）	11 11週（77日）														
5 5週（35日）	12 12週（84日）														
6 6週（42日）	13 13週（91日）														
7 7週（49日）	14 14週（98日）以上														
	<p>② 上記①のうち、「病状が安定して定期的に通院されている患者さん（生活習慣病、甲状腺機能低下症、更年期障害など）」について、もっとも多い処方日数は何週（何日）ですか？<u>1つだけ</u>○を付けて下さい。 処方日数はもっとも近いもの（30日の場合は4週、60日の場合は9週）を選択して下さい。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">1 1週（7日）</td> <td style="width: 50%;">8 8週（56日）</td> </tr> <tr> <td>2 2週（14日）</td> <td>9 9週（63日）</td> </tr> <tr> <td>3 3週（21日）</td> <td>10 10週（70日）</td> </tr> <tr> <td>4 4週（28日）</td> <td>11 11週（77日）</td> </tr> <tr> <td>5 5週（35日）</td> <td>12 12週（84日）</td> </tr> <tr> <td>6 6週（42日）</td> <td>13 13週（91日）</td> </tr> <tr> <td>7 7週（49日）</td> <td>14 14週（98日）以上</td> </tr> </table> <p>15 病状が安定していてもケースバイケース 16 その他（具体的に _____ ） 17 該当なし（病状が安定している患者さんの診察なし）</p>	1 1週（7日）	8 8週（56日）	2 2週（14日）	9 9週（63日）	3 3週（21日）	10 10週（70日）	4 4週（28日）	11 11週（77日）	5 5週（35日）	12 12週（84日）	6 6週（42日）	13 13週（91日）	7 7週（49日）	14 14週（98日）以上
1 1週（7日）	8 8週（56日）														
2 2週（14日）	9 9週（63日）														
3 3週（21日）	10 10週（70日）														
4 4週（28日）	11 11週（77日）														
5 5週（35日）	12 12週（84日）														
6 6週（42日）	13 13週（91日）														
7 7週（49日）	14 14週（98日）以上														

長期処方についてのアンケート調査（医師個人票4/6）

この調査票を受け取られた医療機関での先生ご自身の外来処方の状況について
 おうかがいします。

先生が診察されている患者さんのうち、「病状が安定して定期的に通院している
 患者さん（生活習慣病、甲状腺機能低下症、更年期障害など）」についてお答え
 下さい。

9 比較的長期の 処方	5週(35日)以上の処方をされている患者さんの割合(分母は「生活習慣病などで、病状が安定して定期的に通院している患者さん」)はどのくらいですか。1つだけ○を付けて下さい。 1 8割超 2 6割超～8割以下 3 4割超～6割以下 4 2割超～4割以下 5 0割超～2割以下 6 0割(病状が安定している患者さんの診察はあるが5週以上の処方なし) 7 該当なし(病状が安定している患者さんの診察なし) →「7」を選択された先生は問12にお進み下さい。																											
10 比較的長期 の処方の対 象疾患等	比較的長期の処方(5週(35日)以上)をされている疾患および薬剤について、よくあるケースを5つまでご記入下さい。またそれぞれ、もっとも多く処方されている処方日数の番号をご記入下さい。 処方日数は、もっとも近いもの(たとえば60日処方の場合は9週)を選択して下さい。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0; text-align: center;"> ① 5週(35日) ② 6週(42日) ③ 7週(49日) ④ 8週(56日) ⑤ 9週(63日) ⑥ 10週(70日)以上 </div> 該当の番号をご記入下さい。↓ <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">疾患名</th> <th style="width: 30%;">薬剤名</th> <th style="width: 20%;">処方日数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </tbody> </table> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;"> 記入例 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 5px;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">疾患名</th> <th style="width: 30%;">薬剤名</th> <th style="width: 20%;">処方日数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>高脂血症</td> <td>ベザトールSR</td> <td style="text-align: center;">④</td> </tr> <tr> <td>高脂血症</td> <td>リピトール</td> <td style="text-align: center;">④</td> </tr> </tbody> </table> </div>	疾患名	薬剤名	処方日数																疾患名	薬剤名	処方日数	高脂血症	ベザトールSR	④	高脂血症	リピトール	④
疾患名	薬剤名	処方日数																										
疾患名	薬剤名	処方日数																										
高脂血症	ベザトールSR	④																										
高脂血症	リピトール	④																										

同じ疾患で、薬剤が複数ある場合には、それぞれご記入下さい。

長期処方についてのアンケート調査（医師個人票5/6）

この調査票を受け取られた医療機関での先生ご自身の外来処方の状況について
 おうかがいします。

先生が診察されている患者さんのうち、「病状が安定して定期的に通院している
 患者さん（生活習慣病、甲状腺機能低下症、更年期障害など）」についてお答え
 下さい。

11 比較的長期の 処方の理由	<p>比較的長期の処方（5週（35日）以上）をされている背景について、 <u>いくつでも○</u>を付けて下さい（複数回答）。</p> <p>1 長期処方の制限がなくなったため 2 病状が安定しているから 3 外来患者数を少なくして、じっくり診療できるようにするため 4 医療機関の方針 5 同僚にあわせて 6 近隣の医療機関にあわせて 7 患者さんからの要望 8 患者さんの通院の負担を軽減できると考えるから 9 その他（具体的に _____）</p>
--------------------	--

以下は、先生が診察されているすべての患者さんについてお答え下さい。

12 長期処方	<p>① 過去1年間に、120日以上 of 処方をされたことがありますか。 <u>1つだけ○</u>を付けて下さい。</p> <p>1 ある 2 ない 3 不明</p>
	<p>② 過去1年間に、180日以上 of 処方をされたことがありますか。 <u>1つだけ○</u>を付けて下さい。</p> <p>1 ある 2 ない 3 不明</p>

長期処方についてのアンケート調査（医師個人票6/6）

この調査票を受け取られた医療機関における、先生のご経験について
おうかがいします。

13 問題事例	<p>過去1年間ぐらいの間に、比較的長期の処方（5週（35日）以上）が原因と 考えられる以下の事例にあわれたことがありますか。 どちらかに○を付けて下さい。</p> <p>※他院で長期処方を受けていたと思われる患者さんを含みます。</p> <p>(1) 患者の容態の変化に気づくのが遅れたこと 1 ある 2 ない</p> <p>(2) 患者が服薬を忘れたり、中断したりしたため、病状が改善しなかったこと 1 ある 2 ない</p> <p>(3) 患者が次回再診予約時に、診察に来なかったこと 1 ある 2 ない</p> <p>(4) 上記以外の事例で問題事例にあわれたことがある先生は、具体的 内容をご記入下さい。</p> <div style="border: 1px solid black; height: 150px; margin-top: 10px;"></div>
---------	--

以上でアンケート調査は終わりです。ご協力ありがとうございました。

謝辞

本調査において、以下の病院には医師個人票のとりまとめに御尽力いただきました。心から御礼申し上げます。

(順不同)

北海道

札幌医科大学附属病院、医療法人社団悠仁会羊ヶ丘病院、特定医療法人北楡会札幌北楡病院、社会医療法人社団カレスサッポロ時計台記念病院、医療法人秀友会札幌秀友会病院、医療法人社団深仁会ふかざわ病院、医療法人社団旭川圭泉会病院、医療法人社団平成醫塾苫小牧東病院、医療法人新さっぽろ脳神経外科病院、医療法人社団新日鐵室蘭総合病院、市立釧路総合病院、留萌市立病院

茨城県

医療法人弘仁会志村病院、石渡産婦人科病院、北友会勝田病院、医療法人白帆会小川南病院、医療法人重陽会斉藤病院、医療法人光潤会平間病院、KKR国家公務員共済組合連合会水府病院、日製ひたちなか総合病院、社会福祉法人恩賜財団済生会龍ヶ崎済生会病院、医療法人博仁会志村大宮病院、医療法人杏仁会大圃病院、医療法人滝田会丸山荘病院、茨城県厚生連総合病院水戸協同病院、特定医療法人つくばセントラル病院、独立行政法人国立病院機構茨城東病院、社会福祉法人白十字会白十字総合病院、筑波大学附属病院、日製日立総合病院、独立行政法人国立病院機構水戸医療センター、県立中央病院

群馬県

群馬大学医学部附属病院、上毛病院、日本赤十字社前橋赤十字病院、医療法人博仁会第一病院、独立行政法人国立病院機構高崎総合医療センター、医療法人社団日高会日高病院、医療法人鶴谷会鶴谷病院、財団法人脳血管研究所附属美原記念病院、医療法人済恵会須藤病院、社会医療法人輝城会沼田脳神経外科循環器科病院、医療法人社団松沢会希望館病院

千葉県

千葉大学医学部附属病院、順天堂大学医学部附属浦安病院、松戸市立病院、社会保険船橋中央病院、船橋市立医療センター、千葉市立海浜病院、社会医療法人社団千葉県勤労者医療協会船橋二和病院、医療法人柏葉会柏戸病院、亀田総合病院、総合病院国保旭中央病院、国保直営総合病院君津中央病院、独立行政法人労働者健康福祉機構千葉労災病院、千葉県立東金病院、匝瑳市民病院、医療法人社団養真会上総記念病院、医療法人社団三友会三枝病院

広島県

日本赤十字社広島赤十字・原爆病院、県立広島病院、医療法人厚生堂長崎病院、独立行政法人国立病院機構呉医療センター、国家公務員共済組合連合会呉共済病院、社団法人呉市医師会地域支援病院呉市医師会病院、市立三次中央病院、広島県厚生農業協同組合連合会 JA 広島総合病院、府中市立府中北市民病院、社会医療法人社団沼南会沼隈病院、広島県厚生農業協同組合連合会 JA 尾道総合病院、独立行政法人労働者健康福祉機構中国労災病院、医療法人せいざん青山病院、医療法人一陽会原田病院、JA 広島厚生連吉田総合病院、医療法人青山会西条中央病院、日本赤十字社庄原赤十字病院、JA 広島厚生連府中総合病院

福岡県

薬院ひ尿器科病院、医療法人寺沢病院、医療法人春成会樋口病院、医療法人原鶴温泉病院、杉循環器科内科病院、医療法人真鶴会小倉第一病院、福岡通信病院、福岡市医師会成人病センター、地域支援病院糸島医師会病院、医療法人文佑会原病院、福岡県済生会福岡第二病院、医療法人寿芳会芳野病院、医療法人原三信病院、医療法人井上会篠栗病院、朝倉医師会病院、福岡県済生会八幡総合病院、独立行政法人国立病院機構福岡東医療センター、社会医療法人雪の聖母会聖マリア病院、財団法人厚生年金事業振興団九州厚生年金病院

